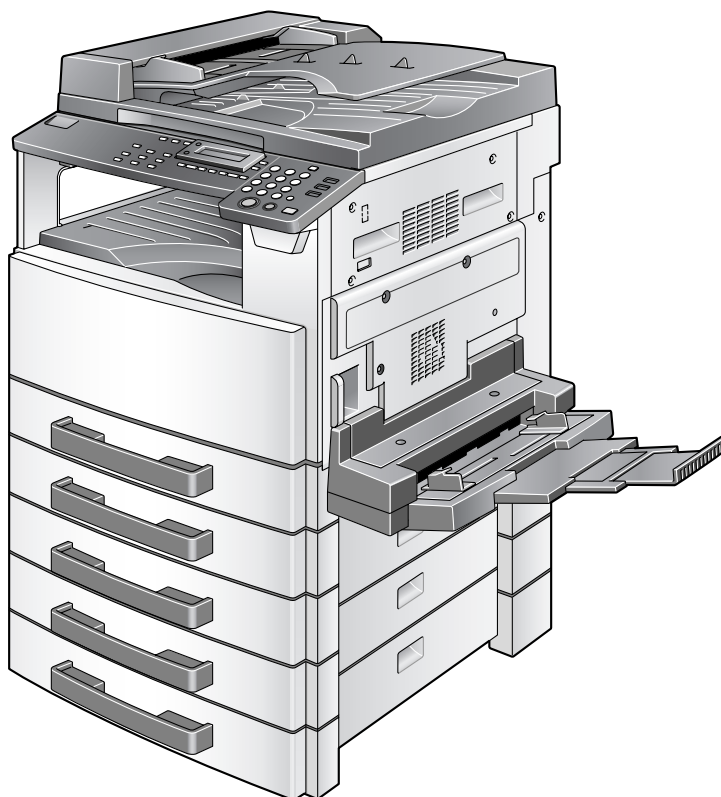


# **bizhub 162**

---

## ユーザーズガイド



本書に、乱丁、落丁などがありましたら、サービス実施店もしくは、最寄の販売店にご連絡ください。新しいものとお取替えいたします。

# はじめに

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

このユーザーズガイドは、bizhub 162 の機能と操作方法、使用上のご注意、簡単なトラブルの処置方法などについて記載しています。本機の性能を十分に発揮させて、効果的にご利用いただくために、ご使用前にこのユーザーズガイドを最後までお読みください。お読みになったあとは必ずユーザーズガイドホルダーに入れて保管してください。ご使用中わからないことや、不都合が生じたとき、きっとお役に立ちます。

ユーザーズガイド内で使用しているイラスト等は、実際の機械とは異なる場合があります。

## ■ 国際エネルギースタープログラム



当社は、国際エネルギースタープログラムの参加業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

### 国際エネルギースタープログラム対象製品とは？

国際エネルギースタープログラム対象製品とは、地球温暖化抑制に貢献する事を目的に作られた製品です。一定時間印刷を行わない場合、自動的に低電力モードに移行する機能が搭載されています。この機能により本機未使用時の効率的および、経済的な電力の使用ができます。

## ■ エコマーク



本機は資源採取からリサイクルまでのライフサイクル全体を通して環境に配慮し、エコマーク認定された製品です。

### エコマークとは？

環境省の指導のもとに環境にやさしい社会の実現に向けて、財団法人日本環境協会が制定した認証です。

「製品の製造、使用、廃棄等による環境への負荷が相対的に少ない商品」、また、「この製品を利用することにより、他の原因から生ずる環境への負荷を極力抑えることができる商品」に認定されます。

1  
設置・  
取扱い  
の注意

2  
おつかい  
になる  
まえに

3  
基本的  
なつか  
いかた

4  
コピーの  
とりかた

5  
コピーを  
とるまえに

6  
一歩  
進んだ  
コピーの  
とりかた

7  
ユーティリティ  
/コピー設定

8  
こんな  
メッセージ  
が表示  
されたら

9  
故障かな？  
と思ったら

10  
その他

11  
索引

## ■ 商標、著作権等について

KONICA MINOLTA、KONICA MINOLTA ロゴ、The essentials of imaging は、コニカミノルタホールディングス株式会社の登録商標です。

PageScope、bizhub はコニカミノルタ ビジネステクノロジー株式会社の登録商標です。

Netscape Communications、Netscape Communications ロゴ、Netscape Navigator、Netscape Communicator および Netscape は、Netscape Communications Corporation の商標です。

This machine and PageScope Box Operator are based in part on the work of the Independent JPEG Group.

Compact-VJE

Copyright 1986-2003 VACS Corp.



はじめに .....	1
国際エネルギースタープログラム .....	1
エコマーク .....	1
商標、著作権等について .....	2
もくじ .....	3
こんなコピーがとれます .....	9
コピー .....	9
倍率 .....	9
仕上げ .....	10
応用 .....	10
原稿 .....	11
ページの見かた .....	12
原稿および用紙の呼び方と表示 .....	13
排出面と通紙方向 .....	13
幅と長さ .....	13
タテ .....	13
ヨコ .....	14
コピー禁止事項 .....	15
法律によりコピーを禁止されているもの .....	15
著作権の対象となっているもの .....	15
注意を必要とするもの .....	15
機械・消耗品のリサイクル／リユース .....	16
使用済みのトナーボトル .....	16
使用済みのドラム（感光体） .....	16
本機廃棄について .....	16
<b>第 1 章 設置・取扱いの注意</b> .....	<b>1-1</b>
1.1 安全にご使用いただくために .....	1-2
絵表示の意味 .....	1-2
図記号の例 .....	1-2
1.2 適合宣言文 .....	1-9
レーザーの安全性 .....	1-9
内部レーザー放射 .....	1-9
レーザー安全ラベル .....	1-10
オゾン放出 .....	1-10
電波障害について .....	1-10
高調波対策ガイドライン .....	1-10
1.3 設置上のご注意 .....	1-11
設置環境 .....	1-11
設置電源 .....	1-11
設置スペース .....	1-12
1.4 使用上のご注意 .....	1-13
使用環境 .....	1-13
本機使用上のご注意 .....	1-13
転居、移動 .....	1-13
消耗品の取り扱い上のご注意 .....	1-14
コピーの保存について .....	1-14

第2章	おつかいになるまえに .....	2-1
2.1	装置全体の構成とはたらき .....	2-2
2.2	各部の名称とはたらき .....	2-4
	本体 .....	2-4
	本体内部 .....	2-6
	自動原稿送り装置（オプション）／マルチ手差し給紙ユニット（オプション） .....	2-7
	ペーパーフィーダーユニット（オプション） .....	2-8
	セパレータ（オプション） .....	2-9
2.3	操作パネル部の名称とはたらき .....	2-10
	操作パネル部の名称とはたらき .....	2-10
	ディスプレイの角度の換えかた .....	2-13
	ディスプレイ表示について .....	2-14
2.4	電源について .....	2-16
	電源を ON にする .....	2-16
	電源を OFF にする .....	2-16
	初期モード .....	2-16
	オートリセット .....	2-17
	低電力（スリープ）モード .....	2-17
	オートパワーオフ .....	2-17
	予約コピー .....	2-17
第3章	基本的なつかいかた .....	3-1
3.1	コピーする .....	3-2
	コピーの基本的なとりかた .....	3-2
3.2	用紙のセットのしかた .....	3-4
	第1トレイに用紙をセットする .....	3-5
	第2/第3/第4/第5トレイに用紙をセットする .....	3-6
3.3	原稿のセットのしかた .....	3-8
	原稿送り装置に原稿をセットする .....	3-8
	原稿ガラス上に原稿をセットする .....	3-9
	透明度の高い原稿をセットする .....	3-10
	ブック原稿をセットする .....	3-11
	サイズが異なる原稿をセットする（混載原稿） .....	3-12
3.4	コピーの停止／再開／消去について .....	3-14
3.5	確認モードについて .....	3-15
	マシンカウンタを確認する .....	3-15
3.6	電気を節約するには .....	3-17
第4章	コピーのとりかた .....	4-1
4.1	【倍率】をつかう .....	4-2
	定形サイズの原稿を異なる定形サイズに縮小／拡大する .....	4-2
4.2	【原稿画質／濃度】をつかう .....	4-4
	図面や写真を鮮明にコピーする .....	4-4

4.3	いろいろな用紙にコピーする	4-6
	OHP フィルムにコピーする	4-6
	ラベル用紙にコピーする	4-8
	不定形サイズの用紙にコピーする	4-11
	封筒にコピーする	4-14
	官製はがきにコピーする	4-17
第5章	コピーをとるまえに	5-1
5.1	用紙について	5-2
	用紙種類	5-2
	用紙サイズ	5-3
	用紙セット枚数	5-4
	コピー／プリントに適さない用紙	5-5
5.2	画像コピー／プリント領域	5-6
5.3	用紙の保管	5-7
5.4	手差しでコピーする	5-8
	手差しコピーできる用紙	5-8
	マルチ手差しトレイの調整について	5-8
	手差しトレイに普通紙をセットする	5-9
	手差しトレイに官製はがきをセットする	5-10
	手差しトレイに OHP フィルムをセットする	5-11
	手差しトレイにラベル用紙をセットする	5-12
	手差しトレイに封筒をセットする	5-13
	手差しコピーのとりかた（シングル手差しトレイ）	5-15
	手差しコピーのとりかた（マルチ手差しトレイ）	5-18
5.5	用紙の選択のしかた	5-21
	オート用紙選択のしかた	5-21
	マニュアル用紙選択のしかた	5-22
	オートトレイチェンジ機能	5-23
	トレイチェンジの順序	5-24
5.6	原稿について	5-25
	原稿送り装置（オプション）を使用する場合	5-25
	原稿のタイプ	5-25
	原稿についての注意	5-26
5.7	倍率を指定してコピーする	5-27
	倍率設定の種類	5-27
	オート倍率の設定のしかた	5-28
	固定倍率の設定のしかた	5-29
	倍率の設定のしかた	5-30
	タテ・ヨコ独立変倍の設定のしかた	5-31
5.8	コピー濃度を変更してコピーする	5-33
	コピー濃度の設定のしかた	5-34
5.9	割り込んでコピーする	5-36
	割り込み設定のしかた	5-36

<b>第 6 章</b>	<b>一歩進んだコピーのとりかた</b>	<b>6-1</b>
6.1	2in1、4in1 コピーの設定について	6-2
	原稿ガラスの場合	6-2
	原稿送り装置の場合	6-4
6.2	ブック分割コピーの設定について	6-5
	枠／折目消しの種類について	6-6
6.3	仕上り設定について（ソート、グループ）	6-7
	仕上りの種類	6-7
	仕上り設定のしかた（原稿送り装置に原稿をセット）	6-9
	仕上り設定のしかた（原稿ガラスに原稿をセット）	6-10
6.4	原稿の一部を消してコピーする（イレース）	6-12
	イレース位置でのご注意	6-12
	イレース設定のしかた	6-13
6.5	白黒反転コピーをする（ネガポジ反転）	6-14
	ネガポジ反転の設定のしかた	6-14
6.6	とじ代をつけてコピーする	6-15
	とじ代位置のご注意	6-15
	とじ代の設定のしかた	6-15
6.7	コピー設定を登録する	6-16
	コピー設定の登録のしかた	6-16
	コピー設定を呼び出してコピーする	6-17
6.8	ID（部門）番号を使ってコピーする	6-18
	ID（部門）番号の入力のしかた	6-18
<b>第 7 章</b>	<b>ユーティリティ／コピー設定</b>	<b>7-1</b>
7.1	ユーティリティ設定一覧	7-2
7.2	本体設定	7-3
	本体設定メニューを選択する	7-4
	オートリセット設定を変更する	7-5
	低電力（スリープ）設定を変更する	7-6
	オートパワーオフ設定を変更する	7-7
	原稿送り装置使用時の画質を変更する	7-8
	原稿ガラス使用時の画質を変更する	7-9
	濃度を変更する	7-10
	LCD コントラストを変更する	7-11
7.3	トレイ設定	7-12
	トレイ設定メニューを選択する	7-13
	用紙サイズ自動検出の設定をする	7-14
	第 1 トレイ用紙の設定をする	7-15
	トレイの特殊紙設定をする	7-18
7.4	ユーザー保守モード	7-19
	ドラムドライ（露とり）	7-19
	トナー補給	7-20
7.5	管理者保守モード	7-21
	管理者保守メニューを選択する	7-21

オートパワーオフしない設定をする	7-22
ID（部門）管理の設定をする	7-24
ID（部門）を登録する	7-25
ID（部門）を変更／削除する	7-26
ID（部門）別カウンタ表示／カウンタクリア	7-28
ID（部門）別トータルカウンタのオールクリア	7-30
7.6 コピー設定	7-32
コピー設定 1 メニューを選択する	7-34
優先用紙の設定をする	7-35
優先濃度の設定をする	7-36
優先濃度レベル（オート）の設定をする	7-37
優先濃度レベル（マニュアル）の設定をする	7-38
ブックとじ位置を選択する	7-39
とじ代幅の調整をする	7-40
イレース幅の調整をする	7-41
小サイズ原稿の設定をする	7-42
コピー設定 2 メニューを選択する	7-43
優先混載原稿の設定をする	7-44
優先自動選択の設定をする	7-45
優先ソートの設定をする	7-46
4in1 ページ順の設定をする	7-47
交互排紙の設定をする	7-48
第 8 章    こんなメッセージが表示されたら	8-1
8.1 「トナー ガナクナリマシタ」と表示されたら	8-2
トナー補給のしかた	8-2
8.2 「ヨウシ ガ ツマリマシタ」が表示されたら	8-5
本機内部／第 1 トレイでの紙づまり処理のしかた	8-6
第 2/ 第 3/ 第 4/ 第 5 トレイ（オプション）での紙づまり処理のしかた	8-10
マルチ手差しトレイ（オプション）での紙づまり処理のしかた	8-12
8.3 「ゲンコウ ガ ツマリマシタ」が表示されたら	8-14
原稿送り装置での紙づまり処理のしかた	8-14
8.4 主なメッセージと処置のしかた	8-17
第 9 章    故障かな？と思ったら	9-1
9.1 こんなコピーが出てきたら	9-2
9.2 コピー機が動作しない	9-4
第 10 章   その他	10-1
10.1 おもな仕様	10-2
本機 bizhub 162	10-2
自動原稿送り装置 DF-502	10-3
ペーパーフィーダーユニット PF-502	10-3
セパレータ JS-503	10-4
マルチ手差し給紙ユニット MB-501	10-4
10.2 日常のお手入れ	10-5
外装カバー	10-5

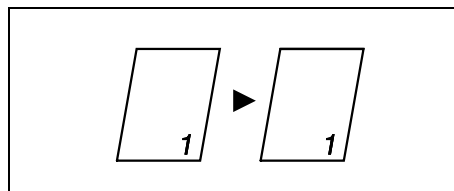
	原稿ガラス .....	10-5
	原稿押さえパッド .....	10-5
	操作パネル .....	10-6
10.3	おもな機能の組み合わせ一覧表 .....	10-7
	おもな機能の組み合わせ一覧表 .....	10-7
10.4	コピー用紙サイズとコピー倍率一覧表 .....	10-8
	コピー用紙サイズ .....	10-8
	コピー倍率 .....	10-9
10.5	消耗品について .....	10-11
	コピー用紙 .....	10-11
	トナーボトル .....	10-11
10.6	保守サービスについて .....	10-12
10.7	索引 .....	10-13

# こんなコピーがとれます

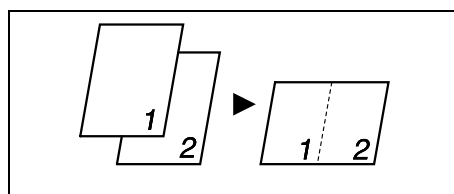
本機のおもなコピー機能を簡単に紹介します。操作方法については、参照ページをご覧ください。

## ■ コピー

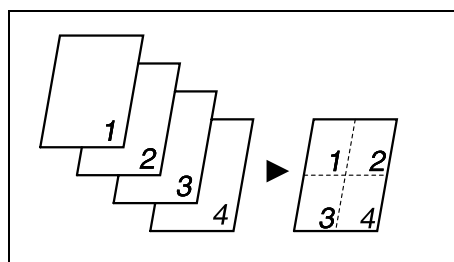
片面コピー (p. 4-1)



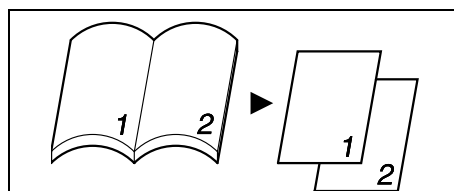
2in1 コピー (p. 6-2)



4in1 コピー (p. 6-2)

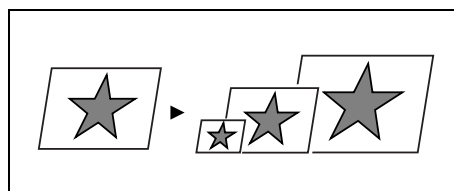


ブック分割コピー (p. 6-5)

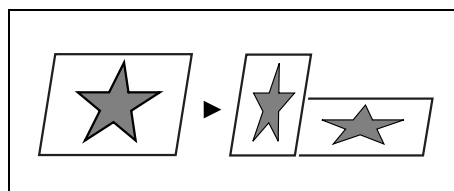


## ■ 倍率

縮小／等倍／拡大 (p. 5-27)



タテヨコ変倍 (p. 5-31)

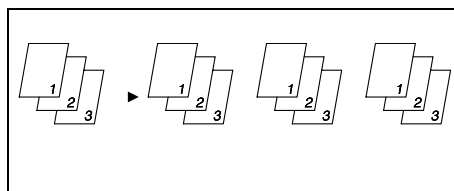


## ■ 仕上げ

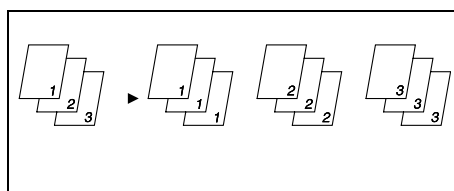
### ひとこと

コピー機能により、必要な装着オプションが異なります。

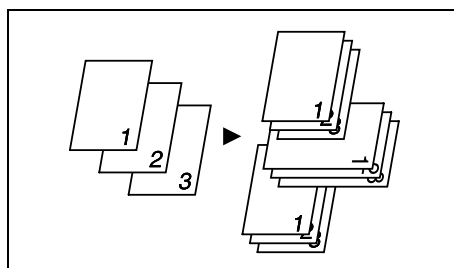
ソート (p. 6-7)



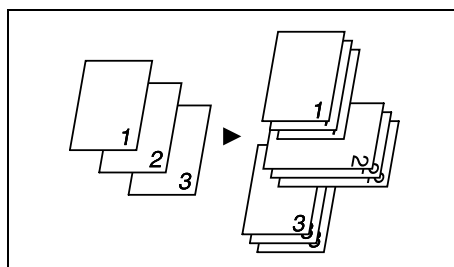
グループ (p. 6-7)



交互ソート (p. 6-8)

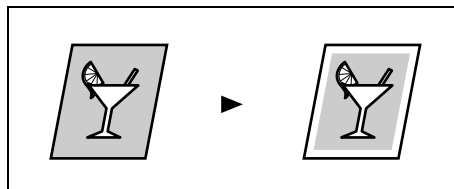


交互グループ (p. 6-8)



## ■ 応用

イレース (p. 6-12)

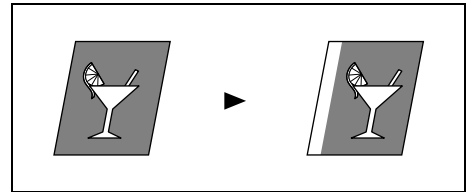


ネガポジ反転 (p. 6-14)



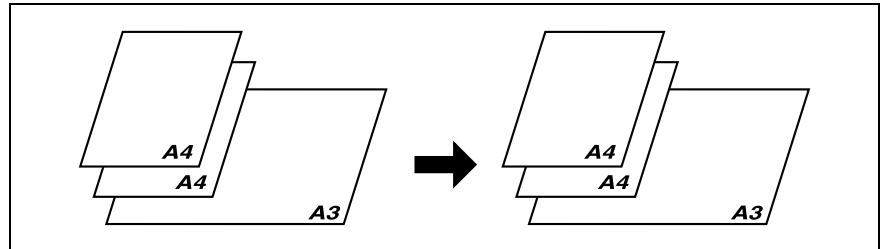


とじ代 (p. 6-15)



## ■ 原稿

混載原稿 (p. 3-12)



項目のタイトルで説明されている  
内容を確認します。



参照先を指示します。  
必要に応じてご覧ください。

【 】  
操作パネルのキー名称、  
電源スイッチなどを  
示します。

## 3.4 最初に必要な登録と設定の確認

本機の持っている機能を十分に活用していただくために、ここ  
で説明している時刻やワンタッチダイヤルキーなどをあらかじめ  
登録してください。

現在の日付／時刻を設定する

① 【ユーティリティ】キーを押します。

ユーティリティ



「時計 セッティ」画面が表示されます。

② テンキーの【1】を押し、「時計 セッティ」を選択します。

1 時計 セッティ

③ テンキーで時刻を入力します。

0:00 00 01 01  
HOUR (OK=YES)

④ 【Yes】キーを押し、タイムゾーンの設定画面を表示  
させます。

タイムゾーン=GMT+00:00  
YES

⑤ 【Yes】キーを押します。  
「ユーザーデータリセット」画面が表示されます。  
【リセット】キーを押すと基本画面に戻ります。

### 注意

上カバー内金属部は高温となっています。  
やけどの原因となりますので用紙以外には手を触  
れないでください。

参照  
設定内容については「8  
ユーティリティ／コピー設  
定」、「9 ユーティリティ  
／ファクス設定」をご覧く  
ださい。

3

ひとこと  
時刻は24時間制で指定し  
ます。

詳しく説明します  
・▼、▲キーでタイムゾ  
ーンを選択します。  
ネットワークカードNC-  
502とスキャナユニット  
SU-502を装着したとき  
のみ、この設定が必要で  
す。

必ず守ってください  
給紙ローラの表面には手  
を触れないように注意し  
てください。

基本機能 3-5

必ず守ってください

操作上の注意事項です。  
指示内容をよく読んで、  
必ず行ってください。

## 警告、注意

機械を安全に使用していただくための注意事項  
です。警告は、表示を無視して誤った取扱いを  
すると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定  
される内容を示しています。注意は、表示を無視  
して誤った扱いをすると、人が傷害を負う可能性  
または物的損害のみを負う可能性が想定される  
内容を示しています。

(このページは実際には存在しません。)

詳しく説明します

操作手順や内容に関して、  
さらに詳しく説明しています。

### ひとこと

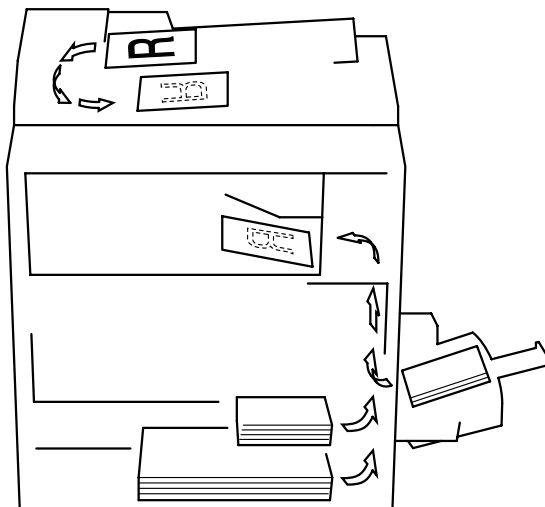
作業手順や内容に関して、  
参考となることや補足事項  
などが書かれています。  
お読みになることを  
おすすめします。

# 原稿および用紙の呼び方と表示

本文中に出てくる原稿や用紙の呼び方と、その表示について説明します。

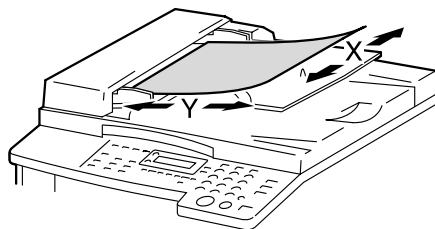
## ■ 排出面と通紙方向

本機は用紙を右側から給紙し、コピー／プリントした面を下に向けて上側の排紙トレイへ排出します。下図の矢印で示された、用紙の送られる方向のことを通紙方向と呼びます。




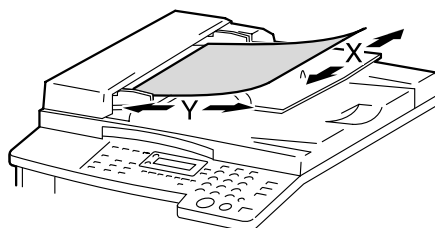
## ■ 幅と長さ

原稿／用紙の大きさを表す場合、X 辺を幅と呼び、Y 辺を長さと呼びます。




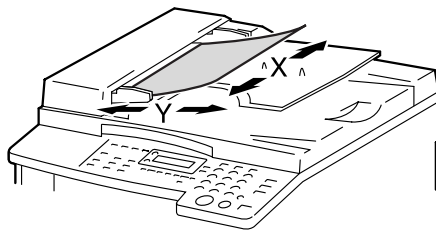
## ■ タテ

幅 (X) よりも長さ (Y) のほうが大きいものをタテと呼び、 と表示します。



## ■ ヨコ

幅 (X) よりも長さ (Y) のほうが小さいものをヨコと呼び、 と表示します。



# コピー禁止事項

本機でなにをコピーしてもよいわけではありません。

特に法律によって、そのコピーをとるだけでも罰せられるものがありますので、次の点にご注意ください。

## ■ 法律によりコピーを禁止されているもの

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債、地方債証券
- 外国紙幣、証券類
- 未使用郵便切手、官製はがき類
- 政府発行の印紙、酒税法で規定されている証券類

＜関係法律＞

通貨及証券模造取締法

外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律

郵便切手類模造等取締法

印紙等模造取締法

紙幣類似証券取締法

## ■ 著作権の対象となっているもの

書籍、絵画、写真、図面、地図、楽譜などの著作物は、個人的にまたは、家庭内、その他これに準ずる限られた範囲内で使用する場合を除いてコピーは禁止されています。

## ■ 注意を必要とするもの

- 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、許可証、身分証明書や通行証、食券などの切符類も勝手にコピーしないほうが良いと考えられます。
- 民間発行の有価証券（株券、小切手、手形等）、定期券、回数券などは事業所が業務に供するための最低必要部数をコピーする以外は、政府の指導によって注意が呼びかけられています。



本機が搭載している「部門管理」機能で「暗証番号登録」を設定すると、コピー使用時に暗証番号を入力しないと本機が使用できなくなるため、不正使用を防止することができます。

また、「部門管理」機能でコピーの「許可／禁止」を設定することにより、コピー機能に制限を加えることができます。

### ■ 使用済みのトナーボトル

- 使用済みのトナーボトルは、サービス技術者が回収しますので、捨てずに個装箱に入れて保管しておいてください。

### ■ 使用済みのドラム（感光体）

- 使用済みのドラム（感光体）は、サービス技術者が回収しますので、捨てずに個装箱に入れて保管しておいてください。

### ■ 本機廃棄について

- 本機を廃棄するときは、サービス実施店もしくは、最寄りの販売店にご連絡ください。本機を直接お引取りするか、または指定のお引取り場所をお知らせします。

# 第 1 章

## 設置・取扱いの注意

---

設置や取扱いの注意について説明します。

1.1 安全にご使用いただくために .....	1-2
1.2 適合宣言文 .....	1-9
1.3 設置上のご注意 .....	1-11
1.4 使用上のご注意 .....	1-13

## 1.1 安全にご使用いただくために

製品を安全にお使いいただくため、機械の電源、設置および日常の取扱い時にぜひ守っていただきたい注意とお願いを記述しました。製品の電源を入れる前に必ずお読みください。



- このユーザーズガイドはいつでも見られる場所に大切に保管ください。
- ユーザーズガイド本文内に書かれている注意事項も必ずお守りください。

KM\_Ver. 01J\_C

※ご購入いただいた製品によってはこの項の内容と、一部合致しないものもありますが、ご了承ください。

### ■ 絵表示の意味


このユーザーズガイドおよび製品への表示では、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### ■ 図記号の例




この記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。記号の中に具体的な注意内容が描かれています。

例)  「高温注意」を示す図記号




この記号は禁止の行為であることを告げるものです。記号の中や近くに具体的な禁止内容が描かれています。

例)  「分解禁止」を表わす図記号



この記号は必ず行わなければならない行為を告げるものです。記号の中に具体的な指示内容が描かれています。

例)  「電源プラグを抜く」を表わす図記号



## 分解・改造について

**警告**

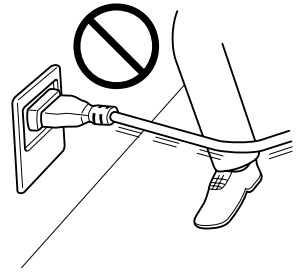
- 本製品を改造しないでください。火災・感電のおそれがあります。また、レーザーを使用している機器にはレーザー光源があり、失明のおそれがあります。
- 本製品の固定されているカバーやパネルなどは外さないでください。製品によっては、内部で高電圧の部分やレーザー光源を使用しているものがあり、感電や失明のおそれがあります。



## 電源コードについて

**警告**

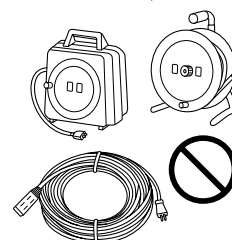
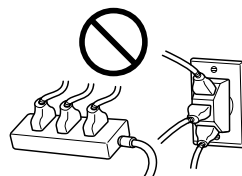
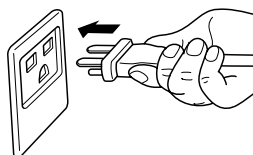
- 同梱されている電源コード以外は使用しないでください。不適切な電源コードを使用すると火災・感電のおそれがあります。
- この製品の電源コードを他の製品に転用しないでください。火災・感電のおそれがあります。
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、重いものを載せたり、加熱したり、無理にねじったり、曲げたり、引っぱったりして破損させないでください。傷んだ電源コード（芯線の露出、断線等）を使用すると火災のおそれがあります。



## 電源について

### ⚠ 警告

- 製品に表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災、感電のおそれがあります。
- プラグの形状とコンセントが合わない場合に変換アダプタを使用しないでください。コンセントの形状は電圧や流せる電流で決まっているため、これを守らないと火災の危険があります。また、アース接続の不良により、感電の危険もあります。プラグの形状に合うコンセントの設置を電気工事士にご依頼ください。
- コンセントが2口以上あって、この製品と他の電気製品を同時に使う場合は、事前に担当サービス技術者にご相談ください。コンセントの容量を超えて使用すると、火災の危険があります。
- 原則的に延長コードは使用しないで下さい。また、タコ足配線はしないでください。火災、感電のおそれがあります。やむを得ず延長コードを使用する場合は、担当サービス技術者にご相談ください。



### ⚠ 注意

- コンセントはできるだけ製品のそばにあるものを利用し、そのコンセントに容易に近づけるようにしてください。火災、感電のおそれがあります。非常時に電源プラグを抜けなくなります。



## 電源プラグについて

**⚠ 警告**

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。



- 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。火災、感電のおそれがあります。

**⚠ 注意**

- プラグを抜くときは電源コードを引っばらないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



- 電源プラグは年1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因となることがあります。



## アース接続について

**⚠ 警告**

- 必ずアース接続してください。アース接続しないで、万一漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。



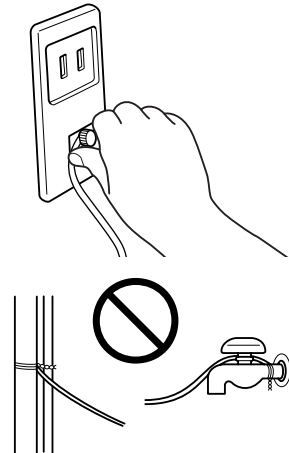
※ アース線の接続は電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。また、アース線を外すときは、必ず電源プラグをコンセントから外してから行ってください。

アース線は、以下のいずれかの場所に取り付けるようにしてください。

- コンセントのアース端子
- 接地工事を施してある接地端子（第D種）

次のような所には絶対にアース線を取り付けしないでください。

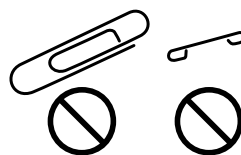
- ガス管（ガス爆発の原因になります）
- 電話専用アース線および避雷針のアース線（落雷時に大きな電流が流れ、火災・感電のおそれがあります）
- 水道管（途中が樹脂になっていて、アースの役目を果たさない場合があります）



## 設置について

### ⚠ 警告

- 本製品の上に水などの入った花瓶等の容器や、クリップ等の小さな金属物などを置かないでください。こぼれて製品内に入った場合、火災、感電のおそれがあります。  
万一、金属片、水、液体等の異物が本製品の内部に入った場合には、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、担当サービス技術者にご連絡ください。



### ⚠ 注意

- 本製品を設置したら固定脚を使用して固定してください。動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。(床置き型製品の場合)
- 本製品をほこりの多い場所や調理台・風呂場・加湿器の側など油煙や湯気の当たる場所には置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 本製品を不安定な台の上や傾いたところ、振動・衝撃の多いところに置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 本製品の通風口をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。
- 本製品の周囲で引火性のスプレーや液体、ガス等を使用しないでください。火災の原因となります。



## 換気について

### ⚠ 注意

- 本製品を狭い部屋等で使用される場合は、定期的に部屋の換気をしてください。換気の悪い状態で長期間使用すると健康に障害を与える可能性があります。



## 異常が見られたら

**⚠ 警告**

- 本製品が異常に熱くなったり、煙、異臭、異音が発生するなどの異常が発生した場合には、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、担当サービス技術者にご連絡ください。



- 本製品を落としたり、カバーを破損した場合は、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、担当サービス技術者にご連絡ください。そのまま使用しますと、火災・感電のおそれがあります。

**⚠ 注意**

- 本製品の内部にはやけどの原因となる高温部分があります。紙づまりの処置など内部を点検するときは、「高温注意」を促す表示がある部分（定着器周辺など）に、触れないでください。



## 消耗品について

**⚠ 警告**

- トナーまたはトナーの入った容器を火中に投じないでください。トナーが飛び散り、やけどのおそれがあります。

**⚠ 注意**

- トナーカートリッジや感光体等を子供の手の届くところに放置しないで下さい。なめたり食べたりすると健康に障害を来す原因になることがあります。
- トナーユニットや感光体ユニットは、フロッピーディスクや時計等磁気に弱いものの近くには保管しないでください。これら製品の機能に障害を与える可能性があります。



製品を移動させるときは

**⚠ 注意**

- 本製品を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- 本製品を移動する際は必ず使用書等で指定された場所を持って移動してください。製品が落下してけがの原因となります。



長期間使用しないときは

**⚠ 注意**

- 連休等で本製品を長期間使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



### ■ レーザーの安全性

本機は、レーザーを使用するデジタル機器です。本マニュアルに記載の指示事項を守って動作させる限り、レーザーの危険にさらされることはありません。

レーザー光放射は、保護カバーの中に完全に遮蔽されていますので、ユーザー使用のどの段階においても、レーザー光が機外に漏れ出すことはありません。

本機はクラス 1 レーザー製品として認定されています。従って、本機が危険なレーザー放射を発生させることはありません。

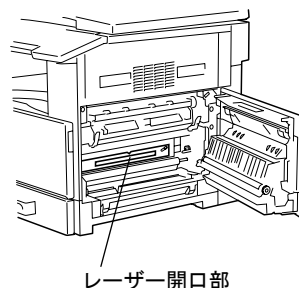
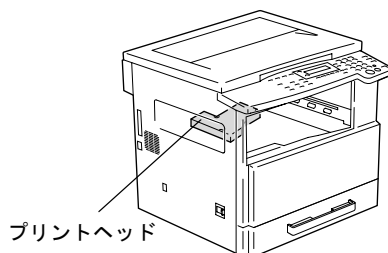
### ■ 内部レーザー放射

最大平均放射パワー：プリントヘッドのレーザー開口部で  $6.32 \mu\text{W}$

波長：770-795 nm

本機は、クラス 3b のレーザーダイオードを使用し、不可視のレーザー光を放射します。

プリントヘッド部には、このレーザーダイオードと読み取り用ポリゴンミラーが組み込まれています。プリントヘッド部は市場保守調整品目ではありません。したがって、プリントヘッド部は、どのような状況でも開けないでください。



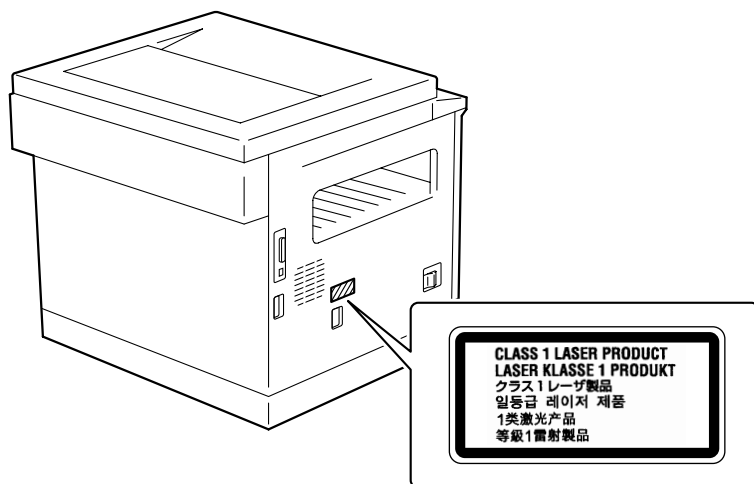
#### 注意

ここに規定した以外の手順による制御や調整は、危険なレーザー放射の被ばくをもたらす恐れがあります。

これは半導体レーザーです。このレーザーダイオードの最大出力は 5 mW で波長は 770-795 nm です。

### ■ レーザー安全ラベル

下図に示すように、レーザー安全ラベルが本機の外側に貼り付けられています。



### ■ オゾン放出

本機の使用中はオゾンが発生しますが、その量は人体に悪影響を及ぼさないレベルです。ただし、換気の悪い部屋で長時間使用したり、大量にコピー／プリントを行ったりする場合には臭気が気になることがあります。快適な環境を保つために部屋の換気をおすすめします。

### ■ 電波障害について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

この製品にはシールドされたネットワークケーブルおよびパラレルケーブルを使う必要があります。そうでない場合は、電波障害を引き起こすことがあります。

### ■ 高調波対策ガイドライン

本機器は社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会が定めた複写機及び類似の機器の高調波対策ガイドライン（家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに準拠）に適合しています。



### ■ 設置環境

次のような場所への設置は安全上好ましくありません。また本機の故障の原因になりますので、避けて設置してください。

- カーテンなどの燃えやすいものが近くにあるところ。
- 水などが飛び散り、漏電を起こす危険性のあるところ。
- 直射日光のあたるところ。
- エアコンや暖房器具の風が直接あたるような、温度や湿度が急激にかわる場所。
- 通気性、換気性の悪いところ。
- 湿気の多いところ。
- ほこりの多いところ。
- 振動の激しいところ。
- 水平でないところ。
- アンモニア等の有機ガスが発生する場所。
- 機械の排気が直接人体に当たるところ。
- 石油ストーブ等の発熱機器に近いところ。

### ■ 設置電源

設置電源には以下の条件の電源を使用してください。

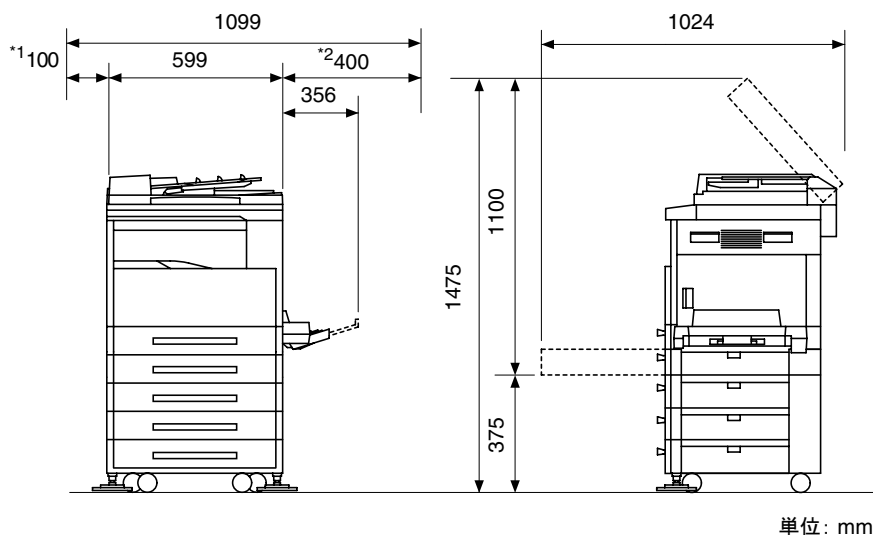
- 使用する電源は、電圧および周波数の変動が少ないものを使用してください。

電圧変動率：AC 100 V  $\pm$  10%以内

周波数変動：50 Hz/60 Hz  $\pm$  3 Hz 以内

### ■ 設置スペース

コピー操作、消耗品の交換、点検などの作業を容易にするため、下図の設置スペースを確保してください。



\*1: 本機の左側面には排熱用の排気ダクトがあるため、左側面は必ず 100 mm 以上あけてください。

\*2: 本機の右側面は横カバーの開閉用に 400 mm 以上あけてください。

## 1.4 使用上のご注意

### ■ 使用環境

いつも良い条件でご使用いただける環境の範囲は、以下の条件です。

- 気温 10°C ~ 30°C 温度変化率 10°C/h 以下
- 湿度 15% ~ 85% 湿度変化率 10%/h 以下

### ■ 本機使用上のご注意

本機を最良の状態でご使用いただくために、次の点にご注意ください。

- 原稿ガラスの上に重いものを載せたり、衝撃を与えたりしないでください。
- コピー／プリント中に、各種ドアを開けたり、メインスイッチを OFF にしたりしないでください。紙づまりをおこします。
- 本機に磁石や燃えやすいガス、または液体を近づけないでください。
- 電源プラグはしっかり差し込んでください。
- 電源プラグを差し込んだコンセントが、本機などの陰に隠れてしまわないようにしてください。
- 長い休みなどで長期間本機を使用しない場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 連続して多量のコピー／プリントを行う場合には、部屋の換気を行ってください。

### ⚠ 注意

本機の左側面にある排気ダクトがふさがれると、内部に熱がこもり、故障や火災の原因となります。  
排気ダクトの左側面は 100 mm 以上あけてください。

### ⚠ 注意

定着部周辺は高温となっています。  
火傷の原因となりますので、ユーザーズガイド中で指定された箇所以外には手を触れないように注意してください。特に、「注意 やけどのおそれあり さわらないでください」という表示のある箇所、およびその周辺には手を触れないでください。  
高温部分に手などが触れてしまった場合は、すぐに冷たい水で冷やし、医師にご相談ください。

### ■ 転居、移動

引越しなどで本機を移転させる場合には、サービス実施店にご相談ください。

## ■ 消耗品の取り扱い上のご注意

消耗品（トナーボトル、用紙）の取り扱いには以下の点にご注意ください。

- 消耗品を以下のような場所で保管しないでください。
  - 直射日光の当たるところ
  - 火気のある暑いところ
  - 湿気の多いところ
  - ほこりの多いところ
- 包みから取り出した用紙は、ポリ袋に入れ必ず冷暗所に保管してください。
- トナーは本機専用のトナーを使用してください。他のトナーは絶対に使用しないでください。
- 幼児や子供の手の届く所には置かないようにしてください。

## 注意

トナーで本体内や衣服または手などを汚さないように注意して取り扱ってください。  
トナーで手を汚してしまった場合には、水や中性洗剤などを使って洗い流してください。  
目に入ってしまった場合には、すぐ水で洗い流し、医師にご相談ください。

## ■ コピーの保存について

- 長期間保存される場合は、光による退色を防ぐため光の当たらないところに保管してください。
- コピーされたものを貼る場合、溶剤入りの接着剤（スプレーのりなど）を使用すると、トナーが溶けることがあります。

# 第2章

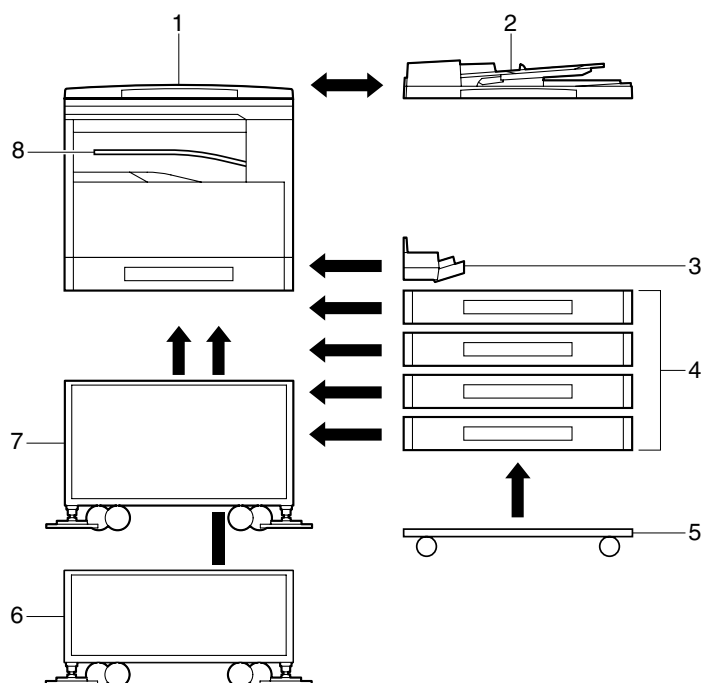
## おつかいになるまえに

---

おつかいになるまえに知っておきたいことについて説明します。

2.1 装置全体の構成とはたらき .....	2-2
2.2 各部の名称とはたらき .....	2-4
2.3 操作パネル部の名称とはたらき .....	2-10
2.4 電源について .....	2-16

## 2.1 装置全体の構成とはたらき



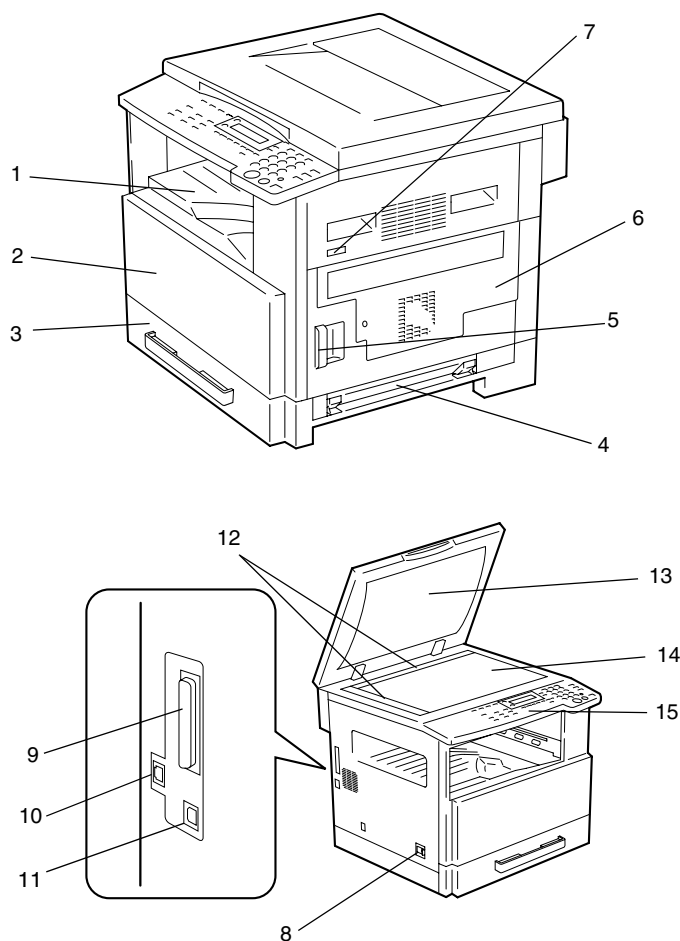
No.	名称	説明
1	原稿カバー OC-504	セットした原稿が動かないように押さえます。 以降本文中では原稿カバーと呼びます。
2	自動原稿送り装置 DF-502 (オプション)	自動的に原稿を 1 枚ずつ送り出し、読み込みます。 以降本文中では原稿送り装置と呼びます。
3	マルチ手差し給紙ユニット MB-501 (オプション)	用紙を最大 100 枚までセットできます。 以降本文中ではマルチ手差しトレイと呼びます。
4	ペーパーフィーダーユニット PF-502 (オプション)	用紙を 250 枚セットできるペーパーフィーダーユニットです。 本機には 4 段まで増設できます。 以降本文中では第 2/ 第 3/ 第 4/ 第 5 トレイと呼びます。
5	専用デスク DK-703 (オプション)	本機を専用デスクの上に設置できます。 専用デスクを使用することにより、本機をフロアに設置できます。 以降本文中では専用デスクと呼びます。
6	専用デスク DK-702 (オプション)	本機を専用デスクの上に設置できます。 専用デスクを使用することにより、本機をフロアに設置できます。 以降本文中では専用デスクと呼びます。
7	専用デスク DK-701 (オプション)	本機を専用デスクの上に設置できます。 専用デスクを使用することにより、本機をフロアに設置できます。 以降本文中では専用デスクと呼びます。
8	セパレータ JS-503 (オプション)	プリントされた用紙を仕分けることができます。(PC プリント時のみ有効) 以降本文中ではセパレータと呼びます。

No.	名称	説明
9	イメージコントローラ IC-205* (オプション)	内蔵型のプリンタコントローラです。本機を PC プリンタ (PCL) として使用できます。 詳しくは、イメージコントローラ IC-205 ユーザーズガイドをご覧ください。
10	ネットワークカード NC-502* (オプション)	内蔵型のネットワークカードです。本機にネットワークカード NC-502 を装着することにより、Windows および NetWare ネットワーク環境でのネットワークプリントができます。
11	拡張メモリ EM-101* (オプション)	32MB の拡張メモリです。本機で処理できる原稿枚数を増やすことができます。 以降本文中では拡張メモリと呼びます。
12	拡張メモリ EM-102* (オプション)	64MB の拡張メモリです。本機で処理できる原稿枚数を増やすことができます。 以降本文中では拡張メモリと呼びます。

\* 内蔵系オプションのため、図解してありません。

## 2.2 各部の名称とはたらき

### ■ 本体

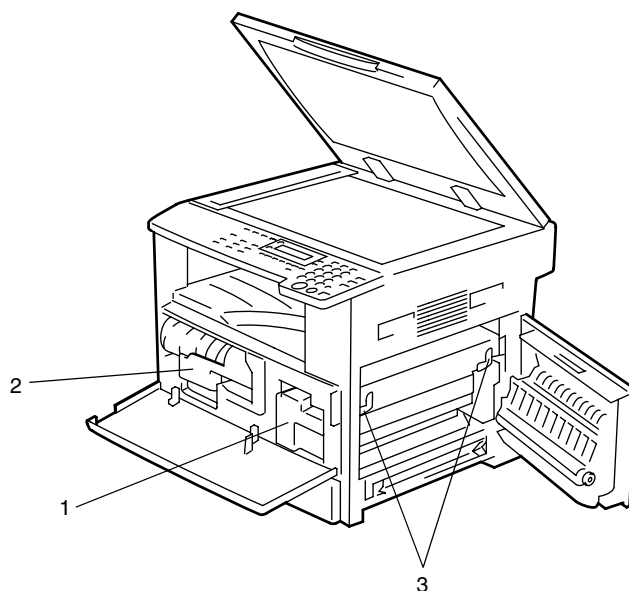


No.	名称	説明
1	コピートレイ	コピー／プリントされた用紙がコピー／プリント面を下にして排出されます。
2	前カバー	トナーボトルを交換するときに開きます。(p. 8-2)
3	第 1 トレイ	<ul style="list-style-type: none"> <li>250 枚までの用紙をセットできます。</li> <li>用紙サイズを自由に変更できます。</li> <li>特殊紙を使用できます。(p. 7-13)</li> </ul>
4	シングル手差しトレイ	<ul style="list-style-type: none"> <li>手差しコピーをするときに使用します。</li> <li>用紙は 1 枚ずつ差し込みます。</li> <li>特殊紙を使用できます。(p. 5-15)</li> </ul>
5	ロック解除レバー	横カバーを開閉するときに使用します。
6	横カバー	紙づまりの処理をするときに開きます。
7	メカカウンタ	コピー／プリントされたトータル枚数を表示します。
8	メインスイッチ	本機の電源を ON / OFF します。(p. 2-16)



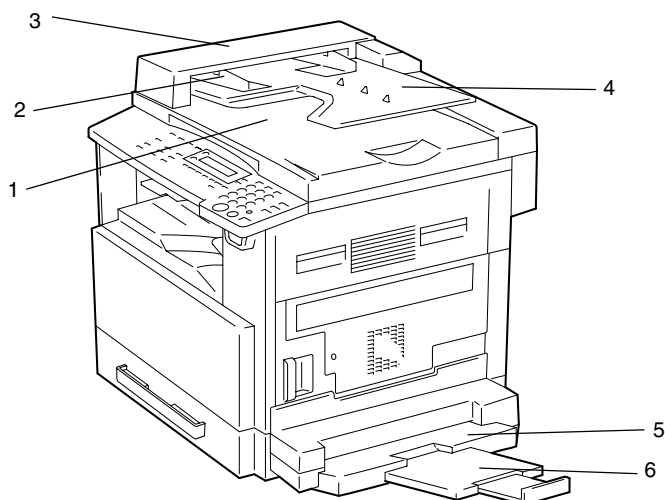
No.	名称	説明
9	パラレルインターフェースコネクタ	パラレルケーブルで PC と本機を接続するときに使用します。
10	ネットワーク用コネクタ RJ45 (オプション)	本機をネットワークプリンタとして使用するときネットワークケーブルを接続します。
11	USB コネクタ	USB ケーブルで PC と本機を接続するときに使用します。
12	原稿スケール	スケールの表示に合わせて原稿をセットします。(p. 3-9)
13	原稿カバー	セットされた原稿を押さえます。
14	原稿ガラス	原稿をここにセットし、原稿を読み込みます。原稿面は下側に向けてセットします。(p. 3-9)
15	操作パネル	コピースタートや各種の設定を行う場合に使用します。(p. 2-10)

## ■ 本体内部



No.	名称	説明
1	感光体ユニット	コピーイメージを生成します。 感光体ユニットの交換はサービス実施店で行います。
2	トナーボトルホルダー	トナーボトルを交換するときに開きます。
3	圧着レバー	定着部の紙づまり処理をするときに使用します。(p. 8-6)

## ■ 自動原稿送り装置（オプション）／マルチ手差し給紙ユニット（オプション）



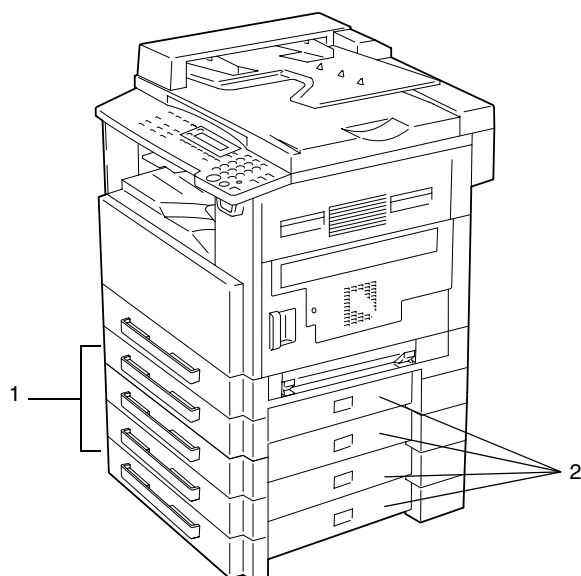
### 自動原稿送り装置

No.	名称	説明
1	原稿排出トレイ	読み込みの終わった原稿が排出されます。
2	原稿セットガイド	原稿の幅に合わせてガイドを調整します。(p. 3-8)
3	給紙カバー	つまった原稿を取り除くときに開きます。(p. 8-14)
4	原稿給紙トレイ	コピーする原稿を上向きにセットします。(p. 3-8)

### マルチ手差し給紙ユニット

No.	名称	説明
5	手差しトレイ	100 枚（普通紙）、20 枚（特殊紙）、10 枚（封筒）までの用紙をセットできます。(p. 5-9)
6	補助トレイ	大きなサイズの用紙をセットするときに引き出します。

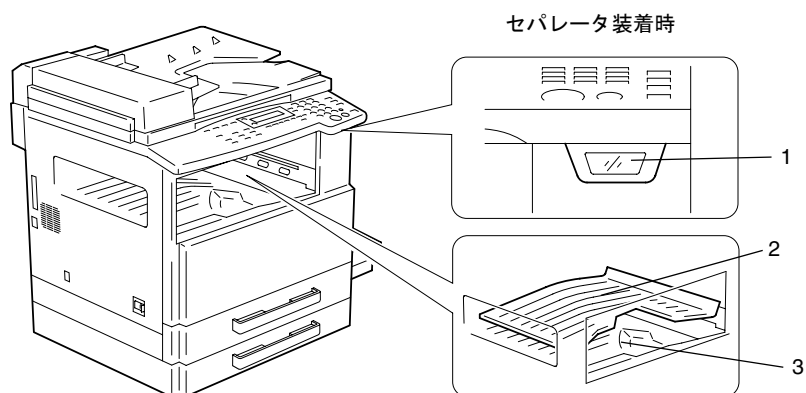
## ■ ペーパーフィーダーユニット（オプション）



ペーパーフィーダーユニット

No.	名称	説明
1	第 2/ 第 3/ 第 4/ 第 5 トレイ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 250 枚（普通紙）までの用紙をセットできます。</li> <li>• 4 段のペーパーフィーダーユニットを増設できます。</li> </ul>
2	横カバー	つまった用紙を取り除くときに開きます。（p. 8-10）

## ■ セパレータ（オプション）

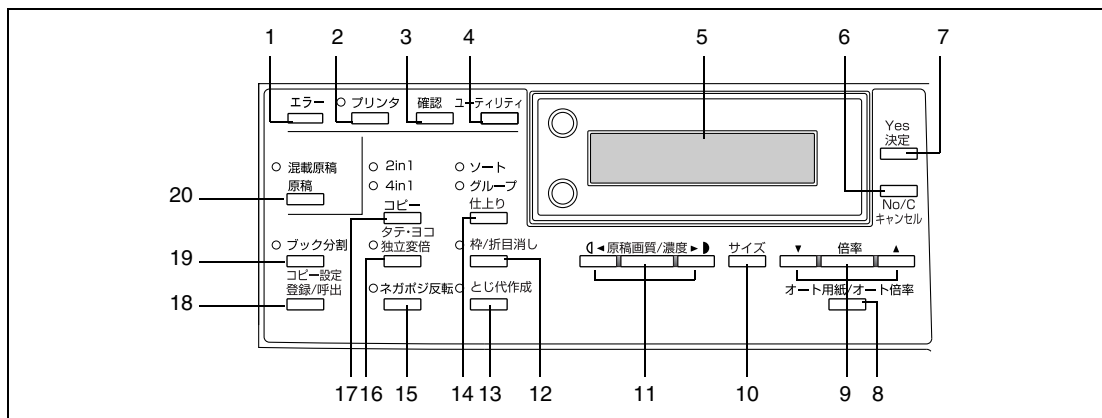


### セパレータ

No.	名称	説明
1	用紙排出ランプ	上段排出トレイが上部に移動している状態で、トレイに用紙が残っているときにランプが点灯します。
2	上段排出トレイ	PC からプリントされた用紙が排出されます。
3	下段排出トレイ	コピーされた用紙がここに排出されます。

## 2.3 操作パネル部の名称とはたらき

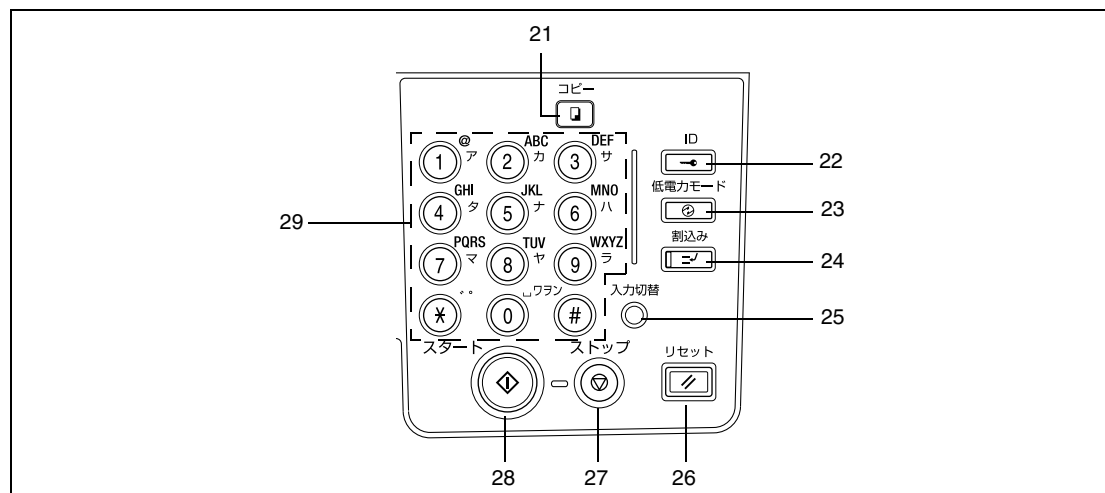
### ■ 操作パネル部の名称とはたらき



No.	名称	機能
1	エラーランプ	エラーが発生したときに点灯または点滅します。 詳しくは、「こんなメッセージが表示されたら」(p. 8-1)をご覧ください。
2	プリンタキー／ランプ	PCからのプリント中はランプが点灯し、データの転送中はランプが点滅します。 詳しくは、プリンタドライバユーザズガイドをご覧ください。
3	確認キー	カウンタの確認を行います。
4	ユーティリティキー	ユーティリティモードの設定画面に切り替えます。 本体設定、トレイ設定、ユーザー保守、管理者保守、コピー設定 1、2
5	ディスプレイ	コピー枚数や倍率、設定メニュー、エラーメッセージを表示します。
6	No/C キャンセルキー	入力中の数字を消去します。 前の画面に戻ります。
7	Yes 決定キー	各種設定値を決定します。
8	オート用紙／オート倍率キー	オート用紙モード／オート倍率モードを選択します。
9	倍率キー ▼、▲ キー	<ul style="list-style-type: none"> <li>拡大／縮小の固定倍率を選択します。</li> <li>キーを押すごとに、×0.25 ～ ×4.00 の範囲で 0.01 刻みで倍率を設定できます。(マニュアル用紙選択モード時) オート用紙モード選択時は×0.50 ～ ×2.00 の範囲で設定できます。</li> <li>機能選択画面や一覧画面で上下キーとして使用します。</li> </ul>
10	サイズキー	コピーしたい用紙サイズを選択します。
11	原稿画質／濃度キー ◀、▶ キー	<ul style="list-style-type: none"> <li>コピーの読み取り濃度を選択します。</li> <li>機能選択画面で左右キーとして使用します。</li> </ul>
12	枠／折目消しキー	イレース位置の選択をします。
13	とじ代作成キー	とじ代モードを選択します。
14	仕上りキー	コピーの仕上りモードを選択します。

No.	名称	機能
15	ネガポジ反転キー	原稿の白色部と黒色部を反転してコピーします。
16	タテ・ヨコ独立変倍キー	タテとヨコの倍率を変えてコピーします。
17	コピーキー	2in1、4in1 コピーを選択します。
18	コピー設定 登録／呼出キー	<ul style="list-style-type: none"><li>• コピー設定を登録できます。</li><li>• 登録したコピー設定を選択して呼び出します。</li></ul>
19	ブック分割キー	ブック分割を選択します。
20	原稿キー	混載原稿を選択します。

## 2.3 操作パネル部の名称とはたらき



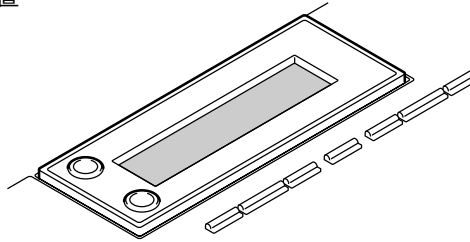
No.	名称	機能
21	コピーキー	キーがグリーン色に点灯し、コピーモードであることを示します。
22	ID キー	部門管理をしているときに使用します。(p. 6-18)
23	低電力モードキー	低電力モードに切り替わります。(p. 2-17)
24	割込みキー	割り込みモードに切り替わります。キーがグリーン色に点灯し、割り込みモードであることを示します。 もう一度キーを押すと、割り込みモードを解除し、割り込みモードに入る前のモードに戻ります。(p. 5-36)
25	入力切替キー	本機では機能しません。
26	リセットキー	<ul style="list-style-type: none"> <li>設定をすべて解除し、初期モードに戻します。</li> <li>設定中のジョブを消去します。</li> </ul>
27	ストップキー	連続コピー動作を停止させます。
28	スタートキー	<ul style="list-style-type: none"> <li>コピー動作をはじめます。</li> <li>ウォームアップ中に押すと、予約コピー機能がはたらかいます。(p. 2-17)</li> <li>グリーン色に点灯しているときはコピー受け付け可能なことを示し、オレンジ色に点灯しているときはコピー開始の準備ができないことを示しています。</li> </ul>
29	テンキー	<ul style="list-style-type: none"> <li>コピー部数を設定します。</li> <li>各種設定値を入力します。</li> <li>※、#は本機では機能しません。</li> </ul>



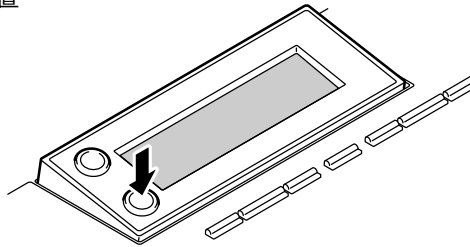
## ■ ディスプレイの角度の換えかた

ディスプレイ部分を押し角度を3段階に調節できます。  
使いやすい角度を選んでご使用ください。

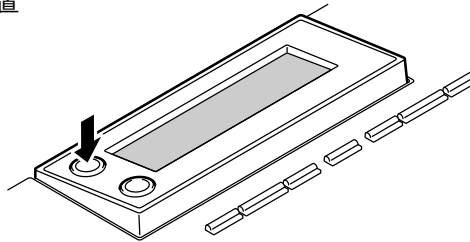
中段位置



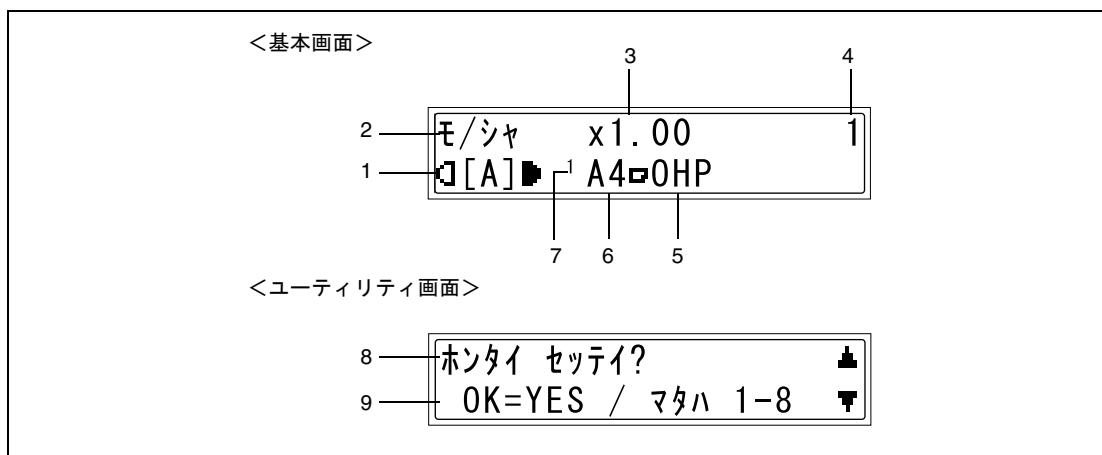
上段位置



下段位置



## ■ ディスプレイ表示について



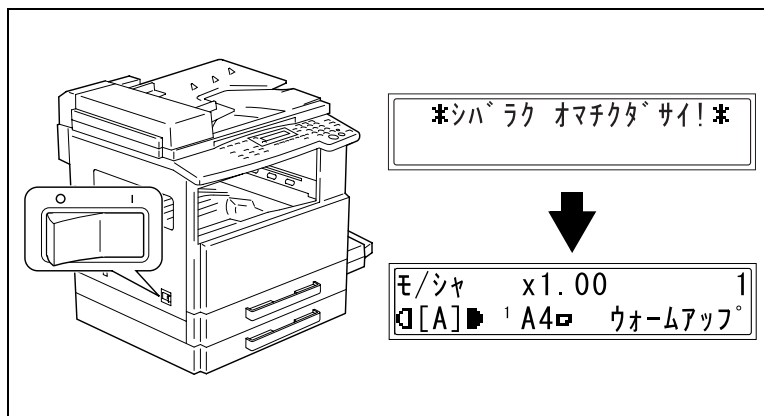
No.	ディスプレイ表示	説明
1	コピー濃度	コピー濃度設定での濃度設定状態を表示します。
	□[A]■	オート濃度が選択されています。
	□ ■ ■	マニュアル濃度が選択されています。マニュアル濃度は、9段階で調整できます。
2	原稿画質	原稿の画質設定状態を表示します。
	モ/シャ	文字 / 写真画質が選択されています。 文字と写真が混在する新聞や雑誌などの印刷された原稿から、コピーするのに適したモードです。 オート濃度モードと合わせて設定できます。
	シャシ	写真画質が選択されています。 パンフレットやカタログなどの印刷された原稿から、コピーするのに適したモードです。モジ画質では再現できないハーフトーンの原稿画像（写真など）を、可能なかぎり再現します。
3	コピー倍率	設定されているコピー倍率を表示します。
	x オート	オート倍率が選択されています。 原稿サイズと選択した用紙サイズに合わせて、自動的に最適なコピー倍率を選択します。
	x1.00	等倍 (×1.00) が選択されています。 原稿と同じ大きさとコピーします。
4	コピー枚数	コピー枚数を表示します。 1 ～ 99 枚まで設定可能です。

No.	ディスプレイ表示	説明
5	用紙種類	選択されている用紙種類を表示します。
		普通紙または再生紙が選択されています。
	アツカミ	厚紙が選択されています。
	OHP	OHP フィルムが選択されています。
	フウトウ	封筒が選択されています。
	ハガキフウトウ	官製はがきが選択されています。
6	用紙サイズ	選択されている用紙サイズを表示します。
	[□]	フリーサイズの用紙が設定されています。
7	給紙トレイ	選択されている給紙トレイを表示します。
	1	第1トレイが選択されています。
	2	第2トレイが選択されています。
	3	第3トレイが選択されています。
	4	第4トレイが選択されています。
	5	第5トレイが選択されています。
	▲	シングル手差しトレイまたはマルチ手差しトレイが選択されています。
8	モード／機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種設定メニュー、選択肢を表示します。</li> <li>エラーが発生した場合、エラーメッセージを表示します。</li> </ul>
9	メッセージ	操作の指示メッセージなどを表示します。

## 2.4 電源について

### ■ 電源を ON にする

メインスイッチの【I】を押します。  
【スタート】がオレンジ色に点灯し、ディスプレイに「\*シハラク オマチクダサイ! \*」と表示されます。



### ■ 電源を OFF にする

1

すべてのジョブが終了したことを確認します。

2

メインスイッチの【O】を押します。

### ■ 初期モード

本機の電源を ON にしたときやりセットしたときの設定を初期モードと呼びます。初期モードは、すべての操作を行うときの基本となります。

コピーモード

- コピー枚数：1
- コピー濃度：オート
- 倍率：等倍 (×1.00)
- 用紙：オート用紙 (原稿送り装置装着時)
- 仕上り：ノンソート

#### ひとこと

- ウォームアップタイムは室温 23°C で 30 秒以内です。
- ウォームアップ時でもコピーを予約することができます。(p. 2-17)



ユーティリティモードを使って初期モードを変更できます。(p. 7-1)

## ■ オートリセット

オートリセットとはコピー終了後、または本機を操作しなくなってから一定時間が経過すると、初期モードに戻る機能です。  
(工場出荷時の設定：1 分)

## ■ 低電力（スリープ）モード

低電力モードは電源を OFF するかわりに本機を節電状態にする機能です。

低電力モード中は【スタート】がグリーン色に点灯し、操作パネルのディスプレイ表示は OFF になります。

低電力モードになる条件

- 【低電力モード】を押したとき
- 本機を操作しなくなってから一定時間が経過したとき  
(工場出荷時の設定：15 分)

## ■ オートパワーオフ

オートパワーオフとは、本機を操作しなくなしてから一定時間が経過すると、節電のために自動で電源が OFF になる機能です。  
(工場出荷時の設定：OFF)

## ■ 予約コピー

予約コピーとは、ディスプレイ右下に「\*ウォームアップ\*」と表示されているときに原稿をセットし、【スタート】を押すと、コピーを予約できる機能です。

ウォームアップ表示が消えると、セットされた原稿の読み込みを開始してコピーを行います。



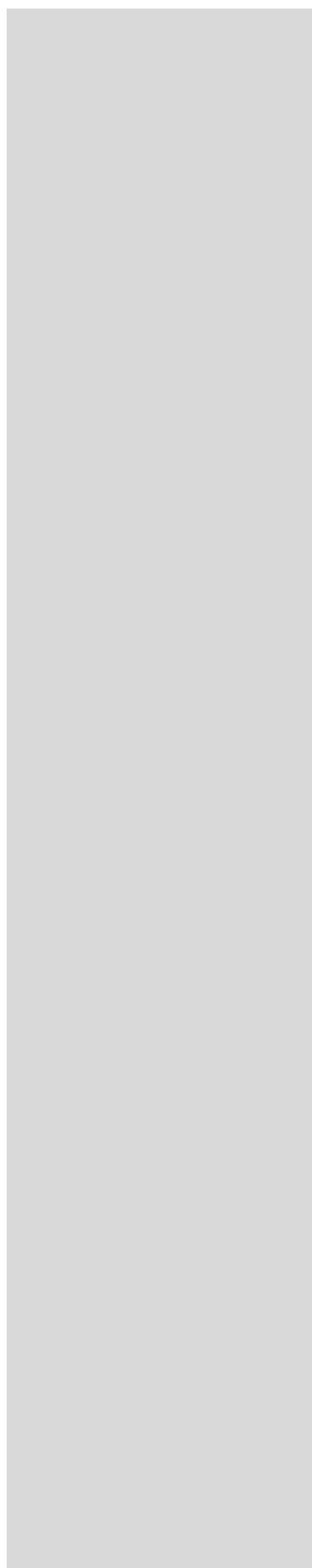
オートリセット機能が有効になるまでの時間を 30 秒、または 1 分から 5 分の間で設定できます。  
またオートリセット機能を無効にすることもできます。  
詳しくは p. 7-5 をご覧ください。



低電力モード中でもオートパワーオフ機能が有効になると、本機の電源は OFF になります。



低電力モードが有効になるまでの時間を 1 分から 240 分の間で設定できます。詳しくは p. 7-6 をご覧ください。



# 第 3 章

## 基本的なつかいかた

---

原稿や用紙のセットなど本機の基本的なつかいかたについて説明します。

3.1 コピーする .....	3-2
3.2 用紙のセットのしかた .....	3-4
3.3 原稿のセットのしかた .....	3-8
3.4 コピーの停止／再開／消去について .....	3-14
3.5 確認モードについて .....	3-15
3.6 電気を節約するには .....	3-17

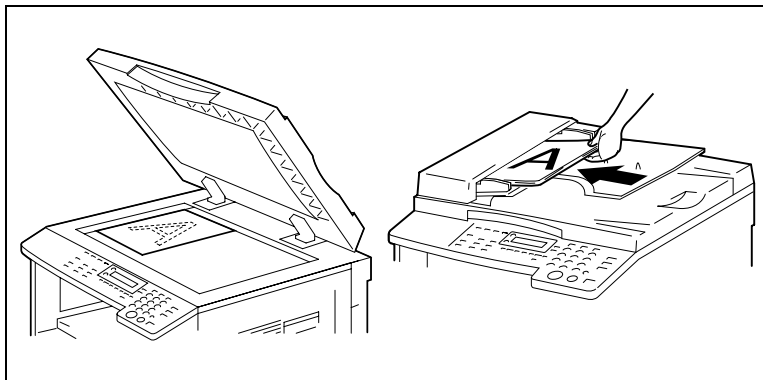
## 3.1 コピーする

原稿をセットし、コピーをとるための基本的な操作手順を説明します。

### ■ コピーの基本的なとりかた

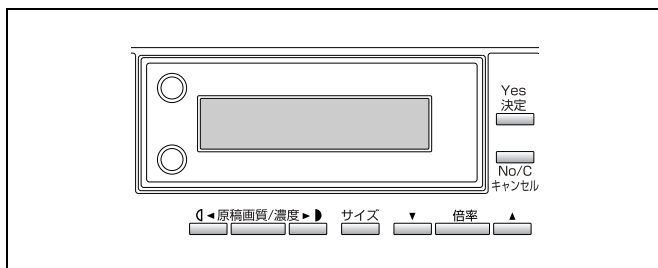
1

原稿をセットします。



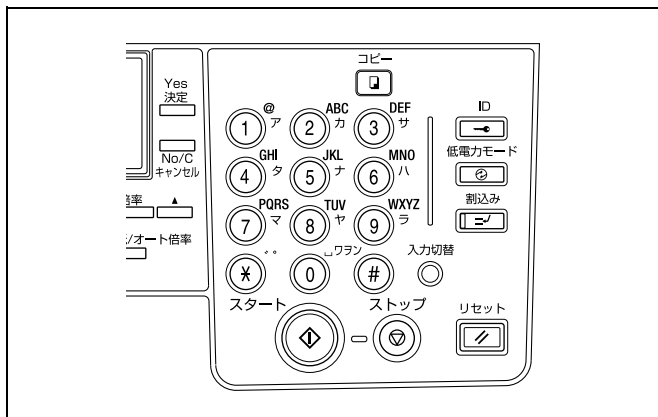
2

操作パネルで、必要な機能を設定します。



3

テンキーでコピー部数を設定します。



「原稿のセットのしかた」  
(p. 3-8) をご覧ください。



- 「用紙の選択のしかた」  
(p. 5-21) をご覧ください。
- 「倍率を指定してコピーする」  
(p. 5-27) をご覧ください。
- 「コピー濃度を変更してコピーする」  
(p. 5-33) をご覧ください。
- 「一歩進んだコピーのとりかた」  
(p. 6-1) をご覧ください。

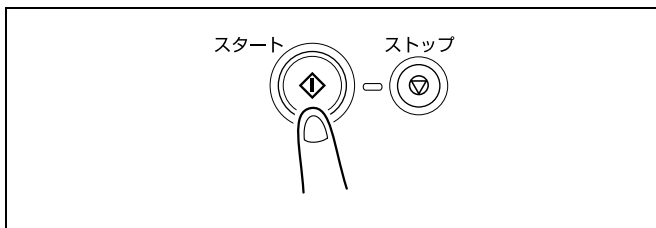


- コピー部数は、1 枚から 99 枚までの間で設定します。
- 【No】を押すと設定した部数はクリアされます。



4

【スタート】を押します。  
コピーが開始されます。



詳しく説明します

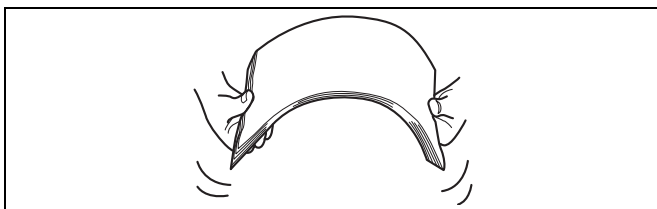
コピーを途中で中断する場合は、【ストップ】を押してください。

3

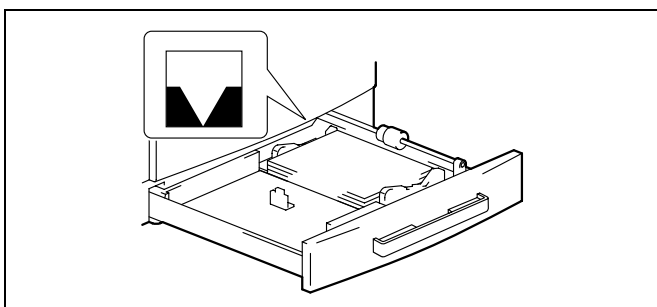
## 3.2 用紙のセットのしかた

用紙をセットするときに、以下の注意事項を必ず守ってください。

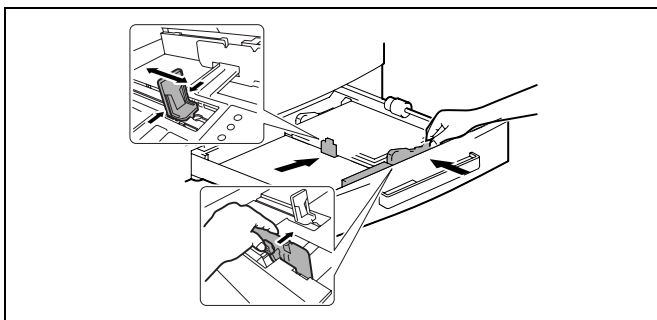
- 用紙がカールしている（反っている）場合は、用紙のカール（反り）をなおしてからセットしてください。



- 用紙は▼マークまたは規定枚数を超えないようにセットしてください。



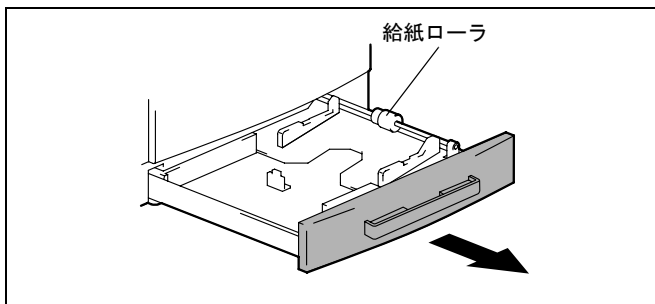
- ガイド板を確実に用紙の端面にあわせてください。



## ■ 第1トレイに用紙をセットする

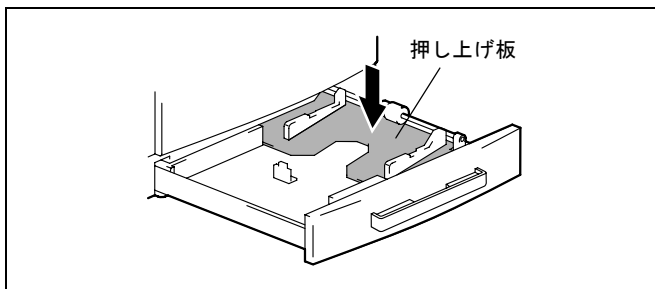
1

第1トレイを引き出します。



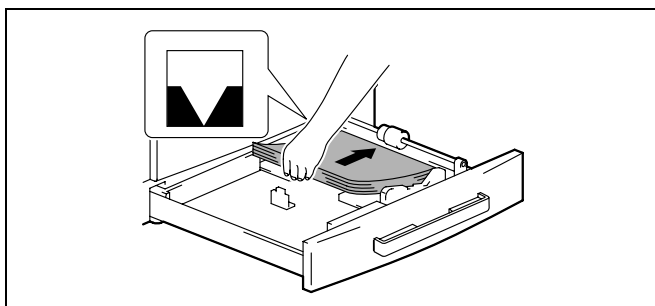
2

押し上げ板を“カチッ”と音がするまで押し下げます。



3

用紙をセットします。



**必ず守ってください**

給紙ローラの表面には手を触れないように注意してください。

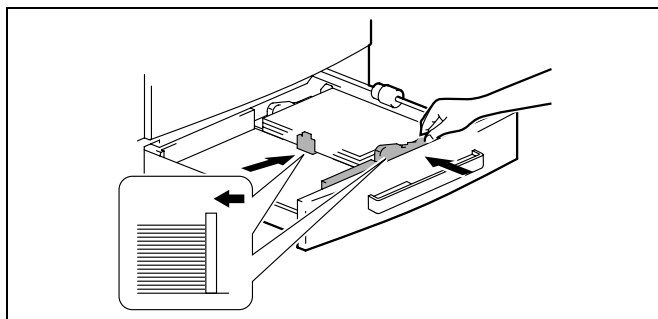
3

**必ず守ってください**

用紙は▼マークをこえないようにセットしてください。

4

用紙のサイズにあわせ、ガイド板を調整します。

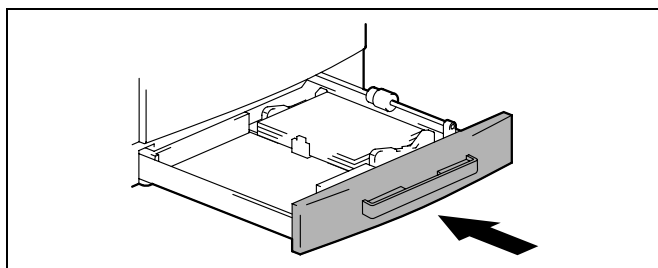


必ず守ってください

ガイド板は、必ず用紙の端面にあわせてください。

5

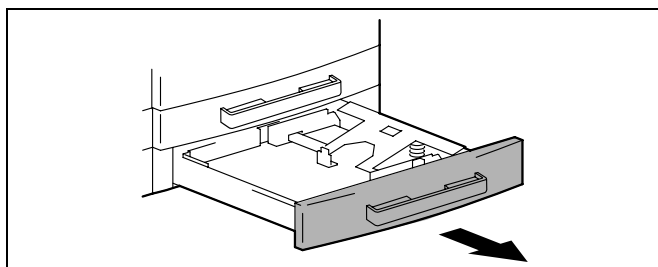
第1トレイをもとに戻します。



## ■ 第2/第3/第4/第5トレイに用紙をセットする

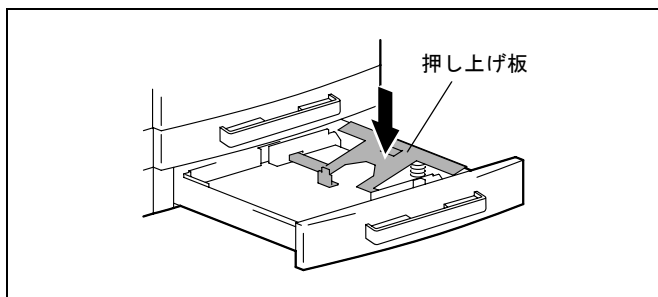
1

トレイを引き出します。



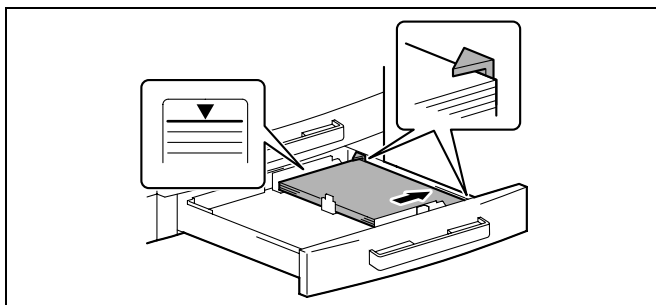
2

押し上げ板を“カチッ”と音がするまで押し下げます。



3

用紙をセットします。

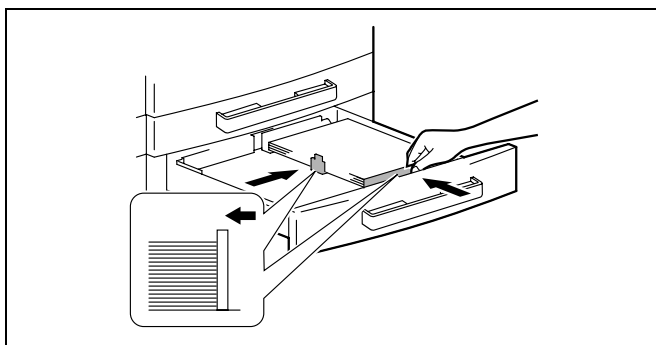


必ず守ってください

用紙は▼マークをこえないように、ツメの下にセットしてください。

4

用紙のサイズに合わせ、ガイド板を調整します。

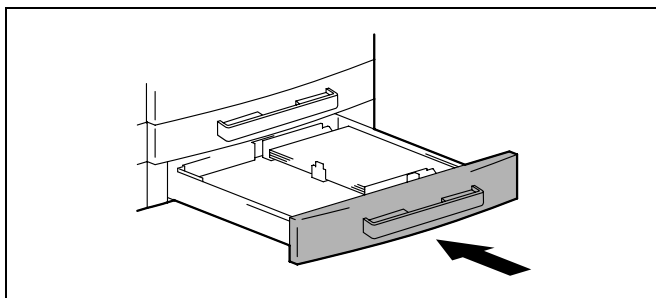


必ず守ってください

ガイド板は、必ず用紙の端面にあわせてください。

5

トレイをもとに戻します。



3

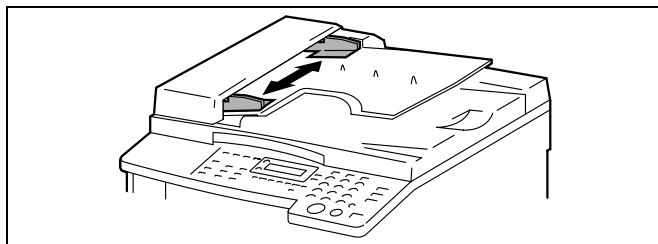
### 3.3 原稿のセットのしかた

原稿のセットのしかたには、原稿送り装置（オプション）にセットする方法と、原稿ガラス上にセットする方法があります。原稿の種類にあわせて最適な方法で原稿をセットしてください。

#### ■ 原稿送り装置に原稿をセットする

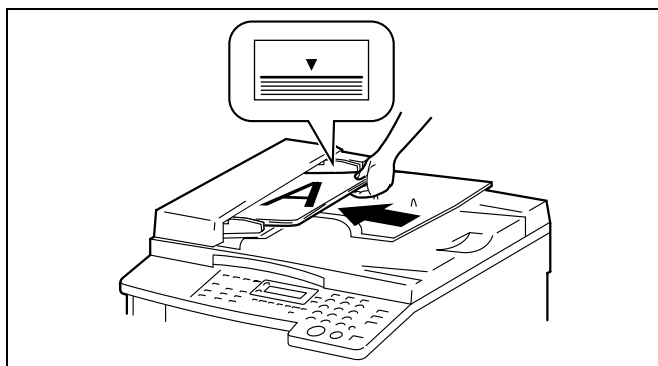
1

原稿セットガイドを開きます。



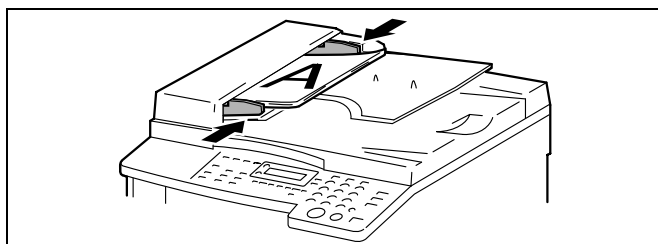
2

原稿のコピーする面を上に向けてセットします。



3

原稿セットガイドを原稿サイズにあわせます。



必ず守ってください

- 原稿のセット枚数は最大 50 枚までです。
- 原稿は▼マークをこえないようにセットしてください。

必ず守ってください

原稿を正しくセットしないと、原稿が斜め送りされる原因になります。

## ■ 原稿ガラス上に原稿をセットする

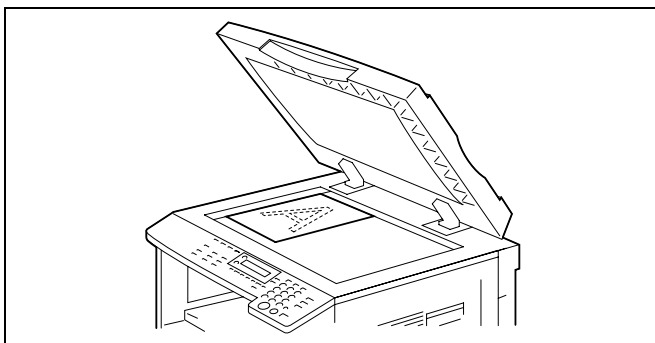
普通紙や原稿送り装置に適さない原稿をセットする場合は、以下の手順でセットしてください。

1

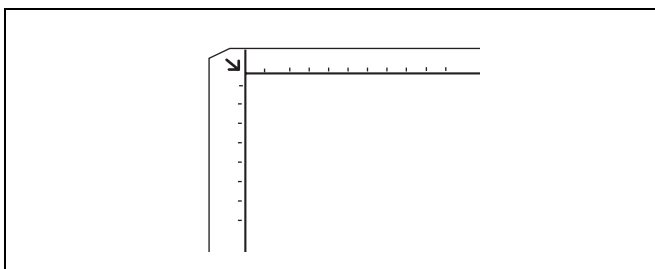
原稿送り装置、または原稿カバーを開きます。

2

原稿のコピーする面を下に向けてセットします。



○ 原稿は原稿ガラス左側と上側にある原稿スケールにあわせます。



3

原稿送り装置、または原稿カバーを静かに閉じます。

3

#### ■ 透明度の高い原稿をセットする

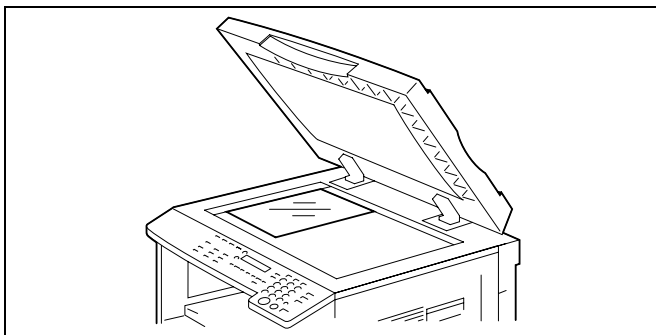
OHP フィルム、トレーシングペーパー、第2原図などの透明度の高い原稿をセットする場合は、以下の手順でセットしてください。

1

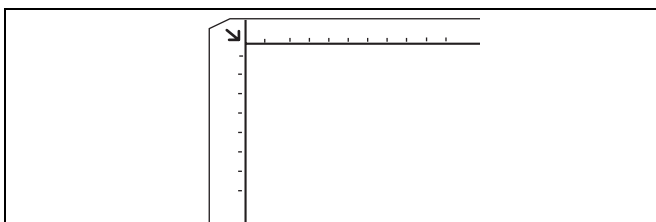
原稿送り装置、または原稿カバーを開きます。

2

原稿のコピーする面を下に向けてセットします。

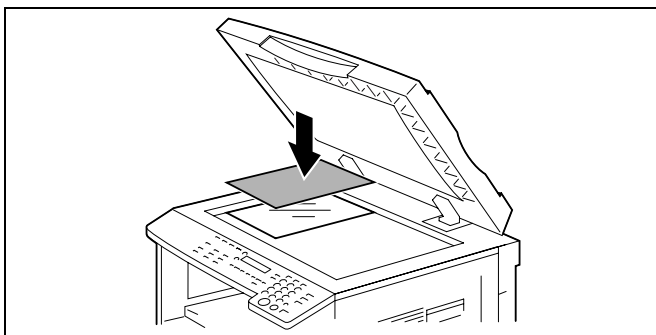


○ 原稿は原稿ガラス左側と上側にある原稿スケールにあわせます。



3

原稿と同じサイズの白紙を原稿の上に重ねます。



4

原稿送り装置、または原稿カバーを静かに閉じます。



## ■ ブック原稿をセットする

本や雑誌など、綴じてある見開き原稿をセットする場合は、以下の手順でセットしてください。

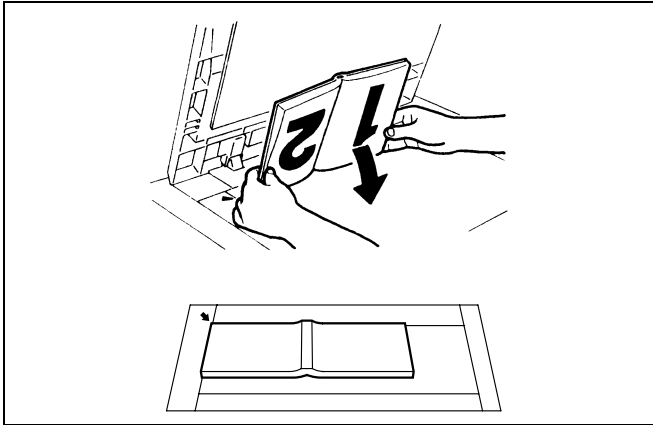
1


原稿送り装置、または原稿カバーを開きます。

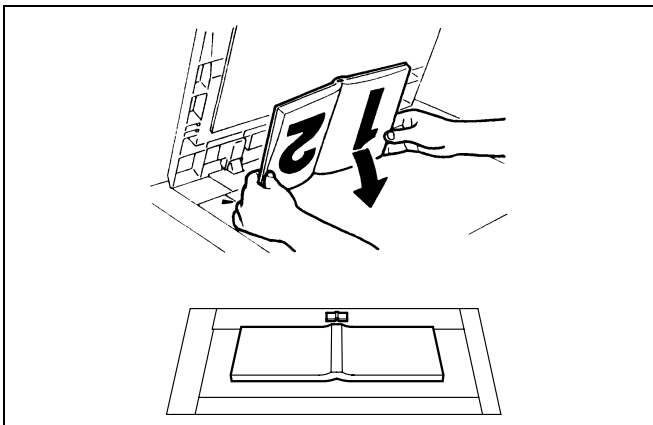
2

ブック原稿を原稿ガラスにセットします。

- 見開きコピーの場合、原稿スケール左奥側の、(矢印) マークにあわせます。



- ブック分割コピーの場合、原稿の天部（上側）を奥側にし、ブック原稿の中央を奥側にある原稿スケールの  マークにあわせます。



3

原稿送り装置、または原稿カバーを静かに閉じます。



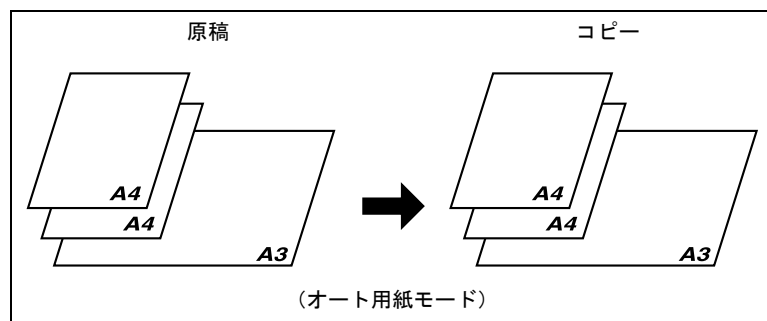
必ず守ってください

原稿ガラスの上には3 kg を超えるような重い原稿は載せないでください。また、ブック原稿などをセットする場合、強い力で上から押さえつけないようにしてください。故障の原因となります。

3

#### ■ サイズが異なる原稿をセットする（混載原稿）

混載原稿とは、原稿送り装置にサイズの異なる原稿を一度にセットしてコピーをとる機能です。



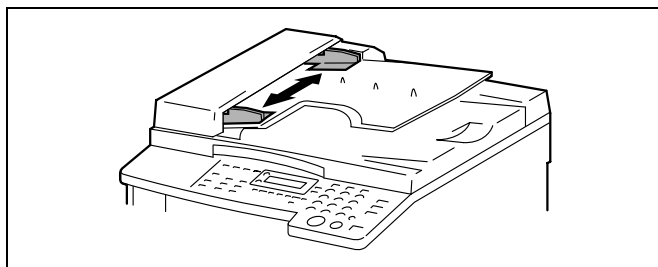
#### 詳しく説明します

原稿の幅が同じ場合のみ混載原稿コピーができます。原稿の組み合わせは以下のとおりです。

A3 □ と A4 □、B4 □ と B5 □

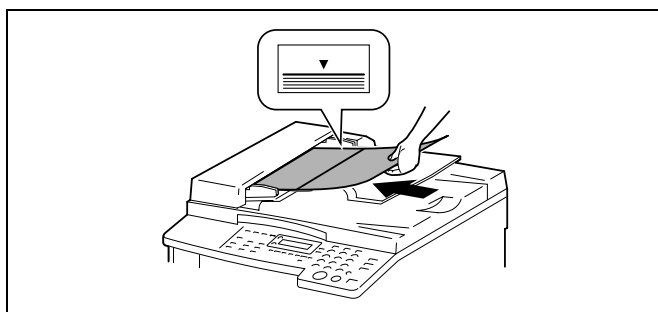
1

原稿セットガイドを開きます。



2

原稿のコピーする面を上に向けてセットします。

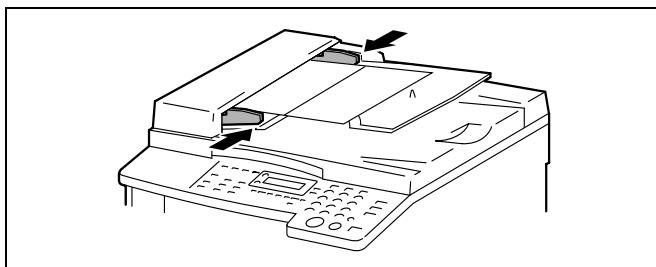


#### 必ず守ってください

- 原稿のセット枚数は最大 50 枚までです。
- 原稿は▼マークをこえないようにセットしてください。

3

原稿セットガイドを原稿サイズにあわせます。



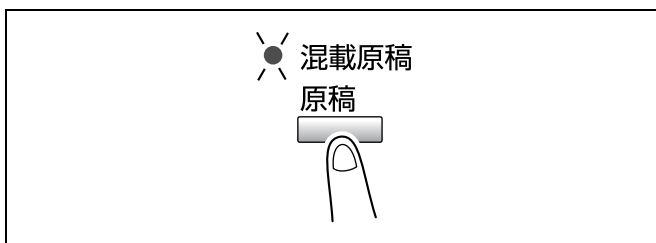
**必ず守ってください**

原稿を正しくセットしないと原稿が斜め送りされる原因となります。

4

【原稿】を押します。

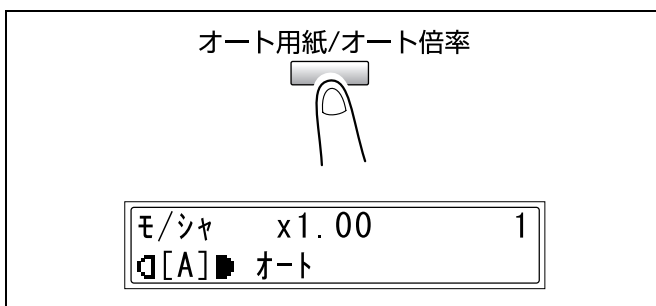
混載原稿ランプが点灯します。



5

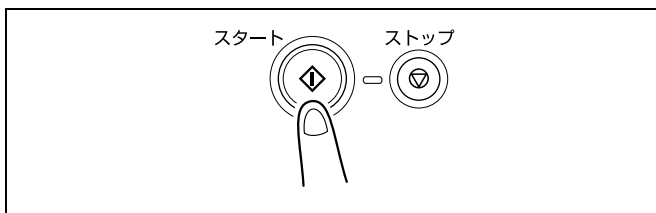
【オート用紙／オート倍率】を押し、オート用紙を選択します。

○ ディスプレイ下行に「オート」が表示されていることを確認します。



6

【スタート】を押します。



### 3.4 コピーの停止／再開／消去について

コピー中のジョブは、以下の手順で中断できます。

1

コピーの設定をし【スタート】を押します。

コピーが開始されます。

2

コピー中に【ストップ】を押します。

「\*シバラク オマチクタサイ! \*」と表示され、ジョブが停止します。

\*シバラク オマチクタサイ! \*

- 停止中のジョブを再開する場合は、  
「スタートキー デ サイカイ デ キマス」が表示されているときに【スタート】を押します。

スタートキー デ サイカイ デ キマス

- 停止中のジョブを消去する場合は、  
「スタートキー デ サイカイ デ キマス」が表示されているときに【No】を押します。「\*コピーヲ キャンセル シマシタ\*」と表示され、ジョブが消去されます。

\*コピーヲ キャンセル シマシタ\*

## 3.5 確認モードについて

本機を設置した時点からの累積プリント枚数を、【確認】を押して表示できます。

＜マシンカウンタで確認できる項目＞

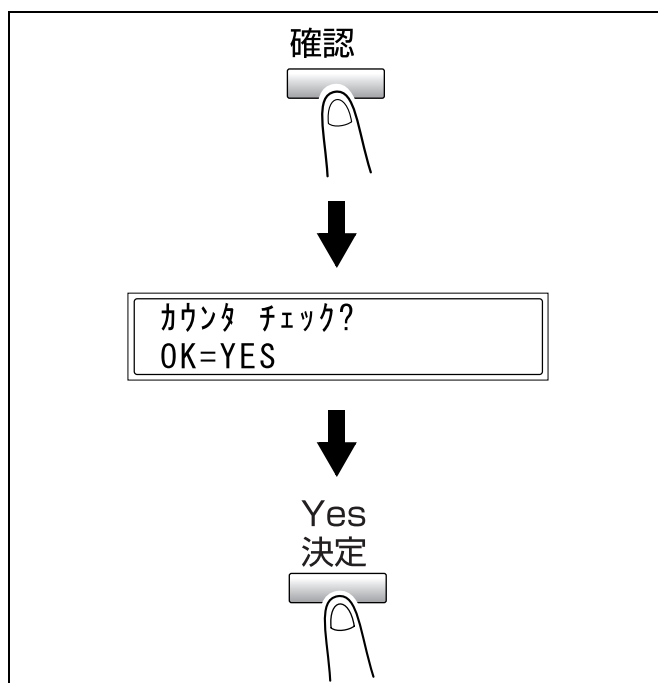
マシンカウンタ	内容
トータルカウンタ	本機の設置時からの総プリント枚数を表示します。
トータルサイズカウンタ	サイズカウンタとして設定された用紙サイズの総コピー／プリント枚数を表示します。(どの用紙サイズをカウントするかはサービス実施店で設定します。)

### ■ マシンカウンタを確認する

1

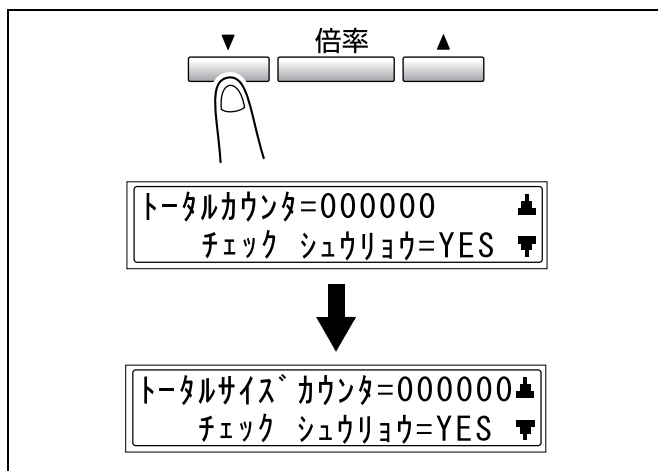
【確認】を押し、【Yes】を押します。

マシンカウンタのメニューを表示します。



2

【▼】、【▲】で各トータルカウント値を確認します。



▼ 倍率 ▲

トータルカウント=000000 ▲  
チェック シュウリョウ=YES ▼

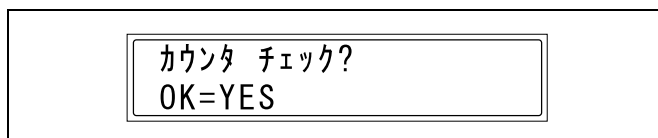
↓

トータルサイズ カウント=000000 ▲  
チェック シュウリョウ=YES ▼

3

【Yes】を押します。

「カウンタ チェック?」が表示されます。



カウンタ チェック?  
OK=YES

4

【No】を押します。

基本画面が表示されます。

## 3.6 電気を節約するには


省エネルギーのために電気を節約したいときは、「低電力（スリープ）モード」や「オートパワーオフモード」を使うと便利です。


ここでは自動的に低電力（スリープ）モード、オートパワーオフに切り替える方法を説明します。

1

【ユーティリティ】を押します。

本体設定メニューが表示されます。

ホンタイ セッテイ? 

OK=YES / マタハ 1-8 

2

テンキーの【2】を押します。

「スリープ モード」が表示されます。

2 スリープ モード

3

テンキーで、機能が有効になるまでの時間を入力し、【Yes】を押します。

タイマー= 15min(1-240)

OK=YES

4

テンキーの【3】を押します。

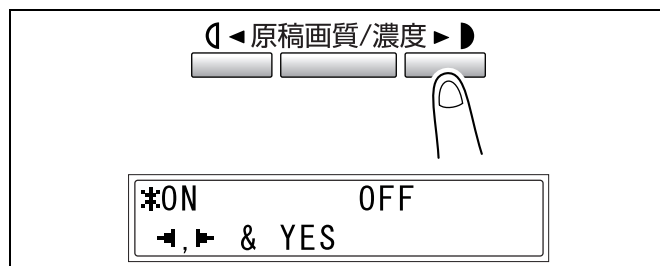
「オートパワーオフ」が表示されます。

3 オート パワー オフ

 詳しく説明します

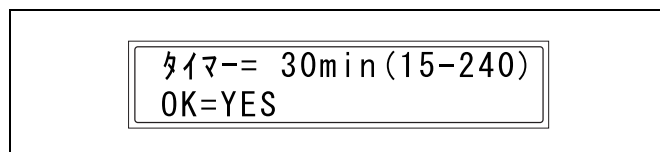
- タイマー設定は、1分～240分の間で設定できます。
- 数値を訂正したい場合は、【No】を押して入力しなおします。

- 管理者保守メニューで、オートパワーオフしない設定の「キカ」を選択しているときは、下の画面が表示されます。  
【◀▶】、【▶▶】で「ON」を選択し、【YES】を押してください。



5

テンキーで、機能が有効になるまでの時間を入力し、【Yes】を押します。



6

【No】を押します。

基本画面が表示されます。

詳しく説明します

- タイマー設定は、15分～240分の間で設定できます。
- 数値を訂正したい場合は、【No】を押して入力をお願いします。



# 第4章

## コピーのとりかた

---

拡大、縮小コピーや、OHP フィルムなどの特殊紙を使用したコピーのしかたについて説明します。

- 4.1 【倍率】をつかう ..... 4-2
- 4.2 【原稿画質／濃度】をつかう ..... 4-4
- 4.3 いろいろな用紙にコピーする ..... 4-6

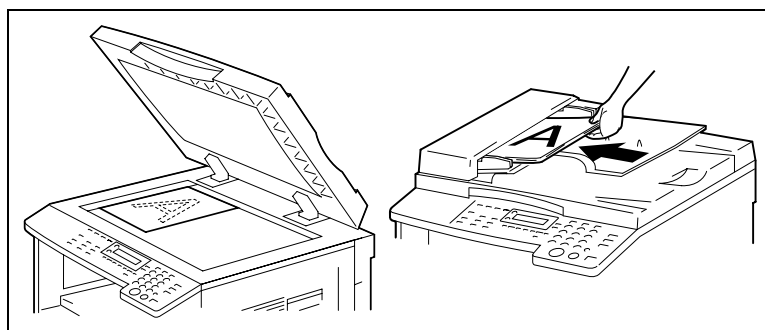
## 4.1 【倍率】をつかう

### ■ 定形サイズ of 原稿を異なる定形サイズに縮小／拡大する

ここでは A4 サイズ of 原稿を B4 サイズに拡大してコピーする例を説明します。

1

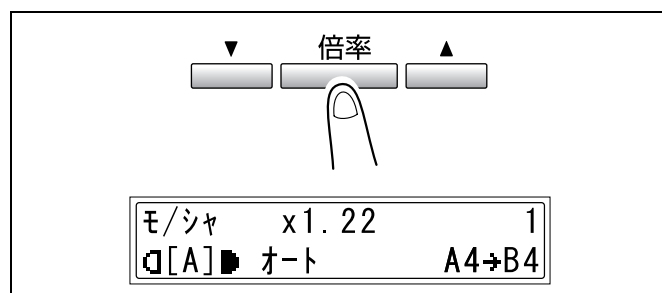
原稿をセットします。



2

【倍率】を押します。

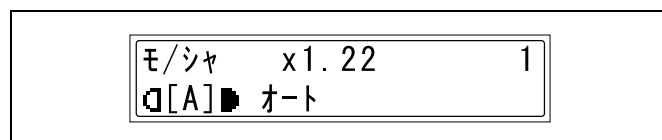
ディスプレイに「A4 → B4」と表示されます。



3

コピーする用紙を確認します。

- 「オート」と表示されているときは、トレイに B4 の用紙がセットされていることを確認します。
- 「オート」と表示されないときは、【サイズ】を押して「オート」を表示してください。



「原稿のセットのしかた」  
(p. 3-8) をご覧ください。

#### ひとこと

【倍率】を押すたびに、表示される固定倍率が切り替わります。



給紙トレイ of 用紙サイズ設定を変更するときは p. 7-12 をご覧ください。

4

必要に応じてその他の項目を設定します。

5

【スタート】を押します。



- 「コピーをとるまえに」(p. 5-1) をご覧ください。
- 「一歩進んだコピーのとりかた」(p. 6-1) をご覧ください。

4

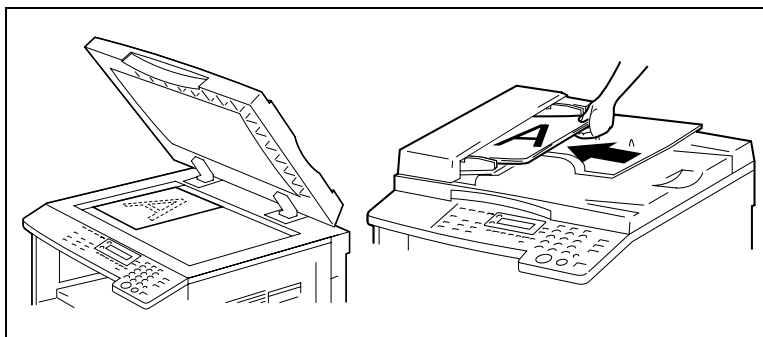
## 4.2 【原稿画質／濃度】をつかう

### ■ 図面や写真を鮮明にコピーする

コピーする原稿にあわせて、「モジ」、「シャシ」、「モ/シャ」を指定すると、原稿を鮮明にコピーできます。

1

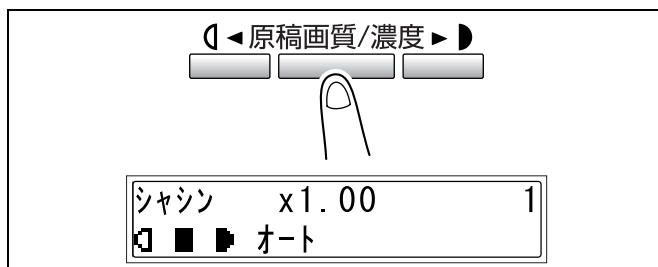
原稿をセットします。



2

【原稿画質／濃度】を押します。

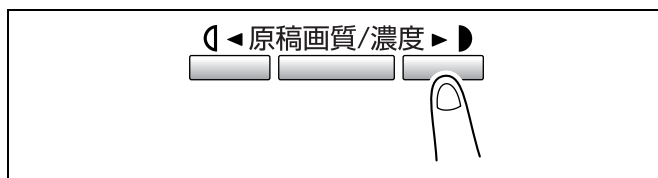
○ 「シャシ」、または「モ/シャ」を選択します。



3

【◀】、【▶】を押し、濃度を調整します。

○ 原稿の文字、用紙の色や濃さにあわせて調整してください。

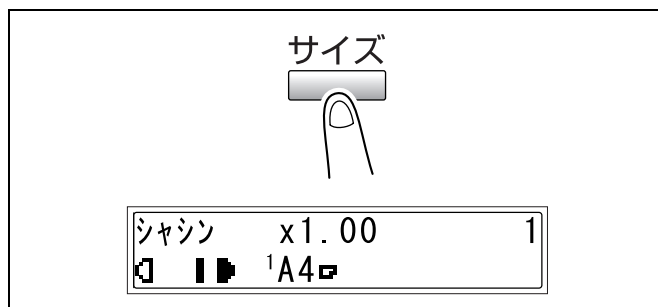


「原稿のセットのしかた」  
(p. 3-8) をご覧ください。

4

コピーする用紙を確認します。

- 「オート」または、給紙トレイを指定するときは  
【サイズ】を繰り返し押します。



5

必要に応じてその他の項目を設定します。

6

【スタート】を押します。



- 「コピーをとるまえに」  
(p. 5-1) をご覧ください。
- 「一歩進んだコピーのとりかた」  
(p. 6-1) をご覧ください。

4

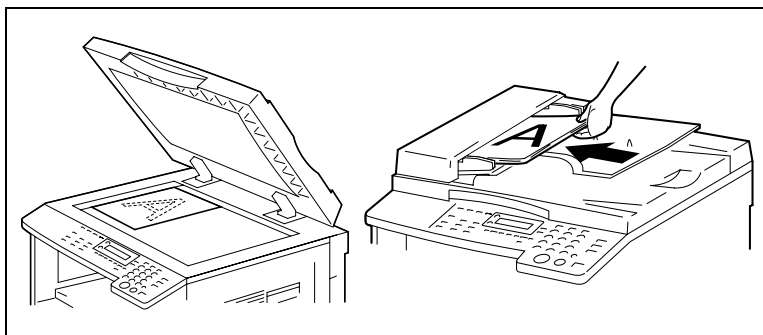
## 4.3 いろいろな用紙にコピーする

### ■ OHP フィルムにコピーする

ここでは第1トレイに OHP フィルムをセットしてコピーする例を説明します。

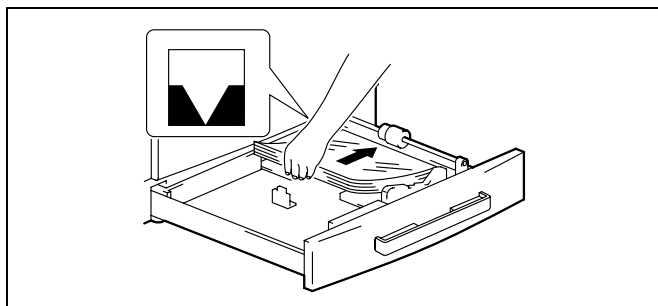
1

A4 サイズの原稿をセットします。



2

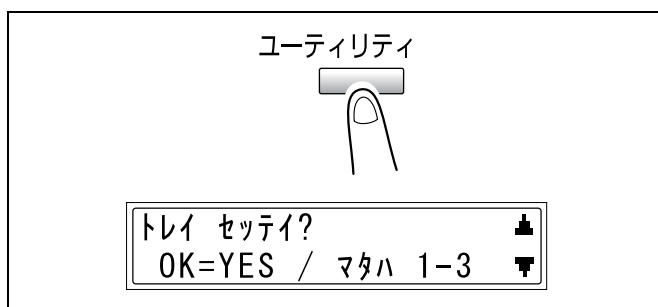
第1トレイのガイドを調整し、OHP フィルムをセットします。



3

【ユーティリティ】を2回押します。

「トレイ セッテイ?」が表示されます。



「原稿のセットのしかた」  
(p. 3-8) をご覧ください。



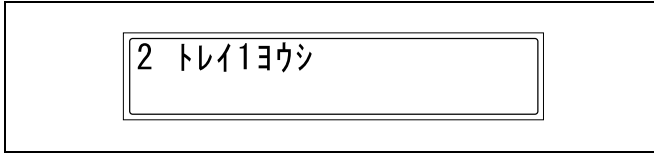
OHP フィルムをセットする  
ときは、原稿にあわせ □  
(タテ) 向き、または □ (ヨ  
コ) 向きにセットします。



OHP フィルムは 20 枚まで  
セットできます。

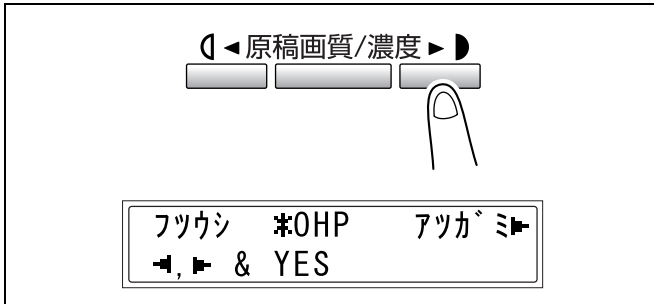
4

テンキーで【2】を押します。  
「トレイ1ヨウシ」が表示されます。



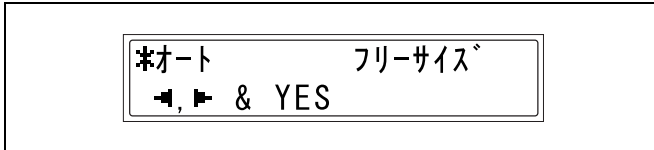
5

【◀▶】、【▶▶】で「OHP」を選択し、【Yes】を押します。



6

【◀▶】、【▶▶】で、「オート」を選択し、【Yes】を押します。

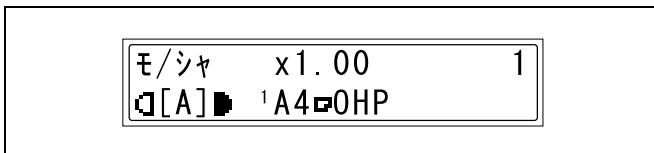


7

【No】を押します。  
基本画面が表示されます。

8

【サイズ】を押し、第1トレイを選択します。



9

必要に応じてその他の項目を設定します。

10

【スタート】を押します。

#### 参照

- 「コピーをとるまえに」(p. 5-1)をご覧ください。
- 「一歩進んだコピーのとりかた」(p. 6-1)をご覧ください。

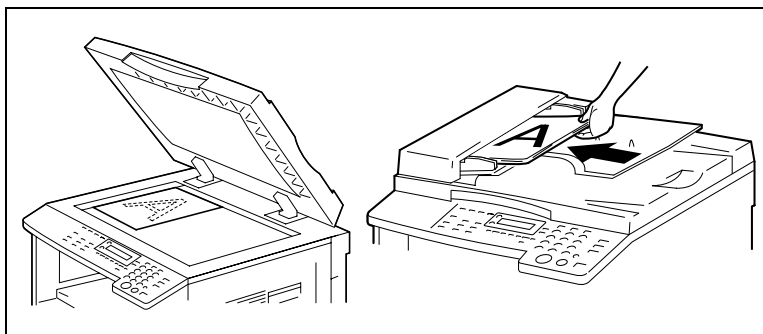
4

## ■ ラベル用紙にコピーする

ここでは第1トレイに200 mm×250 mmのラベル用紙をセットしてコピーする例を説明します。

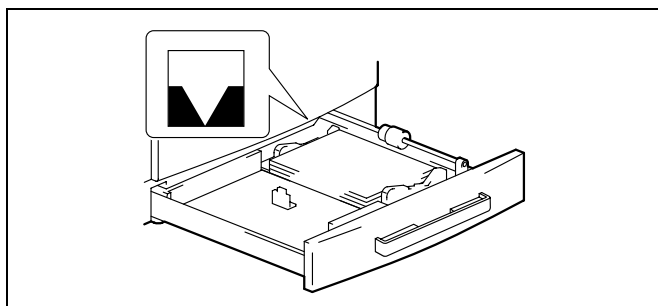
1

原稿をセットします。



2

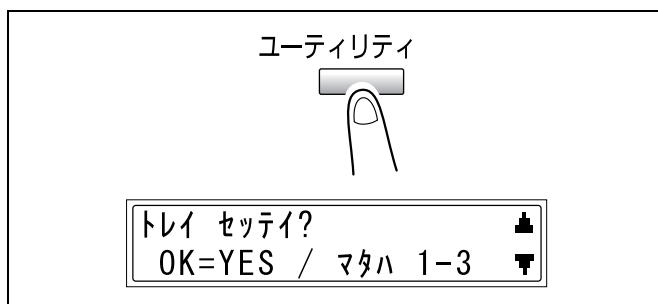
第1トレイのガイドを調整し、ラベル用紙をセットします。



3

【ユーティリティ】を2回押します。

「トレイ セッティ?」が表示されます。



「原稿のセットのしかた」  
(p. 3-8) をご覧ください。



必ず守ってください

ラベル用紙をセットするときは、図のようにコピーする面を上に向けてセットしてください。



4

テンキーで【2】を押します。  
「トレイ1ヨウシ」が表示されます。

2 トレイ1ヨウシ

5

【◀▶】、【▶▶】で「アツガミ」を選択し、【Yes】を押します。

◀ 原稿画質/濃度 ▶▶

フツウシ    OHP    \*アツガミ▶

◀, ▶ & YES

6

「フリーサイズ」を選択し、【Yes】を押します。

オート            \*フリーサイズ

◀, ▶ & YES

7

テンキーで長さ（ヨコ）を「200」と入力し、【Yes】を押します。

ヨコ=200 (140-432)    ヨコ

OK=YES            タテ▶▶

8

テンキーで幅（タテ）を「250」と入力し、【Yes】を押します。

タテ=250 ( 90-297)    ヨコ

OK=YES            タテ▶▶

#### 詳しく説明します

- 用紙の長さ（ヨコ）は 140 mm から 432 mm の範囲で設定します。
- 入力した値を訂正するときは、【No】を押してください。

#### 詳しく説明します

- 用紙の幅（タテ）は 90 mm から 297 mm の範囲で設定します。
- 入力した値を訂正するときは、【No】を押してください。

4

9

【No】を押します。

基本画面が表示されます。

10

【サイズ】を押し、第1トレイを選択します。

モ/シャ	x1.00
□[A]■	1 [□]アツガミ

11

必要に応じてその他の項目を設定します。

12

【スタート】を押します。



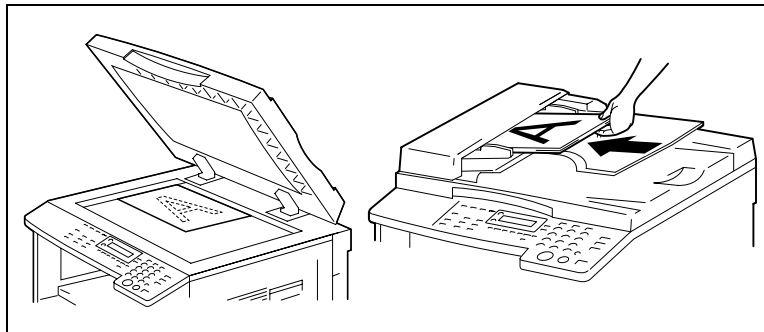
- 「コピーをとるまえに」(p. 5-1) をご覧ください。
- 「一歩進んだコピーのとりかた」(p. 6-1) をご覧ください。

## ■ 不定形サイズ用の紙にコピーする

ここではシングル手差しトレイまたはマルチ手差しトレイに250 mm × 180 mm の不定形サイズの用紙をセットしてコピーする例を説明します。

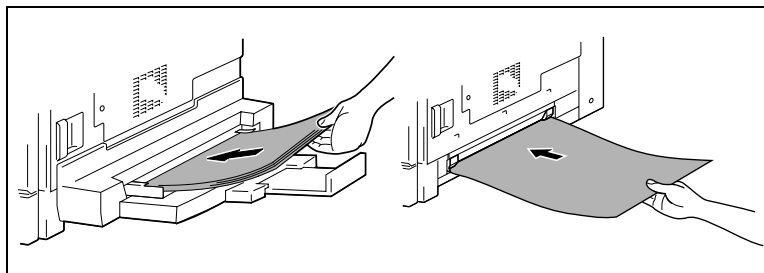
1

原稿をセットします。



2

手差しトレイのガイドを調整し、用紙をセットします。



3

【No】を押します。

マルチ手差しトレイ			
¥/シヤ	x1.00	1	
□[A]	■A4□?	YES/NO	
シングル手差しトレイ			
¥/シヤ	x1.00	1	
□[A]	■A4□?	ヘソコウ=NO	

用紙種類選択メニューが表示されます。

### ひとこと

定形サイズ以外の原稿や用紙をセットするときは、あらかじめサイズを測っておいてください。原稿ガラスのスケールを利用すると便利です。



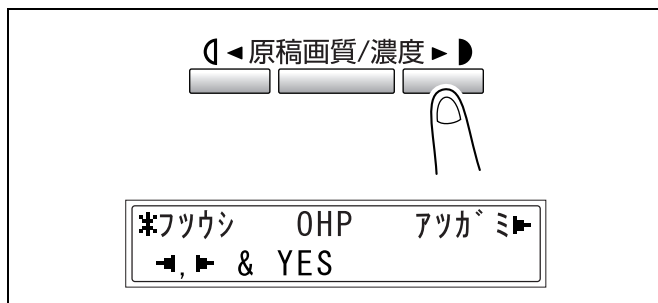
「原稿のセットのしかた」(p. 3-8) をご覧ください。

### 必ず守ってください

- コピーする面を下に向けて用紙をセットしてください。
- シングル手差しトレイにセットできる用紙は1枚です。
- マルチ手差しトレイにセットできる用紙は100枚までです。  
▼マークをこえないようにセットしてください。

4

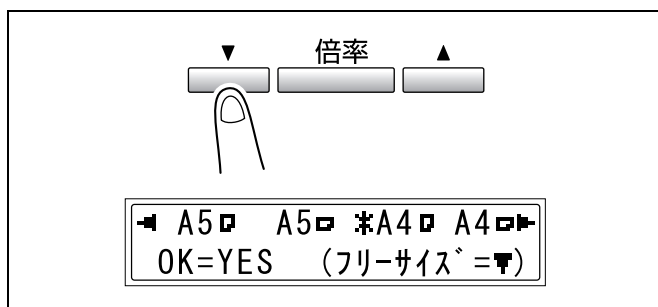
【◀▶】、【▶▶】で「フツシ」を選択し、【Yes】を押します。



用紙サイズ選択メニューが表示されます。

5

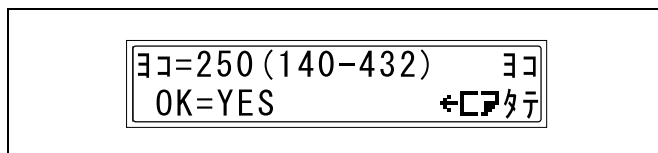
【▼】を押します。



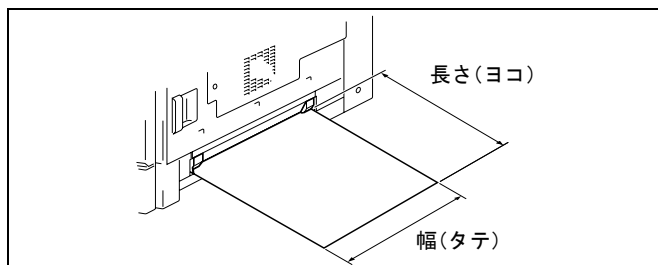
長さ（ヨコ）の数値が表示されます。

6

テンキーで長さ（ヨコ）を「250」と入力し、【Yes】を押します。



○ 用紙の幅および長さは、下図を参照し、間違えないように入力してください。



詳しく説明します

- 用紙の長さ（ヨコ）は 140 mm から 432 mm の範囲で入力します。
- 入力した値を訂正するときは【No】を押してください。

7

テンキーで幅（タテ）を「180」と入力します。

タテ=180 ( 90-297)    ヨコ  
OK=YES                    ← [A] タテ

8

【Yes】を押します。

基本画面が表示されます。

マルチ手差しトレイ

¥/シャ    x1.00    1  
[A]    ← [B]

シングル手差しトレイ

¥/シャ    x1.00    1  
[A]    ← [B] ?    ヘンコウ=NO

9

必要に応じてその他の項目を設定します。

10

【スタート】を押します。

#### 詳しく説明します

- 用紙の幅（タテ）は 90 mm から 297 mm の範囲で入力します。
- 入力した値を訂正するときは、【No】を押してください。

#### 参照

- 「コピーをとるまえに」（p. 5-1）をご覧ください。
- 「一歩進んだコピーのとりかた」（p. 6-1）をご覧ください。

#### ひとこと

シングル手差しトレイで続けてコピーをとるときは、新しい用紙をシングル手差しトレイにセットします。

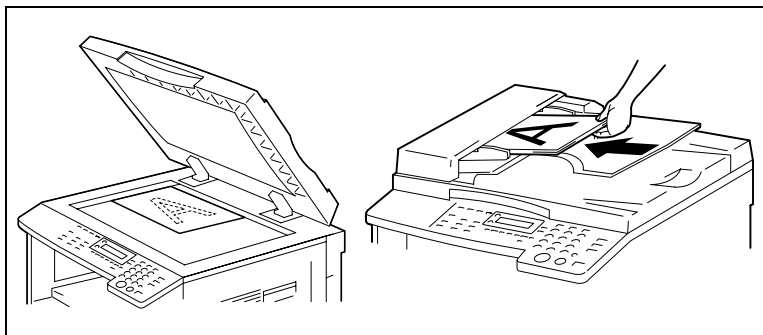
4

## ■ 封筒にコピーする

ここではシングル手差しトレイまたはマルチ手差しトレイに200 mm × 150 mm の封筒をセットしてコピーする例を説明します。

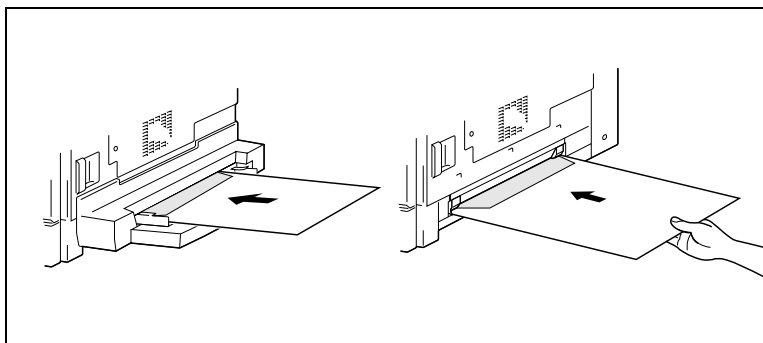
1

原稿をセットします。



2

手差しトレイのガイドを調整し、封筒をセットします。



3

【No】を押します。

マルチ手差しトレイ			
¥/シャ	x1.00		1
□[A]	■	→A4□?	YES/NO
シングル手差しトレイ			
¥/シャ	x1.00		1
□[A]	■	→A4□?	ハンコウ=NO

用紙種類選択メニューが表示されます。

### ひとこと

定形サイズ以外の原稿や用紙をセットするときは、あらかじめサイズを測っておいてください。  
原稿ガラスのスケールを利用すると便利です。



「原稿のセットのしかた」(p. 3-8) をご覧ください。

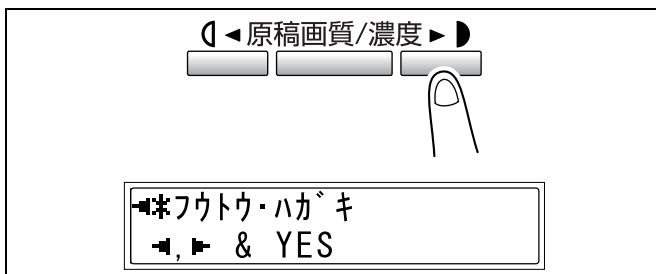


必ず守ってください

- 封筒をセットするときは、コピーする面が下向きになるよう図のように封印部を上に向けてセットします。
- 封筒をセットするときは、封筒内部の空気を押し出し、封筒の折り目をしっかり押さえてください。
- シングル手差しトレイにセットできる封筒は1枚です。
- マルチ手差しトレイにセットできる封筒は10枚までです。  
▼マークをこえないようにセットしてください。

4

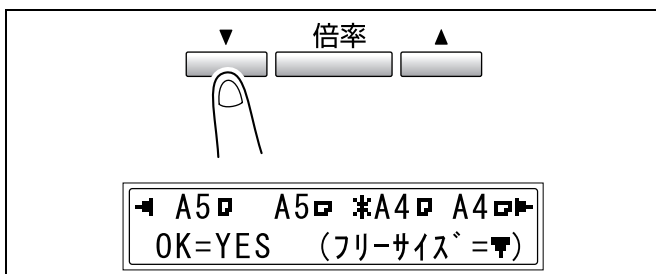
【◀▶】、【▶▶】で「フウトウ・ハガキ」を選択し、【Yes】を押します。



用紙サイズ選択メニューが表示されます。

5

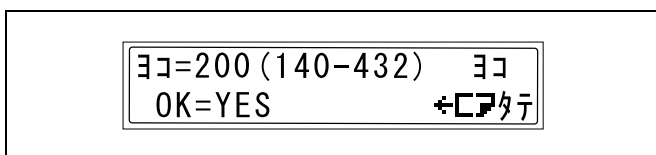
【▼】を押します。



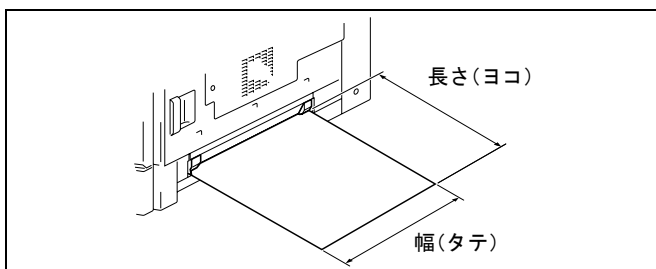
長さ（ヨコ）の数値が表示されます。

6

テンキーで長さ（ヨコ）を「200」と入力し、【Yes】を押します。



○ 用紙の幅および長さは、下図を参照し、間違えないように入力してください。



#### 詳しく説明します

- 用紙の長さ（ヨコ）は 140 mm から 432 mm の範囲で入力します。
- 入力した値を訂正するときは【No】を押してください。

7

テンキーで幅（タテ）を「150」と入力します。

タテ=150 ( 90-297) ヨコ  
OK=YES 左[タテ]

8

【Yes】を押します。

基本画面が表示されます。

マルチ手差しトレイ

モ/シャ x1.00 1  
[A] [B] フウトウ

シングル手差しトレイ

モ/シャ x1.00 1  
[A] [B] フ? ヘソコウ=NO

9

必要に応じてその他の項目を設定します。

10

【スタート】を押します。

#### 詳しく説明します

- 用紙の幅（タテ）は 90 mm から 297 mm の範囲で入力します。
- 入力した値を訂正するときは、【No】を押してください。

#### 参照

- 「コピーをとるまえに」（p. 5-1）をご覧ください。
- 「一歩進んだコピーのとりかた」（p. 6-1）をご覧ください。

#### ひとこと

シングル手差しトレイで続けてコピーをとるときは、新しい用紙をシングル手差しトレイにセットします。

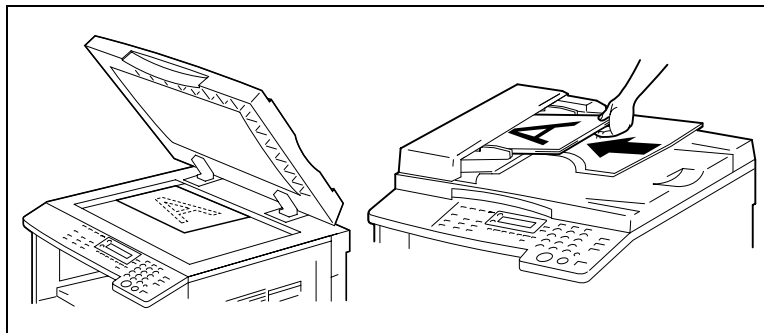


## ■ 官製はがきにコピーする

ここではシングル手差しトレイまたはマルチ手差しトレイに148 mm × 100 mm の官製はがきをセットしてコピーする例を説明します。

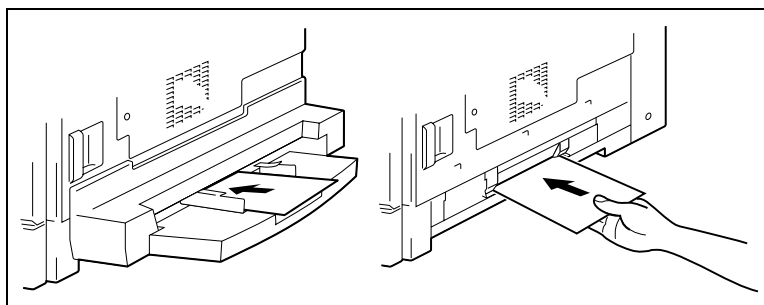
1

原稿をセットします。



2

手差しトレイのガイドを調整し、官製はがきをセットします。



3

【No】を押します。

マルチ手差しトレイ			
¥/シャ	x1.00	1	
□[A]	■ ±A4□?	YES/NO	
シングル手差しトレイ			
¥/シャ	x1.00	1	
□[A]	■ ±A4□?	ヘソコウ=NO	

用紙種類選択メニューが表示されます。



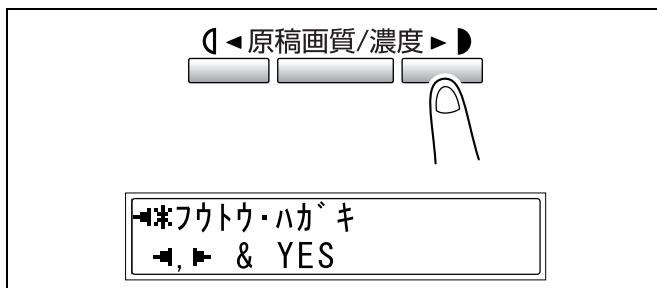
「原稿のセットのしかた」  
(p. 3-8) をご覧ください。



- ・官製はがきをセットするときは、図のように (タテ) 向きにセットします。
- ・印刷する面を下に向けてセットしてください。
- ・シングル手差しトレイにセットできる官製はがきは1枚です。
- ・マルチ手差しトレイにセットできる官製はがきは20枚までです。
- ▼マークをこえないようにセットしてください。

4

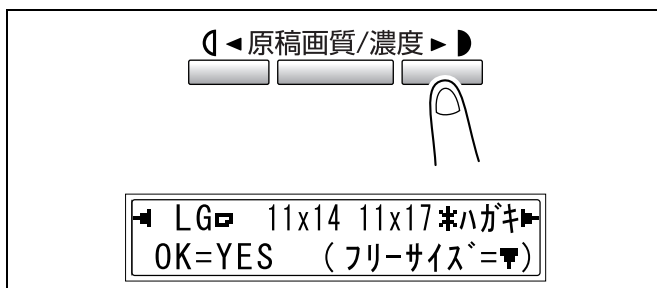
【◀▶】、【▶▶】で「フウトウ・ハガキ」を選択し、【Yes】を押します。



用紙サイズ選択メニューが表示されます。

5

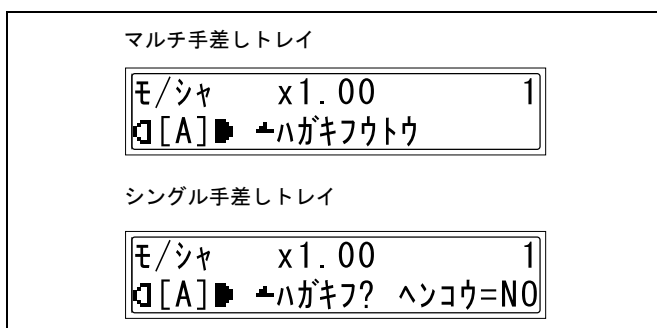
【◀▶】、【▶▶】で「ハガキ」を選択します。



6

【Yes】を押します。

基本画面が表示されます。



7

必要に応じてその他の項目を設定します。



- 「コピーをとるまえに」(p. 5-1) をご覧ください。
- 「一歩進んだコピーのとりかた」(p. 6-1) をご覧ください。

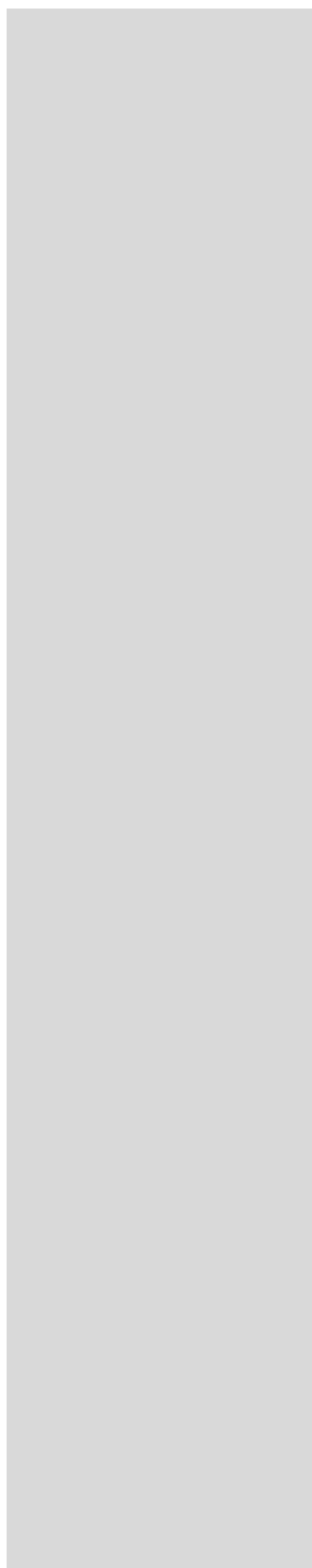
8

【スタート】を押します。

#### ひとこと

シングル手差しトレイで続けてコピーをとるときは、新しい用紙をシングル手差しトレイにセットします。

4



# 第5章

## コピーをとるまえに

---

コピーをとる前に知っておくと便利なことについて説明します。

5.1 用紙について .....	5-2
5.2 画像コピー／プリント領域 .....	5-6
5.3 用紙の保管 .....	5-7
5.4 手差しでコピーする .....	5-8
5.5 用紙の選択のしかた .....	5-21
5.6 原稿について .....	5-25
5.7 倍率を指定してコピーする .....	5-27
5.8 コピー濃度を変更してコピーする .....	5-33
5.9 割り込んでコピーする .....	5-36

## 5.1 用紙について

以下の表に示す条件を満たす用紙を使用してください。

### ■ 用紙種類

用紙種類 坪量 (g/m <sup>2</sup> )	普通紙	厚紙	再生紙
給紙口／その他	60 ~ 90 g/m <sup>2</sup>	91 ~ 157 g/m <sup>2</sup>	60 ~ 90 g/m <sup>2</sup>
シングル手差しトレイ	○	○	○
マルチ手差しトレイ	○	○	○
第1トレイ	○	○	○
第2トレイ	○	—	○
第3トレイ	○	—	○
第4トレイ	○	—	○
第5トレイ	○	—	○

用紙種類 給紙口／その他	特殊紙			
	官製 はがき	OHP フィルム	ラベル 用紙	封筒
シングル手差しトレイ	○	○	○	○
マルチ手差しトレイ	○	○	○	○
第1トレイ	○	○	○	○
第2トレイ	—	—	—	—
第3トレイ	—	—	—	—
第4トレイ	—	—	—	—
第5トレイ	—	—	—	—

○：セット可

—：セット不可

### ひとこと

第2/第3/第4/第5トレイ、マルチ手差しトレイはオプションです。

## ■ 用紙サイズ

### 不定形紙

給紙口	用紙幅	用紙長
シングル手差しトレイ	90 mm ~ 297 mm	140 mm ~ 432 mm
マルチ手差しトレイ	90 mm ~ 297 mm	140 mm ~ 432 mm
第 1 トレイ	90 mm ~ 297 mm	140 mm ~ 432 mm
第 2 トレイ	182 mm ~ 297 mm	140 mm ~ 432 mm
第 3 トレイ	182 mm ~ 297 mm	140 mm ~ 432 mm
第 4 トレイ	182 mm ~ 297 mm	140 mm ~ 432 mm
第 5 トレイ	182 mm ~ 297 mm	140 mm ~ 432 mm

### 定形紙

用紙サイズ 給紙口／その他	A3 	B4 	A4 	A4 	B5 	B5 	A5 	A5 
シングル手差しトレイ	○	○	○	○	○	○	○	○
マルチ手差しトレイ	○	○	○	○	○	○	○	○
第 1 トレイ	○	○	○	○	○	○	○	○
第 2 トレイ	○	○	○	○	○	○	—	○
第 3 トレイ	○	○	○	○	○	○	—	○
第 4 トレイ	○	○	○	○	○	○	—	○
第 5 トレイ	○	○	○	○	○	○	—	○

○：セット可

—：セット不可

### ひとこと

第 2/ 第 3/ 第 4/ 第 5 トレイ、マルチ手差しトレイはオプションです。

## ■ 用紙セット枚数

用紙種類 坪量 (g/m <sup>2</sup> )	普通紙	厚紙	再生紙
給紙口／その他	60 ~ 90 g/m <sup>2</sup>	91 ~ 157 g/m <sup>2</sup>	60 ~ 90 g/m <sup>2</sup>
シングル手差しトレイ	1 枚	1 枚	1 枚
マルチ手差しトレイ	100 枚	20 枚	100 枚
第 1 トレイ	250 枚	20 枚	250 枚
第 2 トレイ	250 枚	—	250 枚
第 3 トレイ	250 枚	—	250 枚
第 4 トレイ	250 枚	—	250 枚
第 5 トレイ	250 枚	—	250 枚

用紙種類	特殊紙			
	官製は がき	OHP フィルム	ラベル 用紙	封筒
給紙口／その他				
シングル手差しトレイ	1 枚	1 枚	1 枚	1 枚
マルチ手差しトレイ	20 枚	20 枚	20 枚	10 枚
第 1 トレイ	20 枚	20 枚	20 枚	10 枚
第 2 トレイ	—	—	—	—
第 3 トレイ	—	—	—	—
第 4 トレイ	—	—	—	—
第 5 トレイ	—	—	—	—

— : セット不可

### ひとこと

第 2/ 第 3/ 第 4/ 第 5 トレイ、マルチ手差しトレイはオプションです。



## ■ コピー／プリントに適さない用紙

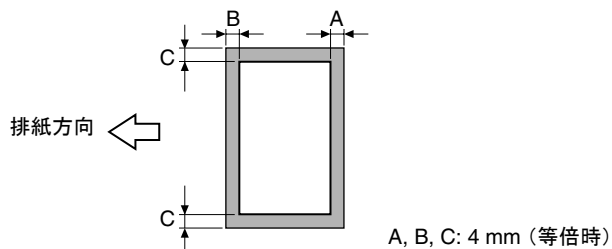
以下に示す用紙は使用しないでください。コピー／プリント品質の低下や、紙づまり、故障の原因になります。

- 一度通紙した OHP フィルム  
白紙状態で排出された OHP フィルムであっても再使用できません
- 熱転写プリンタやインクジェットプリンタでプリントされた用紙
- 厚すぎる用紙や薄すぎる用紙
- 折り目、反り、しわ、破れのある用紙
- 開封後に長期経過した用紙
- 吸湿した用紙
- バインダー用の穴があいている用紙、ミシン目のある用紙
- 表面が滑らかすぎる用紙、表面が粗すぎる用紙、表面が一樣でない用紙
- カーボン紙、感熱紙、感圧紙のような表面が加工された用紙
- 箔押し、エンボス等の加工が施されている用紙
- 形が不規則な用紙（長方形でない用紙）
- のり、ステープル、クリップなどで綴じられている用紙
- ラベルが貼ってある用紙
- リボンやフック、ボタン等の付いている用紙

## 5.2 画像コピー／プリント領域

以下に示す領域の画像はコピー／プリントされませんので注意してください。

- 用紙の後端より 4 mm（等倍時）のエリア（A）
- 用紙の先端より 4 mm（等倍時）のエリア（B）
- 用紙の端より 4 mm（等倍時）のエリア（C）



PC からプリントする場合については、「プリンタドライバユーザズガイド」をご覧ください。オプションのイメージコントローラ IC-205 を装着している場合は、「イメージコントローラ IC-205 ユーザズガイド」をご覧ください。

## 5.3 用紙の保管

---

用紙は以下の注意点を守って取り扱ってください。

- 用紙を保管するときには、次のような場所は避けてください。
  - 直射日光の当たるところ
  - 火気のあるところ
  - 湿気のあるところ
  - ほこりのあるところ
- 包みから取り出した用紙はポリ袋に入れ、必ず冷暗所で保管してください。
- 幼児や子供の手の届くところには置かないようにしてください。

## 5.4 手差しでコピーする

トレイにセットされていないサイズ用の紙にコピーする場合や、OHP フィルム、官製はがき、厚紙などの特殊紙にコピーする場合に手差しトレイを使用します。

### ■ 手差しコピーできる用紙

種類：

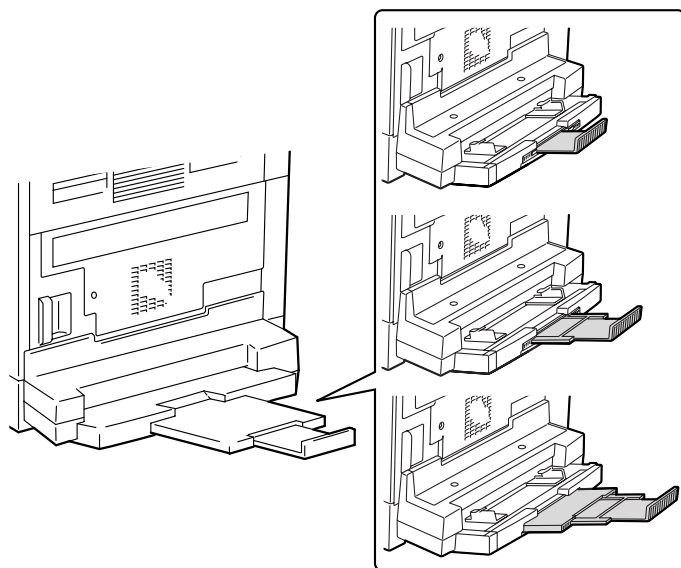
- 普通紙、再生紙（紙厚：60 g/m<sup>2</sup> ～ 90 g/m<sup>2</sup>）
- 特殊紙
  - 厚紙（紙厚：91 g/m<sup>2</sup> ～ 157 g/m<sup>2</sup>）
  - OHP フィルム
  - 官製はがき
  - ラベル用紙
  - 封筒

サイズ：

- 最大サイズ：297 mm × 432 mm
- 最小サイズ：90 mm × 140 mm

### ■ マルチ手差しトレイの調整について

用紙サイズにあわせて、補助トレイを以下のように調整できます。



シングル手差しトレイを使ってコピーをするときは、用紙を1枚ずつセットしてください。



マルチ手差しトレイ（オプション）装着時の用紙セット枚数については、p. 5-4をご覧ください。

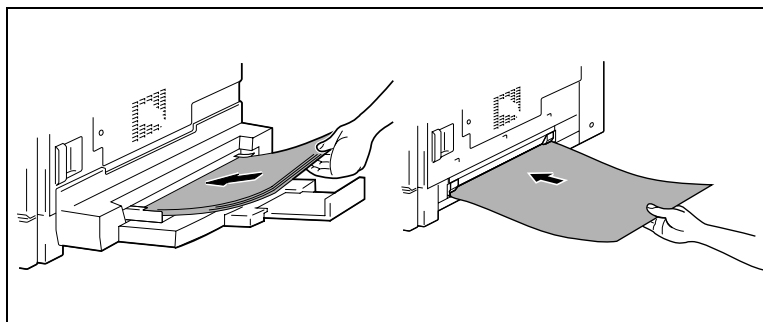
## ■ 手差しトレイに普通紙をセットする

シングル手差しトレイにセットできる用紙は 1 枚です。

マルチ手差しトレイにセットできる用紙は 100 枚までです。▼  
マークをこえないようにセットしてください。

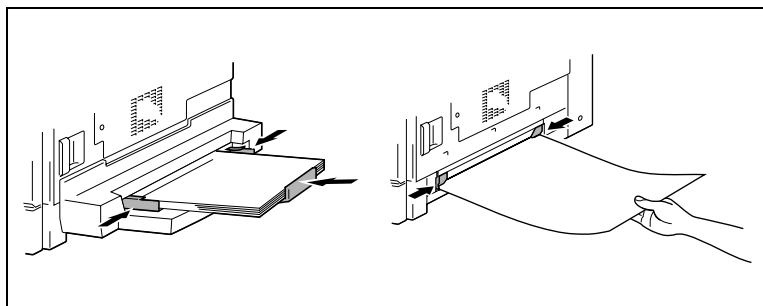
1

手差しトレイに用紙をセットします。



2

用紙サイズにあわせ、ガイドと補助トレイを調整します。



詳しく説明します

普通紙以外の用紙をセットしたときは、操作パネルで用紙種類の設定が必要です。

必ず守ってください

- コピーする面を下に向けて用紙をセットしてください。
- 必ず用紙のカール（反り）をなおしてからセットしてください。

5

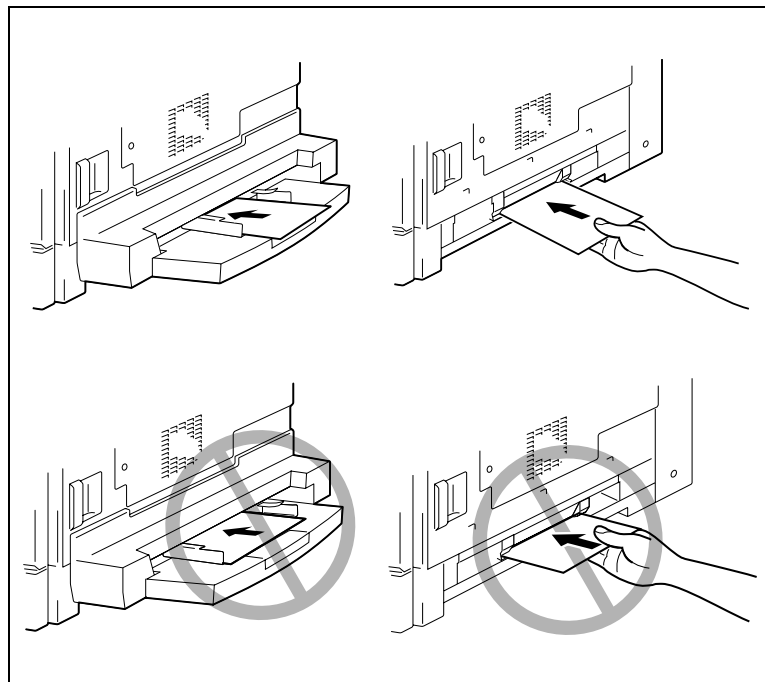
## ■ 手差しトレイに官製はがきをセットする

シングル手差しトレイにセットできる用紙は 1 枚です。

マルチ手差しトレイにセットできる用紙は 20 枚までです。

1

図のように □ (タテ) 向きにし、コピーする面を下向きにセットします。



必ず守ってください

- 官製はがきは、□ (ヨコ) 向きにセットしないでください。
- 官製はがきをセットした後は、操作パネルで用紙種類を設定してください。

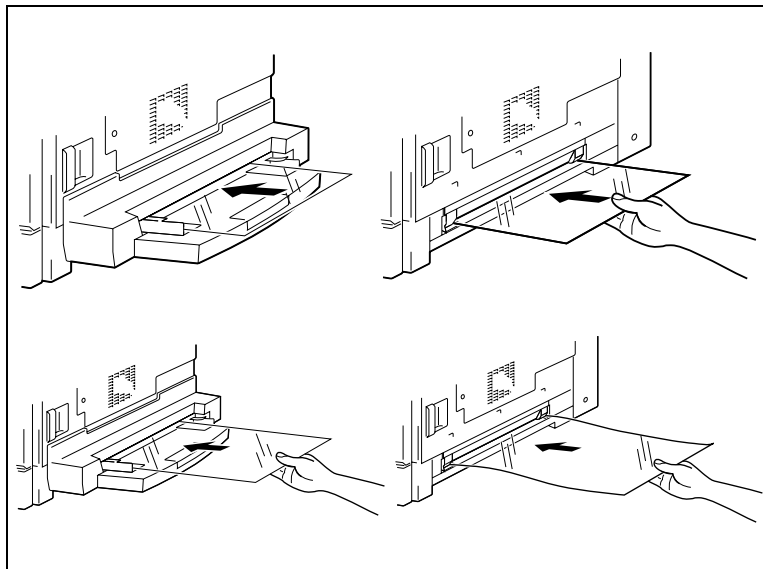
## ■ 手差しトレイに OHP フィルムをセットする

シングル手差しトレイにセットできる用紙は 1 枚です。

マルチ手差しトレイにセットできる用紙は 20 枚までです。

1

原稿にあわせ □ (タテ) 向きまたは □ (ヨコ) 向きに  
セットします。



必ず守ってください

OHP フィルムをセットした後は、操作パネルで用紙サイズや用紙種類を設定してください。

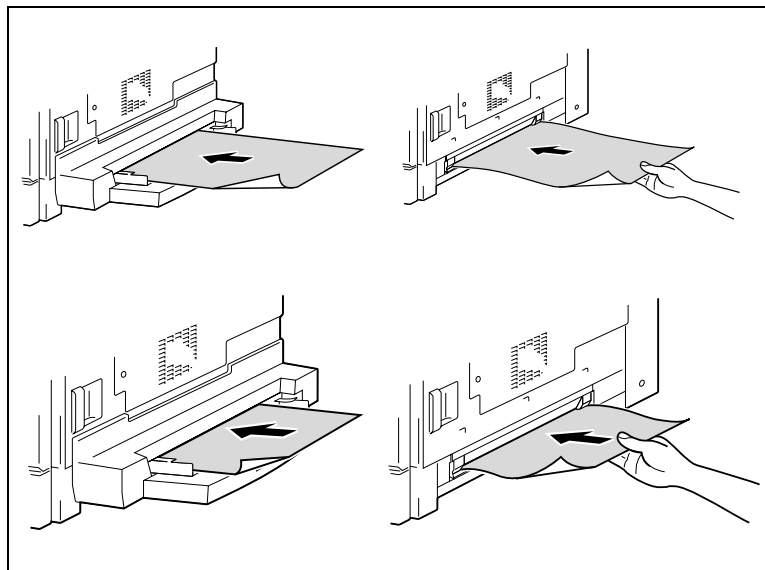
5

## ■ 手差しトレイにラベル用紙をセットする

シングル手差しトレイにセットできる用紙は1枚です。  
マルチ手差しトレイにセットできる用紙は20枚までです。

1

原稿にあわせ □ (タテ) 向きまたは ▢ (ヨコ) 向きにし、コピーする面を下向きにセットします。



ラベル用紙をセットした後は、操作パネルで用紙サイズや用紙種類を設定してください。

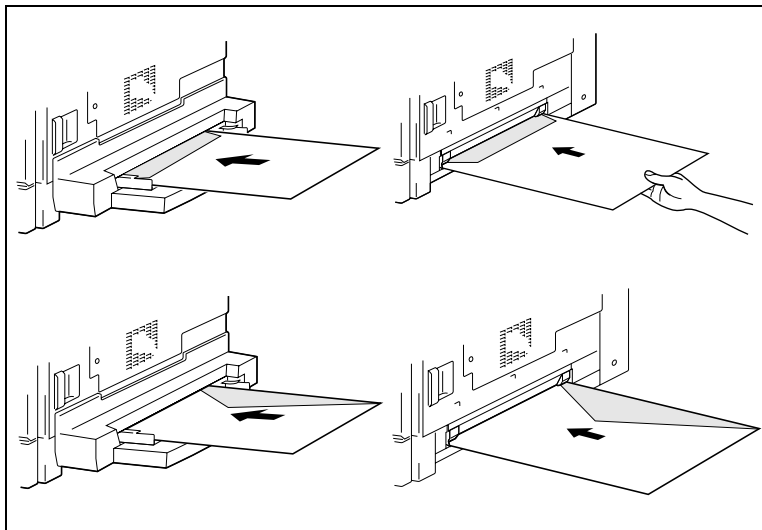


## ■ 手差しトレイに封筒をセットする

シングル手差しトレイにセットできる用紙は 1 枚です。  
マルチ手差しトレイにセットできる用紙は 10 枚までです。

1

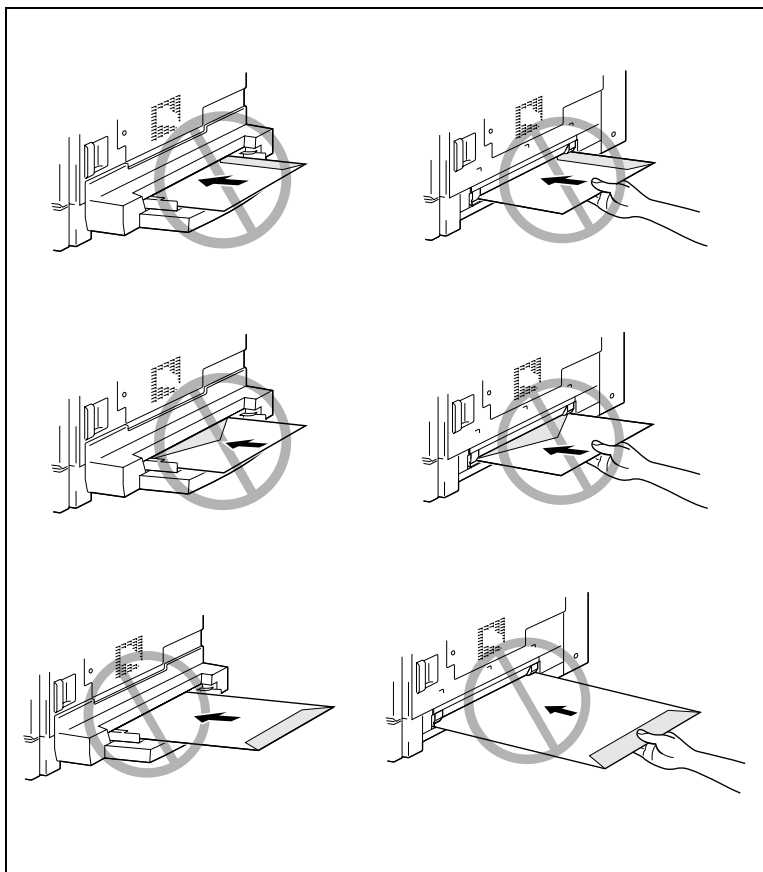
図のように封印部を上向きにしてセットします。



必ず守ってください

- 封筒をセットする場合は、封筒内部の空気を押し出し封筒の折り目をしっかり押さえてください。空気が残っていたり、折り目がしっかり押さえられていないと、しわになったり、紙づまりの原因になります。
- 封筒をセットした後は、操作パネルで用紙サイズや用紙種類を設定してください。

5



必ず守ってください

- 封筒は□（ヨコ）向きにセットしないでください。
- 封印部を下側に向けてセットしないでください。
- 封印部を後端にしてセットしないでください。

## ■ 手差しコピーのとりかた（シングル手差しトレイ）

1

原稿をセットします。

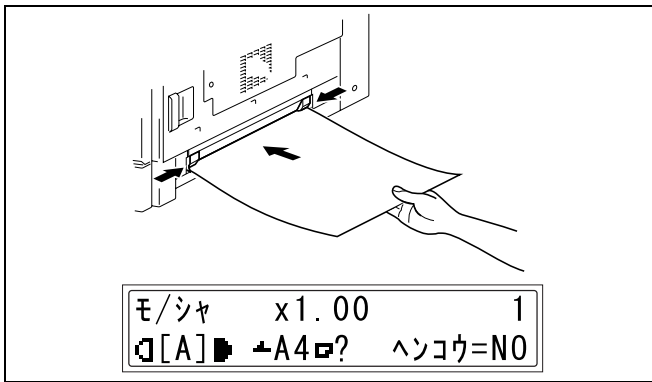
2

ガイドを用紙サイズにあわせて調整します。

3

用紙（1枚）はコピーする面を下に向け、用紙が止まる位置まで軽く差し込みます。

ディスプレイ下行に手差しの記号  $\blacktriangle$  が表示されます。



4

【No】を押します。

用紙種類選択メニューが表示されます。

5

【◀▶】、【▶▶】で用紙種類を選択します。

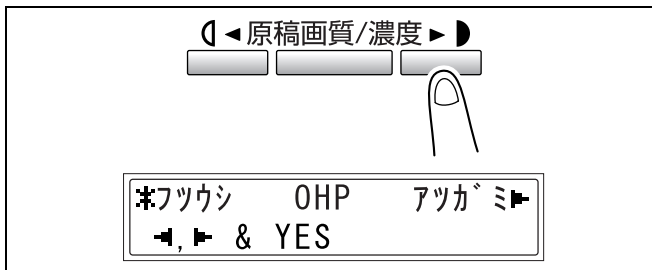
○ 用紙種類は以下のとおりです。

「フツウシ」

「OHP」

「アツガミ」

「フウトウ・ハガキ」



「原稿のセットのしかた」  
(p. 3-8) をご覧ください。



必ず守ってください

厚紙、官製はがきをセットする場合は、必ずカール（反り）をなおしてからセットしてください。

5

- シングル手差しトレイ使用時に、普通紙以外の用紙を設定すると以下の画面が表示されます。

厚紙	OHP フィルム
<div> <div> <div>モ/シャ</div> <div>x1.00</div> <div>1</div> </div> <div> <div>□[A]</div> <div>▲A4□?</div> <div>ヘンコウ=NO</div> </div> </div>	<div> <div> <div>モ/シャ</div> <div>x1.00</div> <div>1</div> </div> <div> <div>□[A]</div> <div>▲A4□?</div> <div>ヘンコウ=NO</div> </div> </div>
封筒	官製はがき
<div> <div> <div>モ/シャ</div> <div>x1.00</div> <div>1</div> </div> <div> <div>□[A]</div> <div>▲A4□?</div> <div>ヘンコウ=NO</div> </div> </div>	<div> <div> <div>モ/シャ</div> <div>x1.00</div> <div>1</div> </div> <div> <div>□[A]</div> <div>▲ハガキ?</div> <div>ヘンコウ=NO</div> </div> </div>

6

【Yes】を押します。

用紙サイズ選択メニューが表示されます。

7

【◀】、【▶】で用紙サイズを選択します。

◀

原稿画質/濃度

▶

◀

A5

A5

A4

\*A4

▶

OK=YES (フリーサイズ=▼)

- 手順5で「OHP」を選択した場合、用紙サイズは以下の4つから選択します。

「A4 ◻」  
「A4 ◻」  
「Letter ◻」  
「Letter ◻」

\*A4 ◻

A4 ◻

LT ◻

LT ◻

◀, ▶ & YES

- 官製はがきをセットする場合は、用紙サイズで「ハガキ」を選択します。

◻ LG ◻

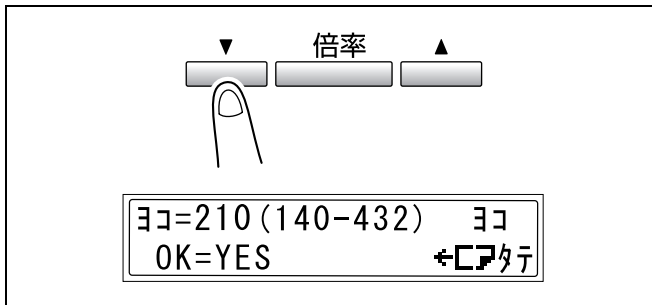
11x14

11x17

\*ハガキ

OK=YES (フリーサイズ=▼)

- 不定形紙の場合は、【▼】を押し、テンキーでサイズを入力してください。  
詳しくは p. 4-8 をご覧ください。



8

【Yes】を押します。

基本画面が表示されます。

9

必要に応じてその他の項目を設定します。

10

【スタート】を押します。



- 「倍率を指定してコピーする」(p. 5-27) をご覧ください。
- 「コピー濃度を変更してコピーする」(p. 5-33) をご覧ください。
- 「一歩進んだコピーのとりかた」(p. 6-1) をご覧ください。



#### 詳しく説明します

- 同じ条件で2枚目以降のコピーをする場合、用紙をシングル手差しトレイにセットすると自動的にコピーを開始します。
- 厚紙、官製はがき、OHPフィルム、封筒に連続してコピーしたい場合は、第1トレイに用紙をセットしてください。

## ■ 手差しコピーのとりかた（マルチ手差しトレイ）

1

原稿をセットします。

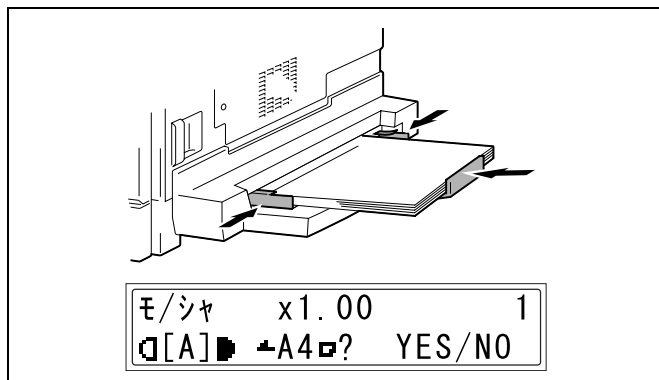
2

ガイドと補助トレイを用紙サイズにあわせて調整します。

3

用紙はコピーする面を下に向け、用紙が止まる位置まで軽く差し込みます。

ディスプレイ下行に手差しの記号  が表示されます。



4

ディスプレイ下行の「YES/NO」を確認し、【No】を押します。

用紙種類選択メニューが表示されます。




「原稿のセットのしかた」  
(p. 3-8) をご覧ください。



厚紙、官製はがきをセット  
する場合は、必ずカール  
(反り) をなおしてからセッ  
トしてください。



「YES/NO」はマルチ手差し  
トレイに用紙をセットして  
から約 5 秒間表示されます。  
「YES/NO」表示が消えたあ  
と用紙サイズなどを変更す  
る場合は【サイズ】で手差  
しトレイ () を選択し、  
【NO】を押します。

5

【◀▶】、【▶▶】で用紙種類を選択します。

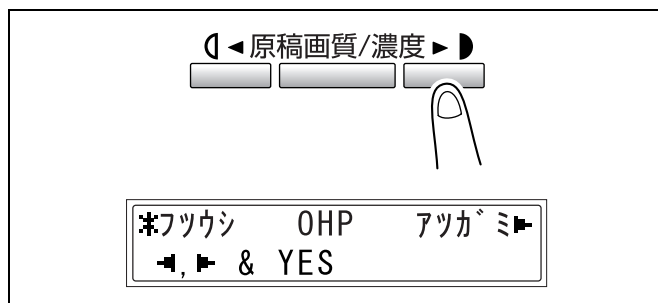
○ 用紙種類は以下のとおりです。

「フツシ」

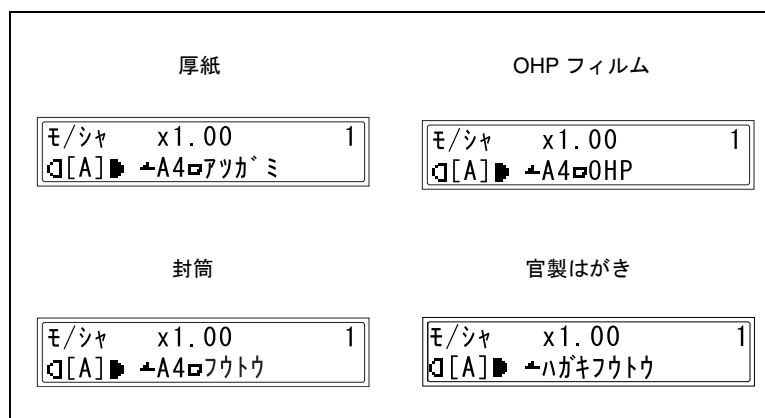
「OHP」

「アツカミ」

「フウトウ・ハガキ」



○ マルチ手差しトレイ使用時に普通紙以外の用紙を設定すると以下の画面が表示されます。



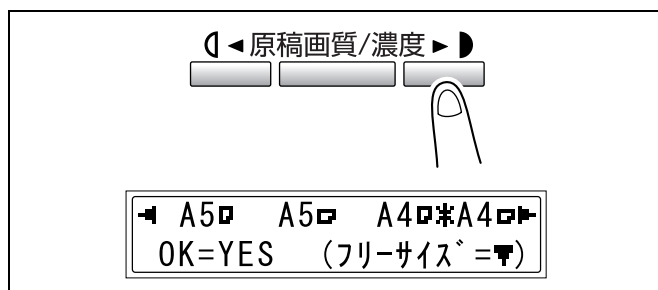
6

【Yes】を押します。

用紙サイズ選択メニューが表示されます。


7

【◀▶】、【▶▶】で用紙サイズを選択します。



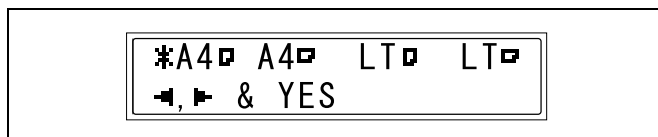
- 手順 5 で「OHP」を選択した場合、用紙サイズは以下の 4 つから選択します。

「A4 

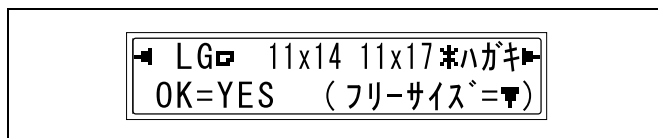
「A4 

「Letter 

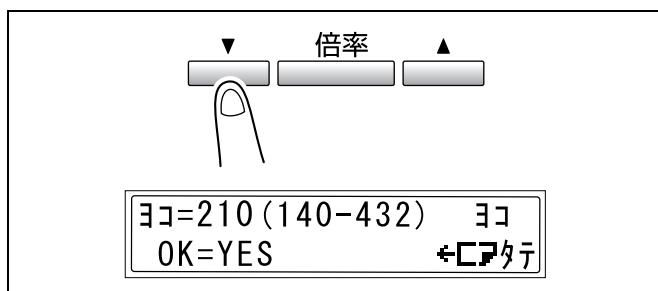
「Letter 



- 官製はがきをセットする場合は、用紙サイズで「はがき」を選択します。



- 不定形紙の場合は、【▼】を押し、テンキーでサイズを入力してください。  
詳しくは p. 4-11 をご覧ください。



8

【Yes】を押します。

基本画面が表示されます。

9

必要に応じてその他の項目を設定します。

10

【スタート】を押します。



- ・「倍率を指定してコピーする」(p. 5-27) をご覧ください。
- ・「コピー濃度を変更してコピーする」(p. 5-33) をご覧ください。
- ・「一歩進んだコピーのとりかた」(p. 6-1) をご覧ください。



## 5.5 用紙の選択のしかた

コピーをとるときに用紙を選択する方法は2種類あります。

- オート用紙：  
原稿サイズと設定されたコピー倍率をもとに、適切な用紙がセットされているトレイを自動的に選択します。
- マニュアル用紙選択：  
コピーをする前に、希望する用紙がセットされているトレイを指定します。

### ■ オート用紙選択のしかた

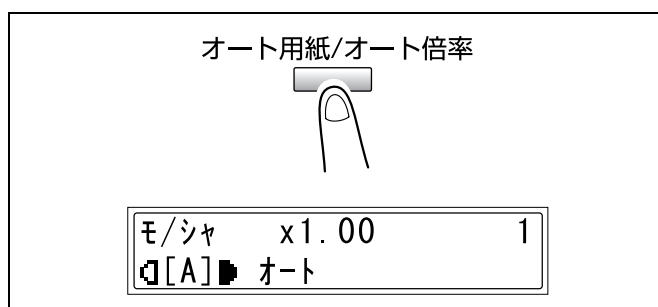
1

原稿送り装置に原稿をセットします。

2

【オート用紙／オート倍率】を押し、オート用紙を選択します。

- ディスプレイ下行に「オート」が表示されていることを確認します。



#### 詳しく説明します

- 第1トレイに OHP フィルム、官製はがき、厚紙、封筒などの特殊紙をセットできます。特殊紙をセットする場合は、あらかじめユーティリティモードの「トレイセッティ」で「トレイ1ヨウシ」を設定してください。詳しくは、「第1トレイ用紙の設定をする」(p. 7-15) をごらんください。
- 第1トレイを特殊紙設定している場合は、オート用紙を選択したときに第1トレイは選択されません。



「原稿のセットのしかた」(p. 3-8) をご覧ください。

5

3

必要に応じてその他の項目を設定します。

4

テンキーでコピー部数を設定し、【スタート】を押します。



- 「倍率を指定してコピーする」(p. 5-27) をご覧ください。
- 「コピー濃度を変更してコピーする」(p. 5-33) をご覧ください。
- 「一歩進んだコピーのとりかた」(p. 6-1) をご覧ください。



#### 詳しく説明します

ディスプレイに「ヨウリ  
センタ デキヤセン」と表示された場合は、トレイに適切な用紙がセットされていません。適切なサイズの用紙をセットするか、【サイズ】を押して別の用紙を選択し、再度【スタート】を押してください。



「原稿のセットのしかた」  
(p. 3-8) をご覧ください。

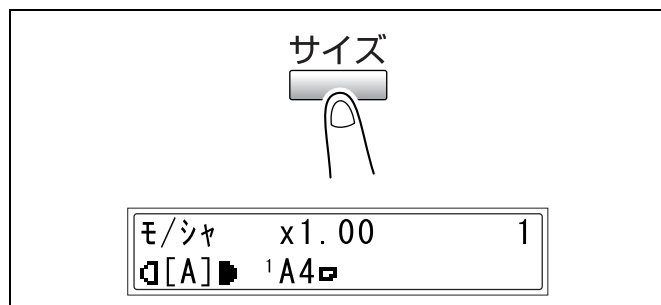
## ■ マニュアル用紙選択のしかた

1

原稿をセットします。

2

【サイズ】を押し、希望する用紙サイズを選択します。  
○ ディスプレイ下行の用紙サイズを確認します。



3

必要に応じてその他の項目を設定します。

4

テンキーでコピー部数を設定し、【スタート】を押します。

## ■ オートトレイチェンジ機能

オートトレイチェンジ機能とは、コピー／プリント中に現在選択中のトレイに用紙がなくなった場合、他のトレイに自動的に切り替えてコピー／プリントを続ける機能です。

現在選択中のトレイとは別のトレイ（シングル手差しトレイを除く）が以下の条件のときオートトレイチェンジがはたらきます。

- 同じサイズの下紙がセットされているとき
- 同じ種類の用紙がセットされているとき
- 用紙が同じ向きにセットされているとき
- 各トレイにセットされている用紙の種類が「フツツ」、「サババ」のとき



- 「倍率を指定してコピーする」(p. 5-27) をご覧ください。
- 「コピー濃度を変更してコピーする」(p. 5-33) をご覧ください。
- 「一歩進んだコピーのとりかた」(p. 6-1) をご覧ください。



### 詳しく説明します

- シングル手差しトレイに用紙がセットされているときは、オートトレイチェンジは機能しません。
- オプションのマルチ手差しトレイと第 2/ 第 3/ 第 4/ 第 5 トレイを装着すれば、最大で 1,350 枚の連続コピー／プリントができます。大量の連続コピー／プリントをする場合は、全てのトレイ（シングル手差しトレイを除く）で左記の条件をそろえて用紙をセットしてください。
- すべてのトレイに用紙がなくなった場合、画面の表示にしたがって用紙を補給してください。画面表示されたトレイ以外のトレイに用紙をセットしても、コピー／プリントが再開されないことがあります。

5

### ■ トレイチェンジの順序

オートトレイチェンジ機能が動作する場合、以下の優先順位でトレイが選択されます。

第1トレイ ⇒ 第2トレイ ⇒ 第3トレイ ⇒ 第4トレイ ⇒ 第5トレイ ⇒ マルチ手差しトレイ

#### 詳しく説明します

第1トレイ、またはマルチ手差しトレイに OHP フィルムやラベル用紙などの特殊紙をセットしている場合、オートトレイチェンジ機能がはたらき、誤って給紙される恐れがあります。

このような場合、以下の設定をすることをおすすめします。

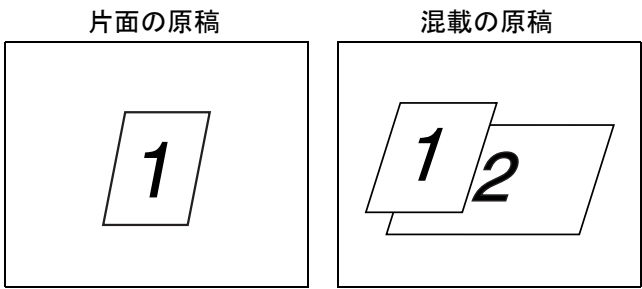
- 第1トレイに特殊紙をセットしたときはユーティリティの「トレイ1ヨウシ」で用紙タイプを変更します。(p. 7-15)
- マルチ手差しトレイに特殊紙をセットしたときは、用紙をセットしたあとに用紙種類を設定します。(p. 5-18)

# 5.6 原稿について

## ■ 原稿送り装置（オプション）を使用する場合

原稿送り装置は、多数の原稿を1枚ずつ送り出して読み込み、読み込み終わると自動的に排出する装置です。この装置の機能を十分発揮させるために、適正な原稿をご使用ください。  
適正な原稿を使用しないと、原稿づまりや原稿破損、本機の故障の原因となります。

## ■ 原稿のタイプ



原稿セット方法	原稿種類	原稿サイズ
原稿送り装置の場合	シート原稿 片面原稿 (50 g/m <sup>2</sup> ~ 110 g/m <sup>2</sup> )  混載原稿 (60 g/m <sup>2</sup> ~ 90 g/m <sup>2</sup> )	A3 □、B4 □、A4 □/□、 B5 □/□、A5 □/□ 原稿幅：90 mm ~ 297 mm 原稿長さ：210 mm ~ 420 mm  混載原稿の場合以下の組み合わせができます。 A3 □ と A4 □ B4 □ と B5 □
原稿ガラスの場合	シート原稿、 ブック原稿、 立体物 最大質量 3 kg	A3 □、B4 □、A4 □/□、 B5 □/□、A5 □/□ 原稿幅：297 mm まで 原稿長さ：432 mm まで

### ■ 原稿についての注意

以下のような原稿は原稿づまりや原稿破損、本機の故障の原因になるため、原稿送り装置に適していません。原稿ガラス上に原稿をセットしてください。

- 折り目のついた原稿（2つ折り、Z折りなど）
- 第2原図などの透明度の高い原稿
- とじ穴のあいた原稿（とじ穴の数が2個～4個）
- ルーズリーフなどの、とじ穴が多い原稿
- 感熱紙やカーボン紙など、原稿表面にコーティング処理されている原稿
- インクジェットプリンタ用の用紙
- 本機でコピー／プリントした直後の用紙
- 反り返った原稿
- しわや破れのある原稿
- OHP フィルム



原稿ガラス上に、不定形サイズ  
の原稿をセットしたときは、  
オート用紙、オート倍率機能が  
使用できません。不定形サイズの  
原稿をセットしたときは、  
【サイズ】を押してコピーする  
用紙を選択するか、【倍率】を  
押してコピー倍率を選択してく  
ださい。（p. 5-27）

## 5.7 倍率を指定してコピーする

倍率を指定することにより、コピーの拡大や縮小ができます。

### ■ 倍率設定の種類

倍率の種類	説明
等倍	原稿と同じ大きさ (×1.00) でコピーします。
オート倍率	セットされた原稿と選択した用紙をもとに、最適なコピー倍率が自動選択されます。
固定倍率	通常よく使用する定形サイズ of 原稿から定形サイズ of 用紙にコピーする場合の最適な倍率が設定されています。 ×0.25 ×0.50 ×0.70 (A3▶A4、B4▶B5) ×0.81 (B4▶A4、B5▶A5) ×1.22 (A4▶B4、A5▶B5) ×1.41 (A4▶A3、B5▶B4) ×2.00 ×4.00 ×0.25 と ×4.00 はマニュアル用紙選択時のみ設定可能です。オート用紙選択モード時は設定できません。
ズームアップダウンキーを使った倍率設定	【▼】、【▲】を押すごとに 0.01 刻みで倍率が変わります。(増減します) マニュアル用紙選択モード時： ×0.25 ～ ×4.00 の範囲で設定可能です。 オート用紙モード時： ×0.50 ～ ×2.00 の範囲で設定可能です。
タテ・ヨコ独立変倍	原稿のタテ方向とヨコ方向を異なった倍率でコピーします。 【▼】、【▲】を押すごとに 0.01 刻みで倍率が変わります。(増減します) タテ方向：×0.50 ～ ×2.00 の範囲で設定可能です。 ヨコ方向：×0.50 ～ ×1.00 の範囲で設定可能です。

## ■ オート倍率の設定のしかた

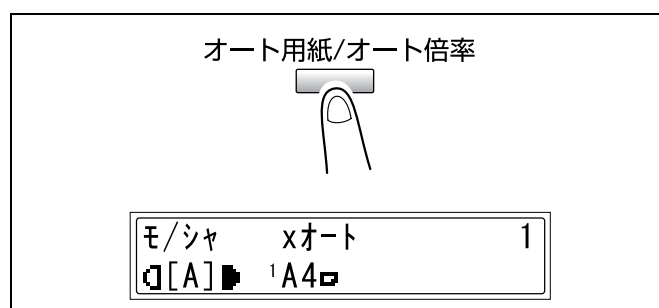
1

原稿をセットします。

2

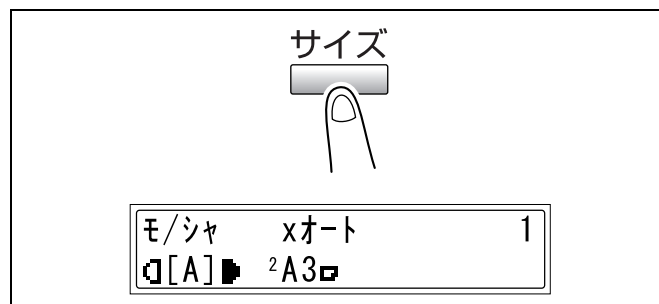
【オート用紙／オート倍率】を押し、オート倍率を選択します。

○ ディスプレイ上行に「オート」が表示されていることを確認します。



3

【サイズ】を押し、希望する用紙を選択します。



4

必要に応じてその他の項目を設定します。

5

テンキーでコピー部数を設定し、【スタート】を押します。



「原稿のセットのしかた」  
(p. 3-8) をご覧ください。



- 「コピー濃度を変更してコピーする」(p. 5-33) をご覧ください。
- 「一歩進んだコピーのとりかた」(p. 6-1) をご覧ください。



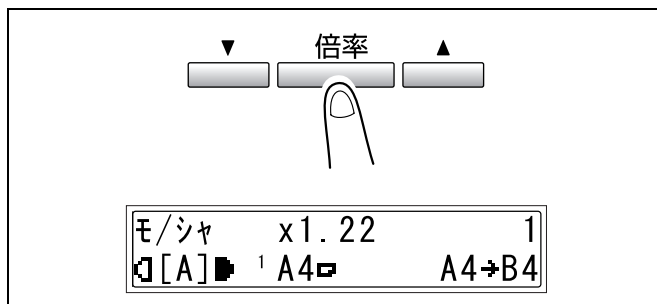
## ■ 固定倍率の設定のしかた

1

原稿をセットします。

2

【倍率】を押し、希望する倍率を選択します。



3

必要に応じてその他の項目を設定します。

4

テンキーでコピー部数を設定し、【スタート】を押します。



「原稿のセットのしかた」  
(p. 3-8) をご覧ください。



詳しく説明します

- 【倍率】を押すたびに倍率が以下のように切り替わります。  
×1.22→×1.41→×2.00→  
×4.00→×0.25→×0.50→  
×0.70→×0.81→×1.00...
- オート用紙モードでは、  
×0.25 と ×4.00 は表示されません。



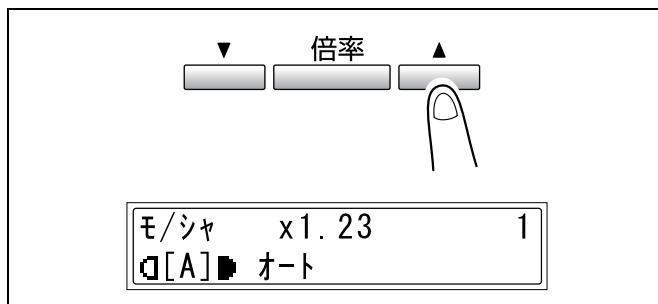
- 「用紙の選択のしかた」  
(p. 5-21) をご覧ください。
- 「コピー濃度を変更してコピーする」(p. 5-33) をご覧ください。
- 「一歩進んだコピーのとりかた」(p. 6-1) をご覧ください。

5

## ■ 倍率の設定のしかた

1 原稿をセットします。

2 【倍率】を押し、【▼】、【▲】で倍率を設定します。



3 必要に応じてその他の項目を設定します。

4 テンキーでコピー部数を設定し、【スタート】を押します。



「原稿のセットのしかた」  
(p. 3-8) をご覧ください。



倍率は、0.01 刻みで設定できます。



- 「用紙の選択のしかた」  
(p. 5-21) をご覧ください。
- 「コピー濃度を変更してコピーする」  
(p. 5-33) をご覧ください。
- 「一歩進んだコピーのとりかた」  
(p. 6-1) をご覧ください。

## ■ タテ・ヨコ独立変倍の設定のしかた

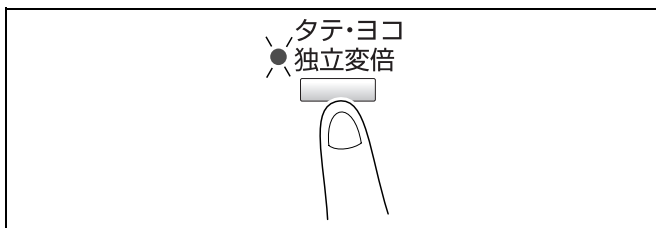
1

原稿をセットします。

2

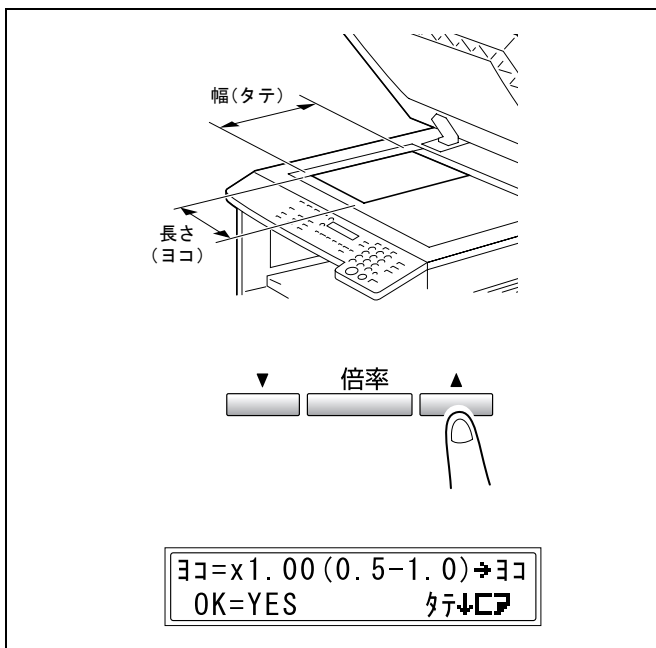
【タテ・ヨコ独立変倍】を押します。

タテ・ヨコ独立変倍のランプが点灯します。



3

【▼】、【▲】で長さ方向（ヨコ）の倍率を設定し、【Yes】を押します。



「原稿のセットのしかた」  
(p. 3-8) をご覧ください。



詳しく説明します

- 0.01 刻みで倍率が増減します。
- 【倍率】を押すと、固定倍率が表示されます。【倍率】を押すたびに、倍率が以下のように切り替わります。  
×1.00 → ×0.50 → ×0.70 → ×0.81...

### ひとこと

【No】を押すと、基本画面に戻ります。  
設定した倍率を訂正するときは【No】を押し、手順2からやり直してください。

5

4

【▼】、【▲】で幅方向（タテ）の倍率を設定し、【Yes】を押します。

タテ=x1.41 (0.5-2.0) →ヨコ  
OK=YES      タテ↓

5

必要に応じてその他の項目を設定します。

モ/シャ      xヨコ/タテ      1  
□[A]      1A4

6

テンキーでコピー部数を設定し、【スタート】を押します。

詳しく説明します

- 0.01 刻みで倍率が増減します。
- 【倍率】を押すと、固定倍率が表示されます。【倍率】を押すたびに、倍率が以下のように切り替わります。  
×0.50→×0.70→×0.81→  
×1.00→×1.22→×1.41→  
×2.00...

ひとこと

【No】を押すと、基本画面に戻ります。  
設定した倍率を訂正するときは【No】を押し、手順2からやり直してください。

参照

- 「用紙の選択のしかた」(p. 5-21) をご覧ください。
- 「コピー濃度を変更してコピーする」(p. 5-33) をご覧ください。
- 「一歩進んだコピーのとりかた」(p. 6-1) をご覧ください。

## 5.8 コピー濃度を変更してコピーする

### 原稿種類とコピー濃度の設定

- 文字モード：  
文字原稿のときに選択します。輪郭を強調し、文字原稿をくっきり表現します。  
オート濃度調整と9段階のマニュアル濃度調整ができます。
- オート濃度調整：コピーする原稿に合わせて自動的に濃度調整します。
- マニュアル濃度調整：コピーする原稿に合わせて【◀】（うすく）、【▶】（こく）を使用して調整します。
- 写真モード：  
写真などのハーフトーン（中間色）部の多い原稿をコピーする場合に選択します。  
写真モードのときはオート濃度調整はできません。
- 文字／写真モード：  
文字と写真の混在する原稿の場合に選択します。  
オート濃度調整と9段階のマニュアル濃度調整ができます。
- オート濃度調整：コピーする原稿に合わせて自動的に濃度調整します。
- マニュアル濃度調整：新聞や雑誌などをコピーするときの裏写りを防止したい場合は、【◀】（うすく）を使用して調整します。画像の明るい部分の淡い色を再現したい場合は、【▶】（こく）を使用して調整します。

#### ひとこと

マニュアル濃度調整のときに「コ1」側に設定すると、下地の色までコピーしてしまったり、「コ2」側に設定すると、コピー自体が薄くなってしまうことがありますので、原稿にあわせて適切なレベルを設定してください。

## ■ コピー濃度の設定のしかた

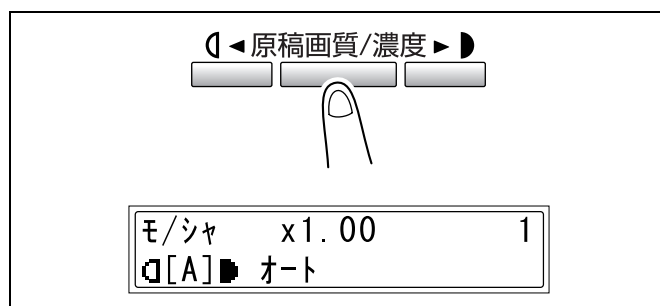
1

原稿をセットします。

2

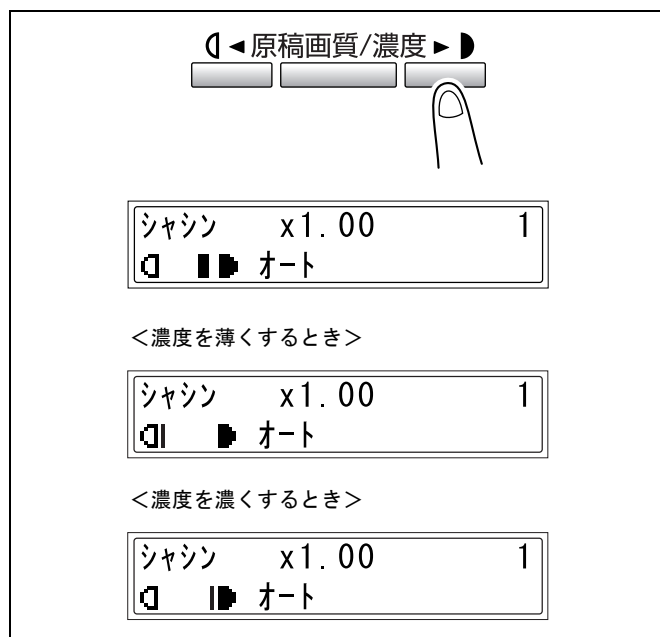
【原稿画質／濃度】を押し、「モ/シャ [A] (オート)」、「モジ [A] (オート)」、「シャシ」、「モ/シャ」、「モジ」を切り替えます。

○ ディスプレイ左側の表示で確認してください。



3

「シャシ」、「モジ」、「モ/シャ」モードを選択した場合は【◀】、【▶】を押し、濃度を調整します。



「原稿のセットのしかた」  
(p. 3-8) をご覧ください。

4

必要に応じてその他の項目を設定します。

5

テンキーでコピー部数を設定し、【スタート】を押します。



- 「用紙の選択のしかた」(p. 5-21) をご覧ください。
- 「倍率を指定してコピーする」(p. 5-27) をご覧ください。
- 「一歩進んだコピーのとりかた」(p. 6-1) をご覧ください。

5

## 5.9 割り込んでコピーする

連続コピー中に【割り込み】を押すことにより、急ぎのコピーをとることができます。

### ■ 割り込み設定のしかた

1

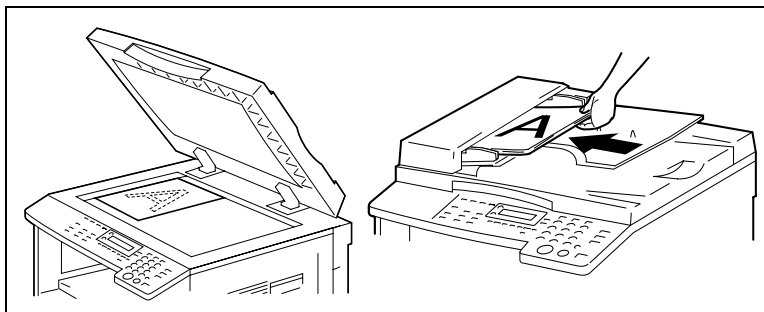
【割り込み】を押します。

割り込みランプが点灯し、コピー動作は停止します。



2

原稿を入れ替えます。



3

必要に応じてその他の項目を設定します。

4

テンキーでコピー部数を設定し、【スタート】を押します。

割り込みコピーを開始します。

5

割り込みコピー終了後、【割り込み】を押します。

割り込みランプが消灯し、割り込み前のコピーモードに戻ります。

6

手順2で入れ替えた原稿をセットしなおします。

7

【スタート】を押します。

中断したコピーが再開されます。

#### 詳しく説明します

割り込み前のコピーモードにより、割り込みコピーができないことがあります。また、割り込み設定中は組み合わせできない機能があります。詳しくは、「おもな機能の組み合わせ一覧表」(p. 10-7)をご覧ください。原稿ガラスを使用して2in1、4in1を行っているときは、割り込みコピーはできません。

#### ひとこと

【割り込み】を押すと、パネルの設定は初期モードになります。

#### 参照

- ・「用紙の選択のしかた」(p. 5-21)をご覧ください。
- ・「倍率を指定してコピーする」(p. 5-27)をご覧ください。
- ・「コピー濃度を変更してコピーする」(p. 5-33)をご覧ください。
- ・「一歩進んだコピーのとりかた」(p. 6-1)をご覧ください。



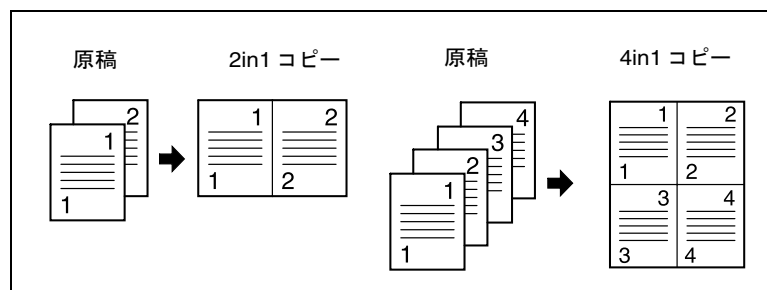
# 第 6 章

## 一歩進んだコピーのとりかた

仕上りの設定や、コピーモードの登録などさまざまなコピーのとりかたについて説明します。

6.1	2in1、4in1 コピーの設定について .....	6-2
6.2	ブック分割コピーの設定について .....	6-5
6.3	仕上り設定について（ソート、グループ） .....	6-7
6.4	原稿の一部を消してコピーする（イレース） .....	6-12
6.5	白黒反転コピーをする（ネガポジ反転） .....	6-14
6.6	とじ代をつけてコピーする .....	6-15
6.7	コピー設定を登録する .....	6-16
6.8	ID（部門）番号を使ってコピーする .....	6-18

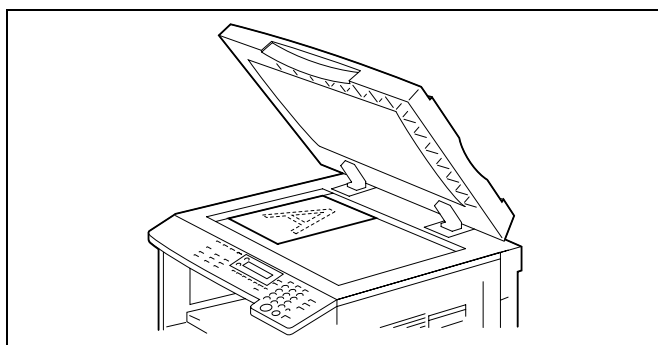
## 6.1 2in1、4in1 コピーの設定について



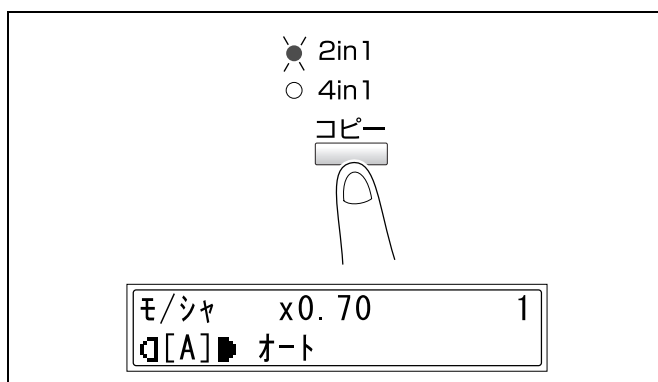
### ■ 原稿ガラスの場合

- 1 原稿送り装置、または原稿カバーを開きます。

- 2 原稿ガラスに原稿をセットします。



- 3 【コピー】を押し、2in1 または 4in1 を選択します。  
2in1 または 4in1 のランプが点灯します。



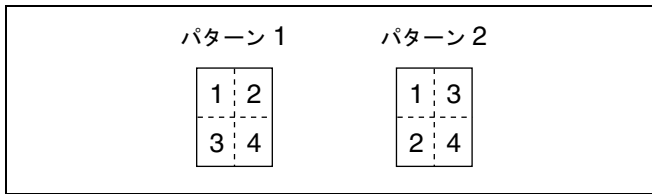
#### 詳しく説明します

原稿ガラスを使用して  
2in1、4in1 コピーを行って  
いるときは、割り込みコ  
ピーはできません。

#### 参照

「原稿のセットのしかた」  
(p. 3-8) をご覧ください。

- 4in1 コピーではコピー順序を下図の2つから選択できます。  
工場出荷時の設定は「パターン1」です。



4

必要に応じてその他の項目を設定します。

5

テンキーでコピー部数を設定し、【スタート】を押します。

6

次の原稿を原稿ガラスにセットして【Yes】を押します。

- 原稿の枚数分、この操作を繰り返します。  
読み込み原稿枚数が表示されます。

ツギノ ページ?	1
スキャン=YES (フ リント=スタート)	

7

すべての原稿のスキャンが終了したら【スタート】を押します。



設定のしかたについてはユーティリティの「4in1 ページ順の設定をする」(p. 7-47)をご覧ください。



- 「コピーをとるまえに」(p. 5-1)をご覧ください。
- 「一歩進んだコピーのとりかた」(p. 6-1)をご覧ください。



詳しく説明します

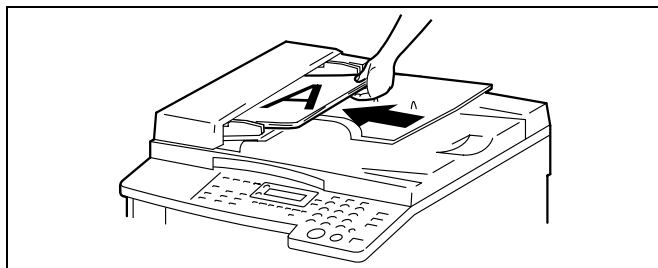
複数部設定した場合は【仕上り】を押し【ソート】を選択してください。

6

## ■ 原稿送り装置の場合

1

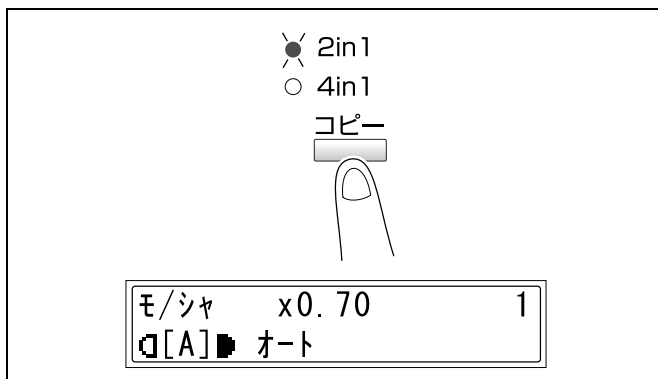
原稿送り装置に原稿をセットします。



2

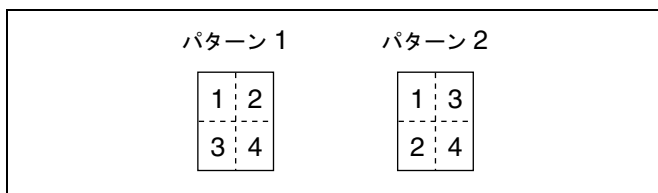
【コピー】を押し、2in1 または 4in1 を選択します。

2in1 または 4in1 のランプが点灯します。



○ 4in1 コピーではコピー順序を下図の2つから選択できます。

工場出荷時の設定は「パターン1」です。



3

必要に応じてその他の項目を設定します。

4

テンキーでコピー部数を設定し、【スタート】を押します。



「原稿のセットのしかた」  
(p. 3-8) をご覧ください。

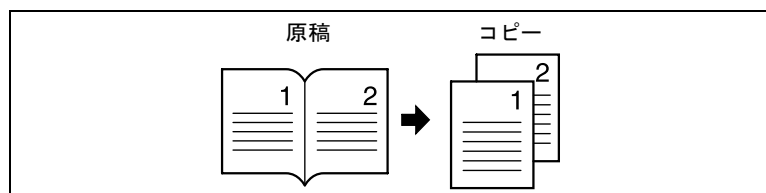


• 設定のしかたについては  
ユーティリティの「4in1  
ページ順の設定をする」  
(p. 7-47) をご覧ください。



• 「コピーをとるまえに」  
(p. 5-1) をご覧ください。  
• 「一歩進んだコピーのとりかた」  
(p. 6-1) をご覧ください。

## 6.2 ブック分割コピーの設定について



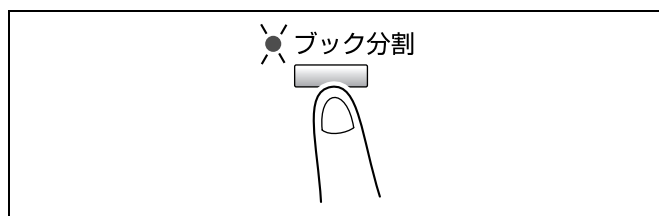
1

原稿をセットします。

2

【ブック分割】を押します。

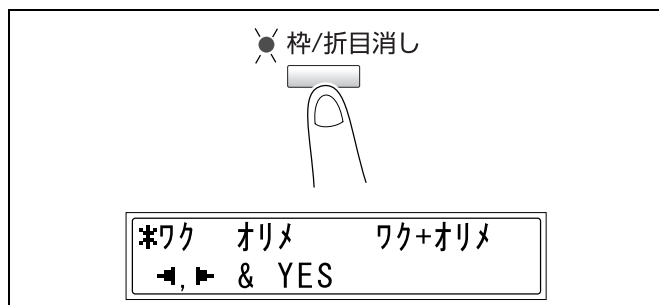
ブック分割ランプが点灯します。



3

原稿の周囲や中央部を消去したいときは【枠／折目消し】を押します。

○ コピーを開始するときは手順5に進んでください。



4

【Yes】を押します。

基本画面が表示されます。

5

必要に応じてその他の項目を設定します。

6

テンキーでコピー部数を設定し、【スタート】を押します。



「原稿のセットのしかた」  
(p. 3-8) をご覧ください。



詳しく説明します

ユーティリティモードで原稿タイプを変更できます。工場出荷時は、原稿が左とじに設定されています。右とじの原稿をコピーする場合は、ユーティリティの「ブックとじ位置を選択する」(p. 7-39) で設定を変更してください。



枠／折目消しの種類は、次のページの表を参考にしてください。



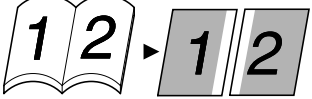
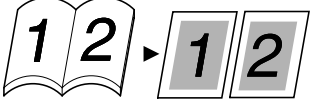
詳しく説明します

- 枠イレース幅（消去する幅）は 5 mm ～ 20 mm の間を 1 mm 単位で設定できます。工場出荷時の設定は 10 mm です。
- 折目イレース幅は 10 mm 固定です。
- 枠イレース幅を変更したい場合は、ユーティリティの「イレース幅の調整をする」(p. 7-41) で変更してください。



- 「コピーをとるまえに」(p. 5-1) をご覧ください。
- 「一歩進んだコピーのとりかた」(p. 6-1) をご覧ください。

## ■ 枠／折目消しの種類について

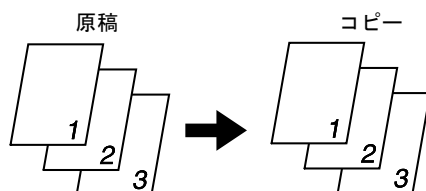
イレースの種類	説明	仕上がり
ワク (ブックフレーム イレース)	原稿の周囲を消去してコピーします。	<div>原稿</div>  <div>コピー</div>
オリメ (ブックセンター イレース)	原稿のセンターを消去してコピーします。	<div>原稿</div>  <div>コピー</div>
ワク + オリメ (ブックフレーム + センターイレース)	原稿の周囲と中央部を消去してコピーします。	<div>原稿</div>  <div>コピー</div>

## 6.3 仕上り設定について（ソート、グループ）

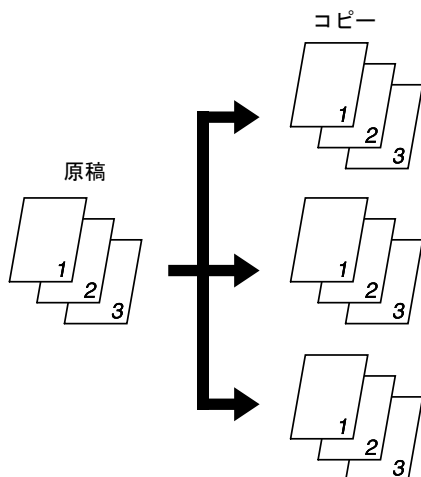
2部以上のコピー／プリントを行うときに、1部ずつをページ順にコピー（ソート）したり、ページごとにまとめてコピー（グループ）したりできます。

### ■ 仕上りの種類

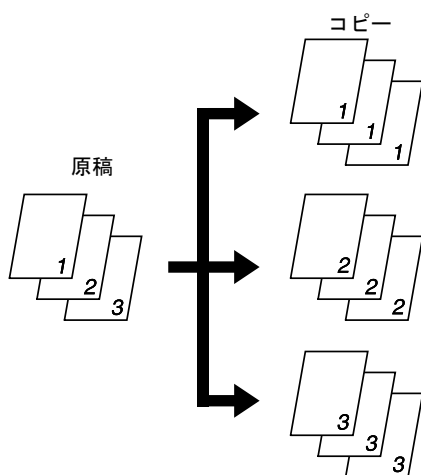
- ノンソート：  
仕分けを行わずにコピーします。



- ソート：  
複数の原稿を自動的に1部ずつ仕分けをして、コピーします。

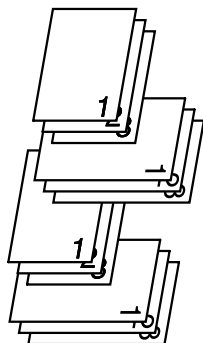


- グループ：  
複数枚の原稿をページ単位に仕分けしてコピーします。



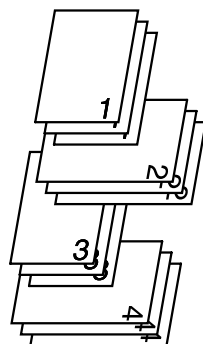
- 交互ソート：

1 部ごとにタテとヨコの用紙を交互に給紙して仕分けします。



- 交互グループ：

ページごとにタテとヨコの用紙を交互に給紙して仕分けします。



### 詳しく説明します

交互に排出する場合は以下の条件が必要です。

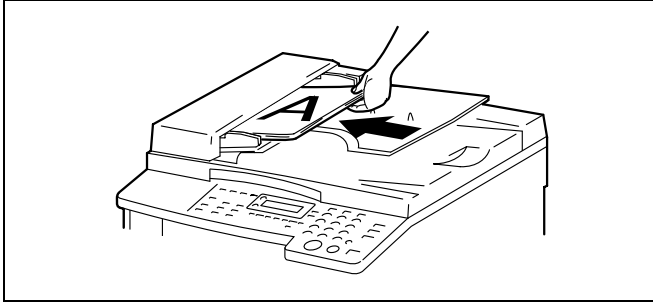
- A4 または B5 の用紙を使用する
- サイズと種類の同じ用紙をタテ方向とヨコ方向にセットする
- オート用紙に設定する
- 混載原稿を設定しない
- ユーティリティの「カ行ソート」メニューで「ON」を設定する（p. 7-48）



## ■ 仕上り設定のしかた（原稿送り装置に原稿をセット）

1

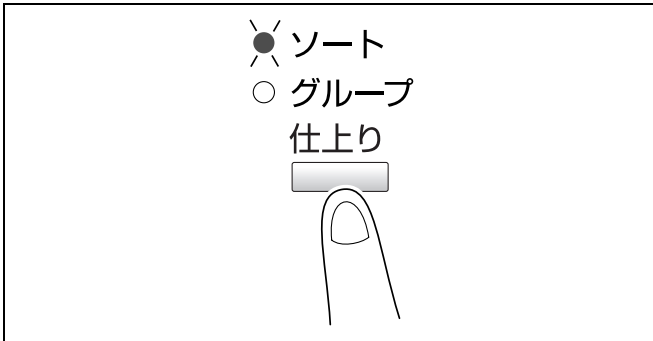
原稿送り装置に原稿をセットします。



2

【仕上り】を押し、ソートまたはグループを選択します。

ソートまたはグループランプが点灯します。



3

必要に応じその他の項目を設定します。

4

テンキーでコピー部数を設定し、【スタート】を押します。



「原稿のセットのしかた」  
(p. 3-8) をご覧ください。

### ひとこと

仕上りを設定していない場合、ランプは点灯しません。



- 「コピーをとるまえに」  
(p. 5-1) をご覧ください。
- 「一歩進んだコピーのとりかた」  
(p. 6-1) をご覧ください。

6

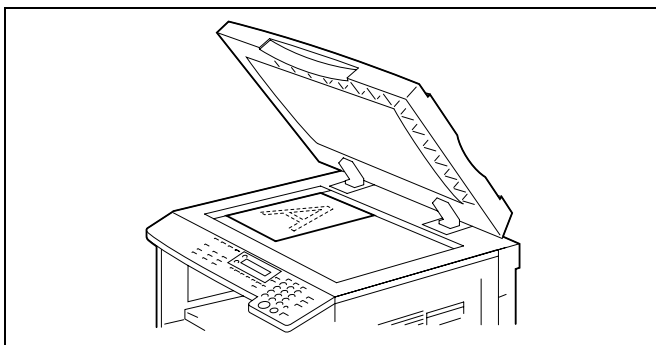
## ■ 仕上り設定のしかた（原稿ガラスに原稿をセット）

1

原稿送り装置、または原稿カバーを開きます。

2

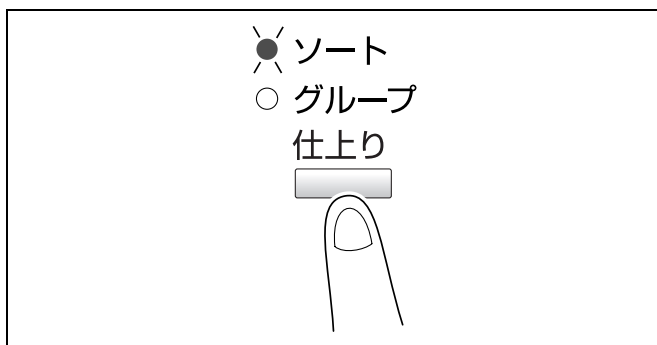
原稿ガラスに原稿をセットします。



3

【仕上り】を押し、ソートを選択します。

ソートランプが点灯します。



4

必要に応じその他の項目を設定します。

5

テンキーでコピー部数を設定し、【スタート】を押します。



「原稿のセットのしかた」  
(p. 3-8) をご覧ください。

### ひとこと

仕上りを設定していない場合、ランプは点灯しません。



- 「コピーをとるまえに」  
(p. 5-1) をご覧ください。
- 「一歩進んだコピーのとりかた」  
(p. 6-1) をご覧ください。

6

次の原稿を原稿ガラスにセットして【Yes】を押します。

○ 原稿の枚数分、この操作を繰り返します。

読み込み原稿枚数が表示されます。

ツギノ ページ？	1
スキャン=YES (フ リント=スタート)	

7

【スタート】を押します。


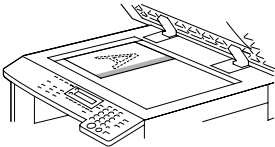
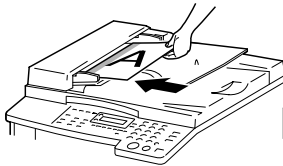

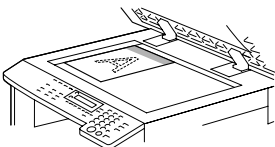
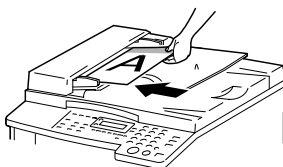

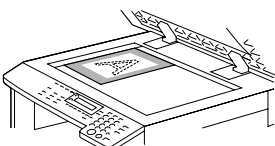
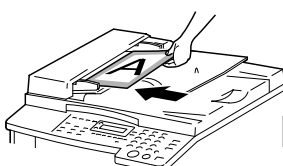
6

## 6.4 原稿の一部を消してコピーする（イレース）

原稿の縁の汚れなどを消去してコピーできます。

### ■ イレース位置でのご注意

イレースモードでコピーを行う場合は原稿をセットする方向に注意してください。

仕上がり	原稿ガラス	原稿送り装置
左イレース 		
上イレース 		
枠イレース 		

## ■ イレース設定のしかた

1

原稿をセットします。

2

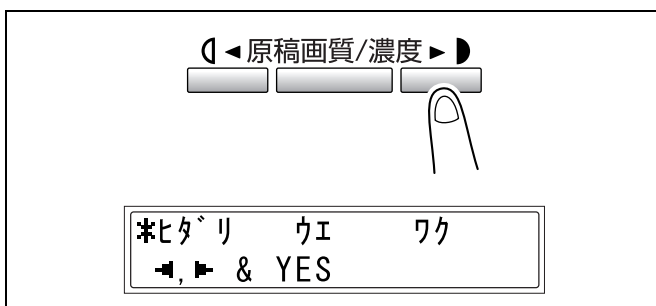
【枠／折目消し】を押します。

枠／折目消しランプが点灯します。



3

【◀▶】、【▶▶】でイレース位置を「ヒタリ」、「ウエ」、「ワク」から選択します。



4

【Yes】を押します。

基本画面が表示されます。

5

必要に応じその他の項目を設定します。

6

テンキーでコピー部数を設定し、【スタート】を押します。



「原稿のセットのしかた」  
(p. 3-8) をご覧ください。



詳しく説明します

- 左イレース、上イレース、枠イレース幅は、5 mm ～ 20 mm の範囲で 1 mm 単位の設定ができます。工場出荷時の設定は 10 mm です。
- イレース幅を変更したい場合は、ユーティリティの「イレース幅の調整をする」(p. 7-41) をご覧ください。

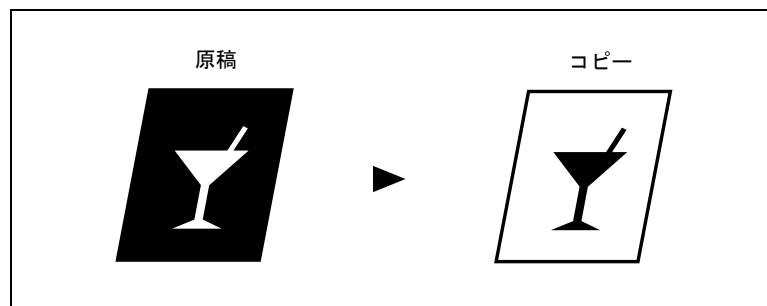


- 「コピーをとるまえに」(p. 5-1) をご覧ください。
- 「一歩進んだコピーのとりかた」(p. 6-1) をご覧ください。

6

## 6.5 白黒反転コピーをする（ネガポジ反転）

原稿の白色部（下地）と黒色部（文字）を反転してコピーできます。



### ■ ネガポジ反転の設定のしかた

- 1 原稿をセットします。
- 2 【ネガポジ反転】を押します。  
ネガポジ反転ランプが点灯します。



- 3 必要に応じその他の項目を設定します。
- 4 テンキーでコピー部数を設定し、【スタート】を押します。



「原稿のセットのしかた」  
(p. 3-8) をご覧ください。

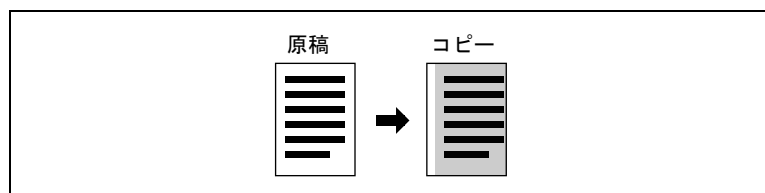


- 「コピーをとるまえに」  
(p. 5-1) をご覧ください。
- 「一歩進んだコピーのとりかた」  
(p. 6-1) をご覧ください。

## 6.6 とじ代をつけてコピーする

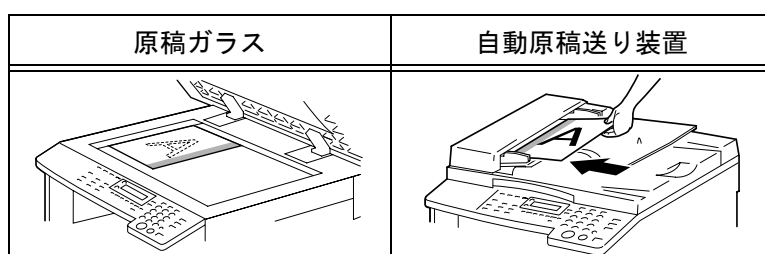
ファイリングしやすいように、用紙にとじ代（余白）をつけてコピーできます。

- 左とじ代：原稿の画像を右方向にずらして（シフトさせて）左側にとじ代をつくりコピーします。



### ■ とじ代位置のご注意

とじ代をつけてコピーする場合は原稿をセットする方向に注意してください。



### ■ とじ代の設定のしかた

1

原稿をセットします。

2

【とじ代作成】を押します。

とじ代作成ランプが点灯します。



3

必要に応じその他の項目を設定します。

4

テンキーでコピー部数を設定し、【スタート】を押します。



「原稿のセットのしかた」  
(p. 3-8) をご覧ください。



- とじ代幅は、0 mm ～ 20 mm の範囲で 1 mm 単位の設定ができます。工場出荷時の設定は 10 mm です。
- とじ代幅を変更したい場合は、ユーティリティモードの「とじ代幅の調整をする」(p. 7-40) をご覧ください。



- 「コピーをとるまえに」(p. 5-1) をご覧ください。
- 「一歩進んだコピーのとりかた」(p. 6-1) をご覧ください。

## 6.7 コピー設定を登録する

よく使用するコピーモードを登録しておき、必要に応じて呼び出すことができます。コピー設定は2つまで登録できます。

### ■ コピー設定の登録のしかた

1

登録するコピーモードを設定します。

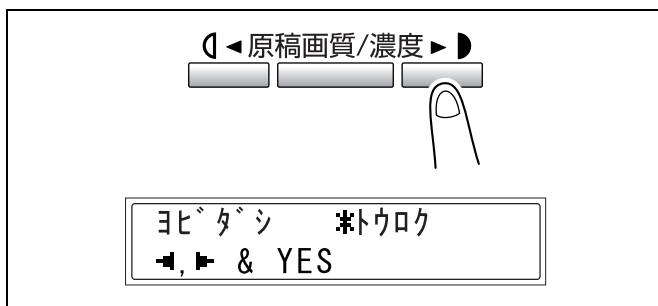
2

【コピー設定 登録/呼出】を押します。



3

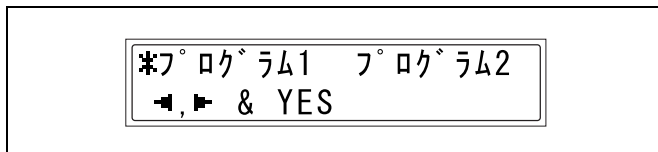
【◀▶】で「トリック」を選択し、【Yes】を押します。



4

【◀▶】で登録するプログラム番号を選択し、【Yes】を押します。

現在のコピー設定が登録されます。



#### 詳しく説明します

ウォームアップ中および割り込みモード中に設定の登録を行うことはできません。

#### 参照

- 「コピーをとるまえに」(p. 5-1) をご覧ください。
- 「一歩進んだコピーのとりかた」(p. 6-1) をご覧ください。

#### 詳しく説明します

登録できる倍率の設定範囲は  $\times 0.50 \sim \times 2.00$  です。

#### 詳しく説明します

すでに2種類のコピー設定が登録されている場合、新たにコピー設定の登録を行うと前のコピー設定は消去されます。



## ■ コピー設定を呼び出してコピーする

1

原稿をセットします。

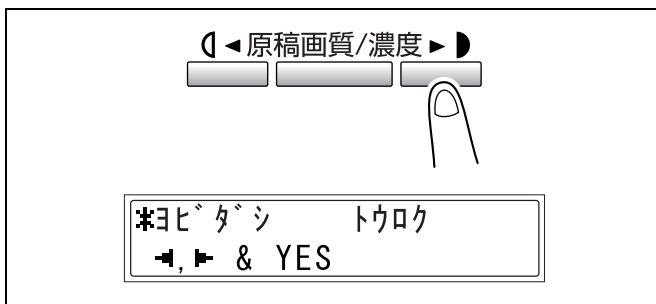
2

【コピー設定 登録/呼出】を押します。



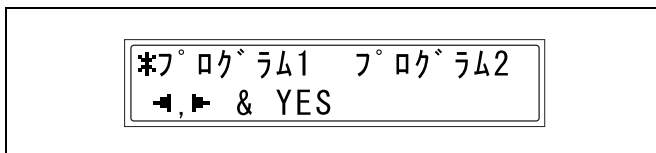
3

【◀▶】、【▶▶】で「ヨビダシ」を選択し、【Yes】を押します。



4

【◀▶】、【▶▶】で呼び出すプログラム番号を選択し、【Yes】を押します。



5

【スタート】を押します。



「原稿のセットのしかた」  
(p. 3-8) をご覧ください。

6

## 6.8 ID（部門）番号を使ってコピーする

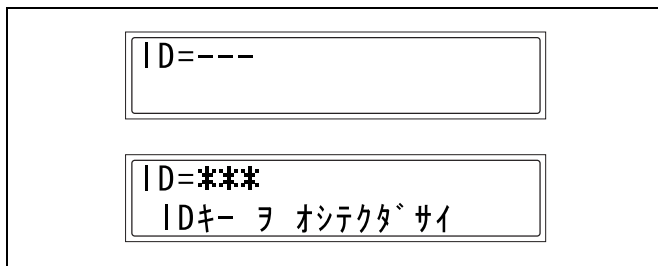
ID（部門）番号を登録しておくことで、特定の人だけが本機を使えるように設定したり、部門ごとにコピー枚数を管理したりできます。

ここではID（部門）番号を入力し、コピーする方法を説明します。

### ■ ID（部門）番号の入力のしかた

1

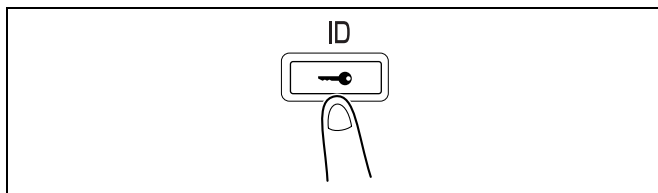
3桁のID（部門）番号をテンキーで入力します。



2

【ID】を押します。

画面がID入力画面から基本画面に切り替わり、コピー可能となります。



3

原稿をセットし、コピーの設定をします。

4

【スタート】を押します。

5

コピーが終了したら、再度【ID】を押します。

#### 詳しく説明します

ID（部門）番号が登録されている場合は、本機を使用する前にID（部門）番号を入力しないと使用できません。

この機能を使用する場合は、ユーティリティの管理者保守モードで部門管理の設定をしてください。詳しくはp. 7-24をご覧ください。

#### ひとこと

ID（部門）番号を訂正する場合は、【No】を押してから入力しなおしてください。

#### 参照

- 「コピーをとるまえに」（p. 5-1）をご覧ください。
- 「一歩進んだコピーのとりかた」（p. 6-1）をご覧ください。

# 第7章

## ユーティリティ／コピー設定

---

ユーティリティモードで設定ができるコピー／プリント機能の項目について説明します。

7.1 ユーティリティ設定一覧 .....	7-2
7.2 本体設定 .....	7-3
7.3 トレイ設定 .....	7-12
7.4 ユーザー保守モード .....	7-19
7.5 管理者保守モード .....	7-21
7.6 コピー設定 .....	7-32

## 7.1 ユーティリティ設定一覧

※ 太字は工場出荷時の設定を示します。

メニュー	サブメニュー	設定項目
1 ホンタイ セッテイ	オート リセット	<b>ON</b> (0.5/1/2/3/4/5、初期値：1) /OFF
	スリープ モード	タイマー=1-240 min (初期値： <b>15</b> )
	オート パワー オフ	ON (タイマー=15-240 min) / <b>OFF</b>
	ガシツ (ADF)	<b>モード 1</b> / モード 2
	ガシツ (ゲンコウカラス)	<b>モード 1</b> / モード 2
	プリント ノウト	ウスイ～コイ (5 段階) ◻◻◻◻◻◻◻
	LCD コントラスト	ウスイ～コイ (4 段階) ◻◻◻◻◻◻
	ゲンゴ センタク	<b>ニホンゴ</b>
2 トレイ セッテイ	メトリック / インチ	(各トレイ) インチ / <b>メトリック</b>
	トレイ 1 ヨウシ	<b>フツウシ</b> /OHP/ アツカミ / フウトウ・ハガキ、 <b>オート</b> / フリーサイズ
	トクシュシ	<b>フツウシ</b> / サイセイシ / センヨウシ
3 ユーザーホシュ	ドラムドライ	—
	トナー ホキユウ	—
4 カンリシヤホシュ	オート パワー オフ	キンシ / <b>キョカ</b>
	ブモンカンリ	ブモンカンリモード (ON / OFF) ID トウロク ブモンベツトータルカウンタ (ヒョウシ / ショウキョ)
5 コピー セッテイ 1	ユウセン ヨウシ	<b>1ST/2ND/3RD/4TH/5TH</b> / マルチテザシ
	ユウセン ノウト / シヤシ	モジ / シヤシ / <b>モ / シヤ</b>
	ノウト レベル (オート)	ウスイ～コイ (3 段階) ◻◻◻◻◻
	ノウト レベル (マニュアル)	ウスイ～コイ (9 段階) ◻◻◻◻◻◻◻◻◻◻
	ブツク トジイ	<b>ヒタリ</b> / ミギ
	トジシロ セッテイ	ハハ = 0-20 (mm) (初期値 10 mm)
	ワク / オリメケン セッテイ	ヒタリ / ウエ / ワク (ハハ = 5-20 (mm)) (初期値 10 mm)
	ショウサイズ ゲンコウ	<b>キンシ</b> / キョカ
6 コピー セッテイ 2	ユウセン コンサイゲンコウ	ON / <b>OFF</b>
	ユウセン APS/AMS	<b>APS/AMS</b> / シュドウ
	ユウセン ソート	<b>OFF</b> / ソート / グループ
	4IN1 ページジユン	<b>パターン 1</b> / パターン 2
	カイテン ハイシ	ON / OFF



オプションの装着状態によって、設定できない項目があります。設定できない項目を選択すると、エラーメッセージが表示されます。

## 7.2 本体設定

本体設定では以下の項目の設定を変更できます。

＜本体設定の項目＞

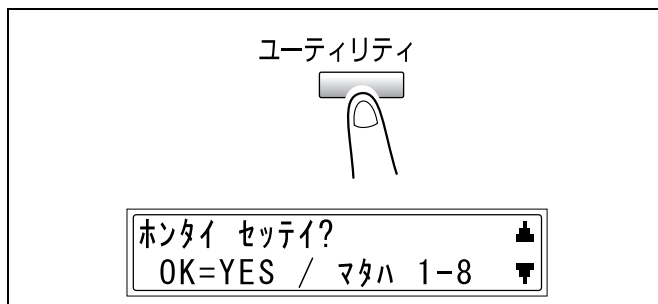
No.	本体設定	内容
1	オートリセット	コピー終了後または最後のキー操作後、オートリセット機能がはたらくまでの時間を設定できます。オートリセットにより自動的に初期モードに戻り、基本画面が表示されます。 • 工場出荷時の設定は1分です。
2	スリープモード	本機を操作しなくなってから節電状態になるまでの時間を設定できます。 • 工場出荷時の設定は15分です。
3	オートパワーオフ	本機を操作しなくなってからオートパワーオフするまでの時間を設定できます。 • 工場出荷時の設定は「OFF」です。
4	ガシツ (ADF)	オプションの原稿送り装置を使用する場合の画質レベルを設定できます。 モード1: コピー濃度を薄めにし、コピーの汚れを抑える場合に選択します。 モード2: 原稿と同じ濃度でコピーする場合に選択します。 • 工場出荷時の設定は「モード1」です。
5	ガシツ (ガラス)	原稿ガラスにセットしてコピーする場合の画質レベルを設定できます。 モード1: 原稿と同じ濃度でコピーする場合に選択します。 モード2: コピー濃度を薄めにし、コピーの汚れを抑える場合に選択します。 • 工場出荷時の設定は「モード1」です。
6	プリントアウト	出力時の濃度レベルを5段階で設定できます。 • 工場出荷時の設定は ( ) です。
7	LCD コントラスト	LCD ディスプレイの明るさを調整できます。 • 工場出荷時の設定は ( ) です。
8	言語 センタリ	画面表示時の言語を選択できます。本機では「センタリ」のみ有効です。

## ■ 本体設定メニューを選択する

1

【ユーティリティ】を押します。

「ホンタイ セッテイ?」が表示されます。



2

テンキーの【1】～【8】を押し、本体設定メニューを選択します。

○ 本体設定メニューは以下のとおりです。

- 1 オート リセット
- 2 スリープ モード
- 3 オート パワー オフ
- 4 ガシツ (ADF)
- 5 ガシツ (ゲンコウカラス)
- 6 プリント ノウト
- 7 LCD コントラスト
- 8 ゲンゴ センタク

### 詳しく説明します

本体設定の操作を途中で取りやめるときは、【No】を押します。ディスプレイに「セッテイヲ キャンセル シマス?」が表示されたら、【Yes】を押すと設定操作を中止できます。

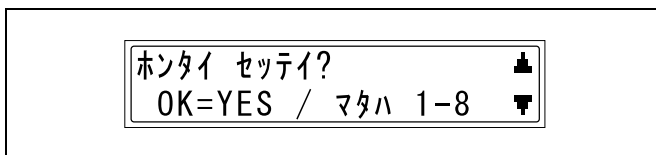
### ひとこと

本機の画面で表示できる言語は日本語のみです。「ゲンゴ センタク」メニューでは表示言語を変更できません。

## ■ オートリセット設定を変更する

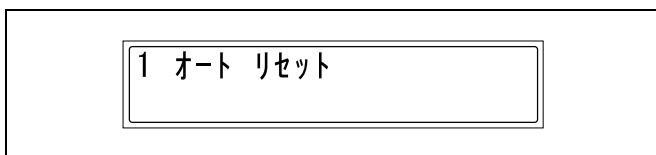
1

本体設定メニューを選択します。



2

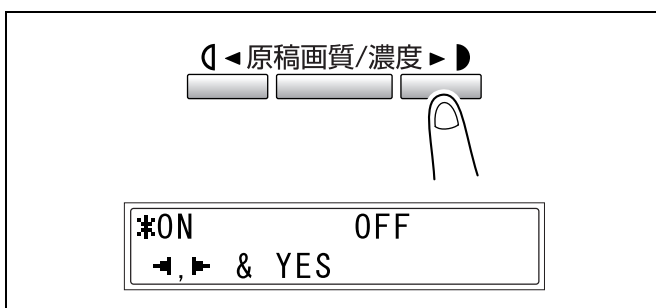
テンキーの【1】を押し、「オート リセット」を選択します。



3

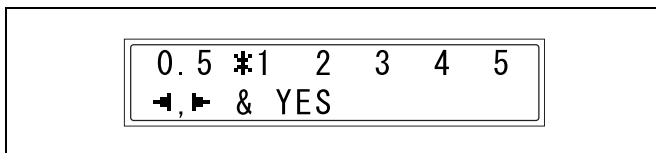
【D◀】、【▶D】で「ON」か「OFF」を選択し、【Yes】を押します。

○「OFF」を選択すると、本体設定メニューに戻ります。



4

【D◀】、【▶D】で「0.5」、「1」、「2」、「3」、「4」、「5」のいずれかを選択し、【Yes】を押します。



本体設定メニューに戻ります。



「本体設定メニューを選択する」(p. 7-4)をご覧ください。

7

## ■ 低電力（スリープ）設定を変更する

1

本体設定メニューを選択します。

ホントイ セッテイ? ▲  
OK=YES / マタハ 1-8 ▼

2

テンキーの【2】を押し、「スリープ モード」を選択します。

2 スリープ モード

3

テンキーで、スリープ機能が有効になるまでの時間を入力し、【Yes】を押します。

タイマー= 15min(1-240)  
OK=YES

本体設定メニューに戻ります。



「本体設定メニューを選択する」(p. 7-4) をご覧ください。



詳しく説明します

- タイマーは、1分～240分の間で設定します。
- 数値を訂正したい場合は、【No】を押して入力しないします。



## ■ オートパワーオフ設定を変更する

管理者保守メニューでオートパワーオフを「キヨ」に設定した場合の手順と「キツ」に設定した場合の手順を説明します。

1

本体設定メニューを選択します。

ホントイ セッテイ?    ⬆  
OK=YES / マタハ 1-8    ⬇

2

テンキーの【3】を押し、「オートパワーオフ」を選択します。

- 管理者保守メニューでオートパワーオフ設定が「キツ」に設定されているときは、手順4へ進んでください。

3 オートパワーオフ

3

【◀▶】、【▶▶】で「ON」を選択し、【Yes】を押します。

◀▶ 原稿画質/濃度 ▶▶

\*ON                  OFF  
◀▶ & YES

4

テンキーでオートパワーオフ機能が有効になるまでの時間を入力し、【Yes】を押します。

タイマー= 30min(15-240)  
OK=YES

本体設定メニューに戻ります。

### ひとこと

オートパワーオフ機能で電源がOFFになるとコピー／プリントできません。コピー／プリントをするときは電源をONにしてください。



「本体設定メニューを選択する」(p. 7-4)をご覧ください。

### 詳しく説明します

- タイマーは、15分～240分の間で設定します。
- 数値を訂正したい場合は、【No】を押して入力しなおします。

7

## ■ 原稿送り装置使用時の画質を変更する

1

本体設定メニューを選択します。

ホントイ セッテイ? ▲  
OK=YES / マタハ 1-8 ▼

2

テンキーの【4】を押し、「ガシツ (ADF)」を選択します。

4 ガシツ (ADF)

- 原稿送り装置を装着していない場合は「\*コノ キノウ ハ ツカエマセン\*」と表示されます。

\*コノ キノウ ハ ツカエマセン\*

3

【◀▶】で「モード 1」か「モード 2」を選択し、【Yes】を押します。

◀ 原稿画質/濃度 ▶

\*モード 1      モード 2  
◀▶ & YES

本体設定メニューに戻ります。

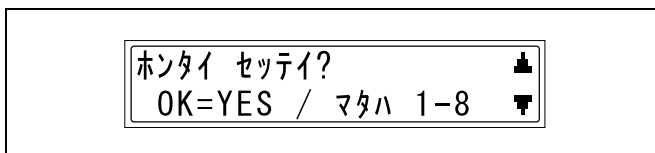


「本体設定メニューを選択する」(p. 7-4)をご覧ください。

## ■ 原稿ガラス使用時の画質を変更する

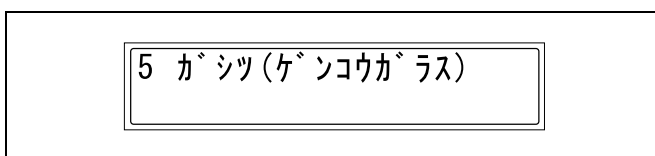
1

本体設定メニューを選択します。



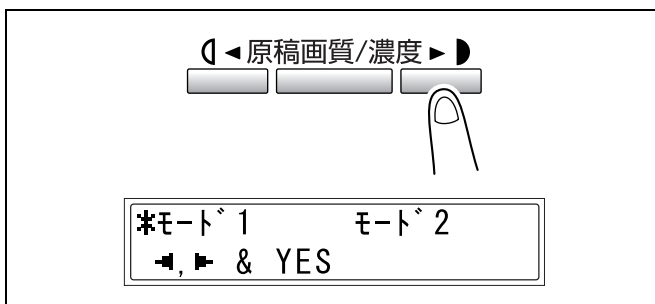
2

テンキーの【5】を押し、「ガシツ (ゲンコウガラス)」を選択します。



3

【◀▶】、【▶▶】で「モード 1」か「モード 2」を選択し、【Yes】を押します。



本体設定メニューに戻ります。



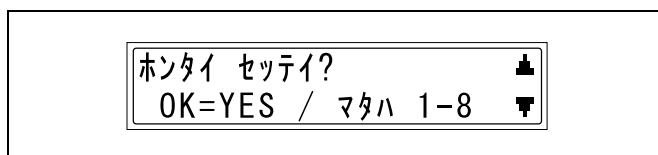
「本体設定メニューを選択する」(p. 7-4)をご覧ください。

7

## ■ 濃度を変更する

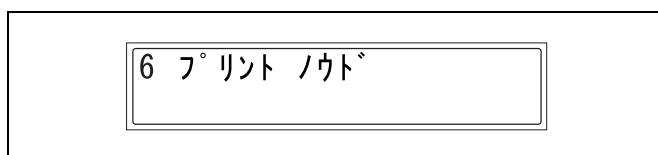
1

本体設定メニューを選択します。



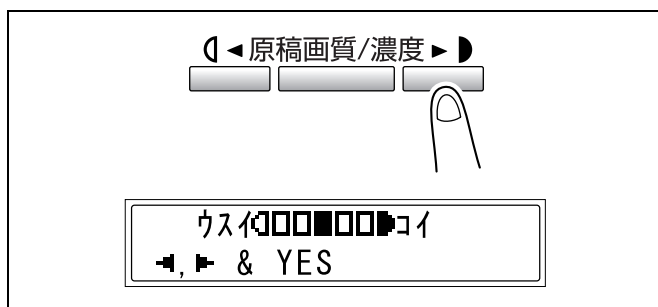
2

テンキーの【6】を押し、「プリント ノウド」を選択します。



3

【◀▶】、【▶▶】で「ウス」～「コイ」の5段階から選択し、【Yes】を押します。



本体設定メニューに戻ります。

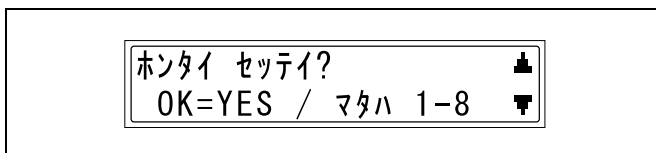


「本体設定メニューを選択する」(p. 7-4)をご覧ください。

## ■ LCD コントラストを変更する

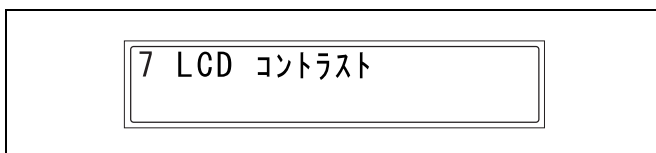
1

本体設定メニューを選択します。



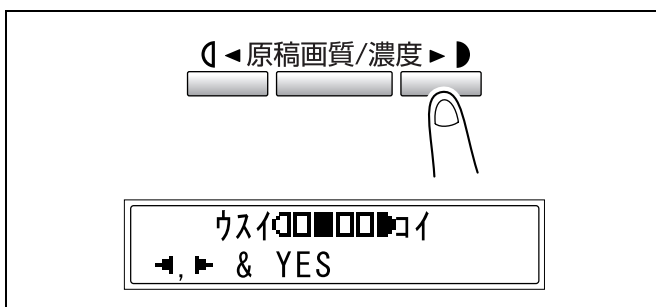
2

テンキーの【7】を押し、「LCD コントラスト」を選択します。



3

【◀▶】、【▶▶】で「ウスイ」～「コイ」の4段階から選択し、【Yes】を押します。



本体設定メニューに戻ります。



「本体設定メニューを選択する」(p. 7-4)をご覧ください。

7

## 7.3 トレイ設定

トレイ設定では各トレイに関する設定を変更できます。

＜トレイ設定の項目＞

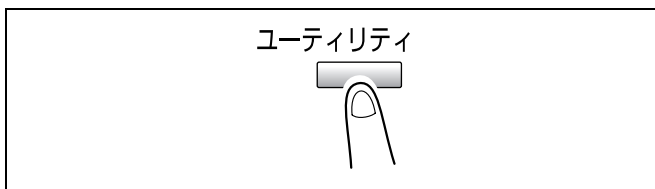
No.	トレイ セッテイ	内容
1	メトリック / インチ	各トレイごとに、用紙サイズのタイプを設定します。A4、B5などのセンチ系用紙（メトリックサイズ）か、Letterなどのインチ系用紙かを選択します。適切に設定しておかないと、用紙サイズが自動検出されません。 • 工場出荷時の設定は「メトリック」です。
2	トレイ1ヨウシ	第1トレイにセットする用紙の種類（「フツウシ」、「OHP」、「アツガミ」、「フウトウ・ハガキ」）および用紙のサイズ（「オート」、「フリーサイズ」）を設定できます。用紙サイズで「フリーサイズ」を選択した場合は、用紙サイズの数値を入力します。 • 工場出荷時の設定は「フツウシ」・「オート」です。
3	トクシュウシ	使用する用紙の種類にあわせて、各トレイをオート用紙選択／オートトレイチェンジの対象とするかしないかを設定できます。用紙の種類（「フツウシ」、「サイエイシ」、「センヨウシ」）に応じてオート用紙選択／オートトレイチェンジの組み合わせが選択できます。 特殊紙をトレイにセットした場合は、「フツウシ」、「センヨウシ」、「サイエイシ」の設定が必要です。 「フツウシ」：オート用紙選択可能、オートトレイチェンジ可能 「サイエイシ」：オート用紙選択不可、オートトレイチェンジ可能 「センヨウシ」：オート用紙選択不可、オートトレイチェンジ不可 • 工場出荷時の設定は「フツウシ」です。

## ■ トレイ設定メニューを選択する

1

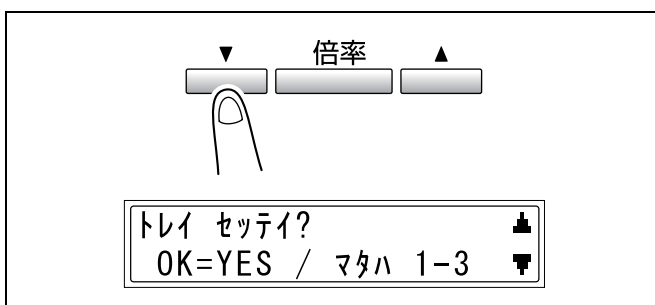
【ユーティリティ】を押します。

「ホソタイ セッテイ?」が表示されます。



2

【▼】を1回押し、「トレイ セッテイ?」を選択します。



3

テンキーの【1】～【3】を押し、トレイ設定メニューを選択します。

○ トレイ設定メニューは以下のとおりです。

- 1 メトリック / インチ
- 2 トレイ 1 ヨウシ
- 3 トクシュ

### 詳しく説明します

トレイ設定の操作を途中でやめるときは、【No】を押します。「セッテイ ヲ キャンセル シマスか?」のメッセージが表示されたら、【Yes】を押すと設定操作を中止できます。

## ■ 用紙サイズ自動検出の設定をする

1

トレイ設定メニューを選択します。

トレイ セッテイ?	▲
OK=YES / マタハ 1-3	▼

2

テンキーの【1】を押し、「メトリック/インチ」を選択します。

1 メトリック/インチ
-------------

3

【▼】、【▲】でトレイを選択し、【Yes】を押しします。

▼	倍率	▲				
<table border="1"> <tr> <td>トレイ1?</td> <td>▲</td> </tr> <tr> <td>OK=YES</td> <td>▼</td> </tr> </table>			トレイ1?	▲	OK=YES	▼
トレイ1?	▲					
OK=YES	▼					

4

【◀】、【▶】で「メトリック」か「インチ」を選択し、【Yes】を押しします。

◀	原稿画質/濃度	▶				
<table border="1"> <tr> <td>インチ</td> <td>*メトリック</td> </tr> <tr> <td>◀, ▶ &amp; YES</td> <td></td> </tr> </table>			インチ	*メトリック	◀, ▶ & YES	
インチ	*メトリック					
◀, ▶ & YES						

トレイ設定メニューに戻ります。



「トレイ設定メニューを選択する」(p. 7-13)をご覧ください。



## ■ 第1 トレイ用紙の設定をする

1

トレイ設定メニューを選択します。

トレイ セッテイ?	⬆
OK=YES / マタハ 1-3	⬇

2

テンキーの【2】を押し、「トレイ1ヨウシ」を選択します。

2 トレイ1ヨウシ
-----------

3

【◀▶】、【▶▶】で「フツウシ」、「OHP」、「アツガミ」、  
「フウトウ・ハガキ」のいずれかを選択し、【Yes】を押します。

◀▶ 原稿画質/濃度 ▶▶		
※フツウシ	OHP	アツガミ▶▶
◀▶ & YES		

4

【◀▶】、【▶▶】で「オート」か「フリーサイズ」を選択し、  
【Yes】を押します。

- 「オート」を選択すると、トレイ設定メニューに戻ります。
- 「フリーサイズ」を選択すると、サイズ設定画面が表示されます。

※オート	フリーサイズ*
◀▶ & YES	



「トレイ設定メニューを選択する」(p. 7-13)をご覧ください。

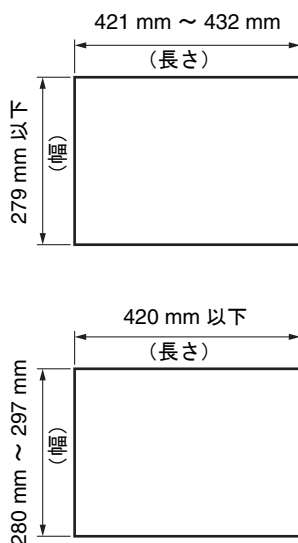
7

5

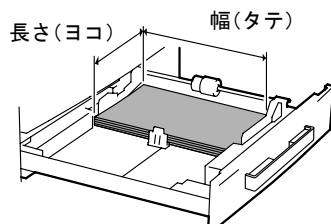
テンキーで用紙の長さ (mm) を入力し、【Yes】を押します。

ヨコ=210 (140-432) ヨコ  
OK=YES タテ 279

- 用紙の長さを 421 mm ~ 432 mm に設定する場合、幅は 279 mm 以下に設定してください。  
用紙の幅を 280 mm ~ 297 mm に設定する場合、長さは 420 mm 以下に設定してください。



- 用紙の幅および長さは、下図を参照し、間違えないように入力してください。



詳しく説明します

- 140 mm ~ 432 mm の範囲で設定します。
- 数値を訂正する場合は、【No】を押して入力なおします。

6

テンキーで用紙の幅（mm）を入力します。

紙幅=297 ( 90-297)    3桁
OK=YES                    紙幅設定

7

【Yes】を押します。

トレイ設定メニューに戻ります。



詳しく説明します

- 90 mm ～ 297 mm の範囲で設定します。
- 数値を訂正する場合は、【No】を押して入力しないします。

7

## ■ トレイの特殊紙設定をする

1

トレイ設定メニューを選択します。

トレイ セッテイ? ▲  
OK=YES / マタハ 1-3 ▼

2

テンキーの【3】を押し、「トクシュシ」を選択します。

3 トクシュシ

3

【▼】、【▲】でトレイを選択し、【Yes】を押しします。

▼ 倍率 ▲

トレイ1? ▲  
OK=YES ▼

4

【◀】、【▶】で「フツウシ」、「サイセイシ」、「センヨウシ」を選択し、【Yes】を押しします。

◀ 原稿画質/濃度 ▶

\*フツウシ サイセイシ ▶  
◀, ▶ & YES

\*センヨウシ  
◀, ▶ & YES

トレイ設定メニューに戻ります。



「トレイ設定メニューを選択する」(p. 7-13)をご覧ください。

# 7.4 ユーザー保守モード

ユーザー保守モードでは本機の機能低下を防ぐための保守動作を実行できます。

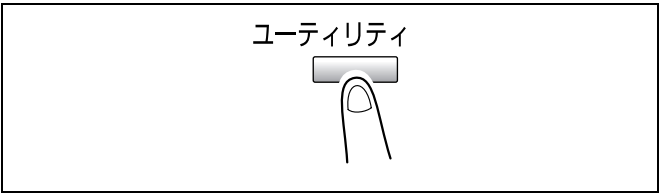
＜ユーザー保守モードの項目＞

No.	ユーザー ホシ	内容
1	ドラムドライ	室内温度が急激に変化した場合（とくに冬場の暖房使用時など）や湿度が高い場合に、本機内部の感光体の表面に結露が発生し、画像が不鮮明になってしまうことがあります。このような場合は、結露を除去するためにドラムドライ（露とり）機能を使用します。ドラムドライが終了するまで、約3分かかります。
2	トナー 枯ユ	黒い部分の多い原稿（写真など）やネガポジ反転コピーなどを多量にコピー／プリントした場合、トナーの自動供給機能が追いつかず、一時的に濃度が薄くなってしまうことがあります。このような場合に強制トナー補給機能を使うと、すぐにもとの濃度に戻すことができます。

## ■ ドラムドライ（露とり）

1

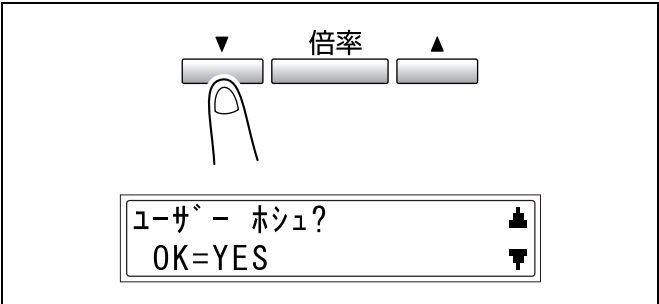
【ユーティリティ】を押します。



「ホントイ セッテイ?」が表示されます。

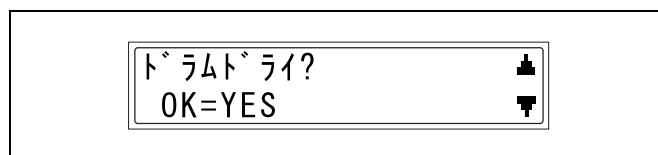
2

【▼】を2回押して「ユーザー ホシ?」を選択し、【Yes】を押します。



3

【▼】、【▲】で「ドラムドライ？」を選択し、【Yes】を押します。

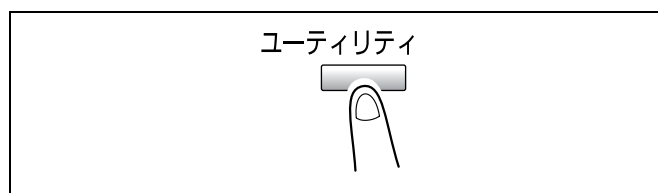


ドラムドライが開始され、基本画面に戻ります。

## ■ トナー補給

1

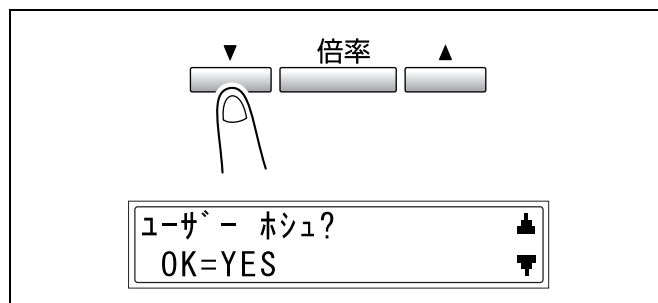
【ユーティリティ】を押します。



「ホタイ セッテイ？」が表示されます。

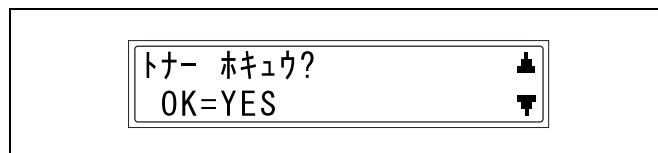
2

【▼】を2回押して「ユーザー ホシ？」を選択し、【Yes】を押します。



3

【▼】、【▲】で「トナー ホキユウ？」を選択し、【Yes】を押します。



トナー補給が開始され、基本画面に戻ります。

**必ず守ってください**

トナー補給中に電源を OFF にしたり、本機の前カバーを開けたりしないでください。

### ひとこと

トナーの濃度が十分である場合は、トナー補給は行われません。

## 7.5 管理者保守モード

管理者保守モードは、本機を管理の方がお使いになるモードです。管理者保守モードを選択した場合、管理者番号を入力する必要があります。

＜管理者保守モードの項目＞

No.	カンリシャ ホシユ	内容
1	オート パワー オフ	オートパワーオフしない設定を許可するか、禁止するかを選択できます。 <ul style="list-style-type: none"><li>工場出荷時の設定は「キヨカ」（許可する）です。</li></ul>
2	ブモン カンリ	部門ごとに管理するための設定をします。20部門まで管理できます。 <ul style="list-style-type: none"><li>部門管理をする／しない</li><li>部門番号の登録</li><li>部門番号の変更／削除</li><li>部門別トータルカウンタ表示／カウンタクリア</li><li>部門別トータルカウンタのオールクリア</li></ul>

### ひとこと

管理者番号の登録と設定については、サービス実施店にお問い合わせください。

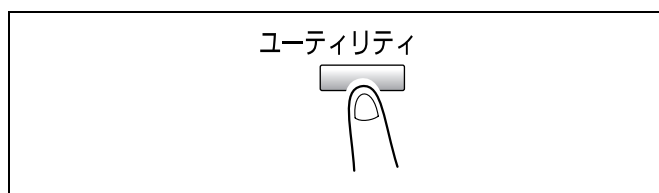


本機を管理する方は、管理者番号を忘れないでください。

### ■ 管理者保守メニューを選択する

1

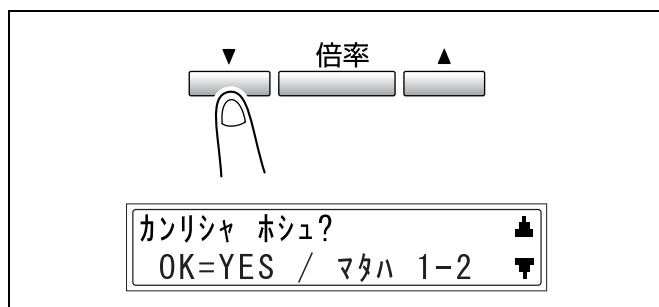
【ユーティリティ】を押します。



「ホンタイ セッテイ?」が表示されます。

2

【▼】を3回押し、「カンリシャ ホシユ?」を選択します。



3

テンキーの【1】または【2】を押し、管理者保守メニューを選択します。

○ 管理者保守メニューは以下のとおりです。

- 1 オート パワー オフ
- 2 ブモン カンリ

4

テンキーで管理者番号（6桁）を入力し【Yes】を押します。

カンリシャ No. =\*\*\*\*\*  
OK=YES

#### 詳しく説明します

- 数値を訂正するときは、【No】を押して入力しないします。
- 管理者保守モードの操作を途中でやめるときは、【No】を押します。ディスプレイに「セッテイヲ キャンセル シマスか？」が表示されたら、【Yes】を押すと設定操作を中止できます。

## ■ オートパワーオフしない設定をする

1

管理者保守メニューを選択します。

カンリシャ ホシユ? ▲  
OK=YES / マタハ 1-2 ▼



「管理者保守メニューを選択する」(p. 7-21)をご覧ください。

2

テンキーの【1】を押し、「オートパワーオフ」を選択します。

3

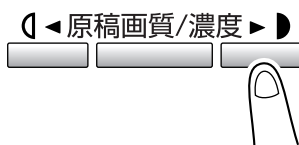
テンキーで管理者番号（6桁）を入力し【Yes】を押します。

「オートパワーオフ」が表示されます。

1 オート パワー オフ

4

【◀▶】、【\*】で「キョカ」を選択し、【Yes】を押します。



キンシ \*キョカ  
◀, ▶ & YES

管理者保守メニューに戻ります。

#### ひとこと

オートパワーオフメニューを「キンシ」に設定するとオートパワーオフ機能が有効になります。電源がOFFになるとコピー／プリントできません。コピー／プリントをするときは、電源をONにしてください。



5

本体設定メニューを選択します。

ホンタイ セッテイ?    ⬆  
OK=YES / マタハ 1-8    ⬇



「本体設定メニューを選択する」(p. 7-4) ご覧ください。

6

テンキーの【3】を押し、「オートパワーオフ」を選択します。

3 オート パワー オフ

7

【◀▶】、【▶▶】で「OFF」を選択し、【Yes】を押します。

ON                    \*OFF  
◀, ▶ & YES

本体設定メニューに戻ります。

7

## ■ ID（部門）管理の設定をする

1

管理者保守メニューを選択します。

カンリシャ ホシュ?  
OK=YES / マタハ 1-2

2

テンキーの【2】を押し、「フモン カリ」を選択します。

3

テンキーで管理者番号（6桁）を入力し【Yes】を押します。

「フモン カリ」が表示されます。

2 フモン カリ

4

【▼】、【▲】で「フモン カリ モード？」を選択し、【Yes】を押します。

▼ 倍率 ▲  
フモン カリ モード?  
OK=YES

5

【◀】、【▶】で「ON」か「OFF」を選択し、【Yes】を押します。

◀ 原稿画質/濃度 ▶  
\*ON OFF  
◀, ▶ & YES

「フモン カリ モード？」に戻ります。



「管理者保守メニューを選択する」(p. 7-21)をご覧ください。

## ■ ID（部門）を登録する

1

管理者保守メニューを選択します。

2

テンキーの【2】を押し、「ブモン カリ」を選択します。

3

テンキーで管理者番号（6桁）を入力し【Yes】を押し  
ます。

「ブモン カリ」が表示されます。

4

【▼】、【▲】で「ID トウロク?」を選択し、【Yes】を押し  
ます。

5

テンキーで、登録する ID（部門）番号を入力し、【Yes】  
を押します。

ID（部門）番号が登録されると、次の ID（部門）番号  
を入力する画面が表示され、続けて登録できます。



「管理者保守メニューを選択  
する」（p. 7-21）をご覧く  
ださい。



### 詳しく説明します

- ID（部門）番号は3桁で  
設定します。
- 数値を訂正する場合は、  
【No】を押してテンキー  
で入力しなおします。

7

6

ID（部門）番号の登録が終了したら、【No】を押します。

ID=---  
(トウロクカンリョウ=NO)

「ID トウロク？」に戻ります。

## ■ ID（部門）を変更／削除する

1

管理者保守メニューを選択します。

カンリシャ ホシユ?  
OK=YES / マタハ 1-2

2

テンキーの【2】を押し、「ブモン カリ」を選択します。

3

テンキーで管理者番号（6桁）を入力し【Yes】を押します。

「ブモン カリ」が表示されます。

2 ブモン カリ

4

【▼】、【▲】で「ID トウロク？」を選択し、【Yes】を押します。

▼ 倍率 ▲

ID トウロク?  
OK=YES

### ひとこと

ID（部門）番号の登録が20部門をこえた場合、「20ブモンヲ コエマシタ」のメッセージが表示されます。



「管理者保守メニューを選択する」（p. 7-21）をご覧ください。

5

テンキーで変更／削除したいID（部門）番号を入力し、【Yes】を押します。

ID=123  
OK=YES

保持するかどうかの確認メッセージが表示されます。

6

ID（部門）番号を変更／削除する場合は【No】を押します。

トウロクスミデス！ ホジシマスカ？  
OK=YES（ヘンシュウ/ケス=NO）

7

【◀▶】、【▶▶】で「ヘンシュウ」か「ショウキョ」を選択し、【Yes】を押します。

- 「ヘンシュウ」を選択すると、ID（部門）番号の編集画面が表示されます。
- 「ショウキョ」を選択すると、選択したID（部門）番号を消去します。（「ID xxx ショウキョ シマシ」が表示されます。）続けて変更／削除できます。（手順5へ進んでください）

◀ 原稿画質/濃度 ▶▶

\*ヘンシュウ

ショウキョ

◀▶ & YES

8

テンキーで数字を入力（上書き）します。

ID=223  
OK=YES      (ケス=NO)

詳しく説明します

- ID（部門）番号は3桁で設定します。
- 数値を訂正する場合は、【No】を押して入力をお願いします。

詳しく説明します

現在の設定を保持する場合は【Yes】を押します。

7

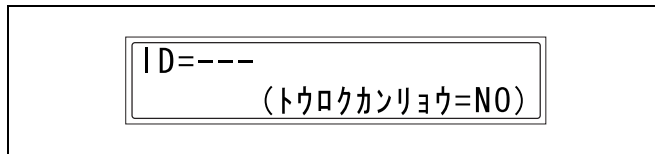
9

【Yes】を押します。

「ID xxx ヘンシュ ショウ」と表示した後、次の ID（部門）番号を入力する画面を表示し、続けて変更／削除できます。

10

ID（部門）番号の変更／削除が終了したら、【No】を押します。

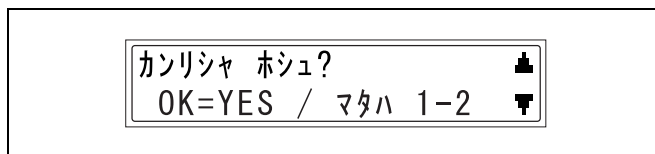


「ID トウロク？」に戻ります。

## ■ ID（部門）別カウンタ表示／カウンタクリア

1

管理者保守メニューを選択します。



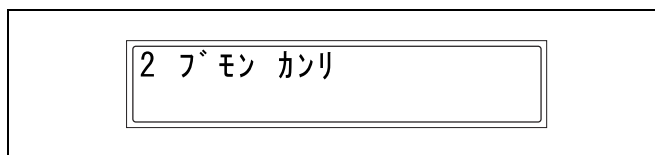
2

テンキーの【2】を押し、「ブモン カリ」を選択します。

3

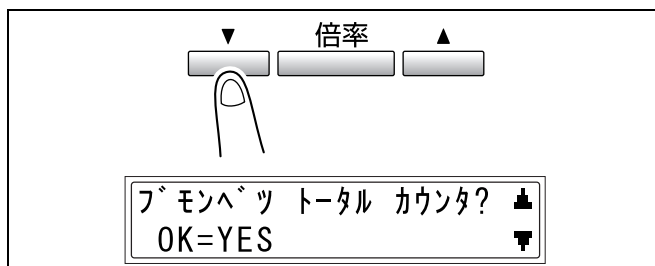
テンキーで管理者番号（6桁）を入力し【Yes】を押します。

「ブモン カリ」が表示されます。



4

【▼】、【▲】で「ブモンベツ トータル カウタ？」を選択し、【Yes】を押します。



### 詳しく説明します

入力した ID（部門）番号がすでに登録されている場合は、「ステータス 履歴」が表示されます。【No】を押して値を消去し、別の ID（部門）番号を入力しなおしてください。

### 参照

「管理者保守メニューを選択する」(p. 7-21) をご覧ください。

5

【◀】、【▶】で「ヒョウジ」を選択し、【Yes】を押します。

◀ 原稿画質/濃度 ▶

\*ヒョウジ      ショウキョ

◀, ▶ & YES

6

【▼】、【▲】でカウンタを確認したいID（部門）番号を選択し、【Yes】を押します。

ID=---

ID=123  
OK=YES

選択したID（部門）のトータルカウンタが表示されます。

7

カウンタをクリアする場合は、【No】を押します。

トータル プリント=222222  
シュウリョウ=YES（クリア=NO）

8

カウンタをクリア後、【Yes】を押します。

トータル プリント=000000  
シュウリョウ=YES

ID（部門）カウンタメニューに戻ります。

### ひとこと

テンキーでID（部門）番号を入力することもできます。

### 詳しく説明します

ID（部門）別カウンタをクリアする場合は、カウンタをクリアしたいID（部門）番号を表示させます。

### 詳しく説明します

カウンタをクリアしないで終了する場合は、【Yes】を押します。ID（部門）カウンタメニューに戻ります。

### 詳しく説明します

カウンタクリア直後、カウンタ値を元に戻したい場合は、【割込み】を押します。

## ■ ID（部門）別トータルカウンタのオールクリア

1

管理者保守メニューを選択します。

カンリシャ ホシユ? ▲  
OK=YES / マタハ 1-2 ▼

2

テンキーの【2】を押し、「ブモン カリ」を選択します。

3

テンキーで管理者番号（6桁）を入力し【Yes】を押します。

「ブモン カリ」が表示されます。

2 ブモン カリ

4

【▼】、【▲】で「ブモンベツ トータル カウンタ?」を選択し、【Yes】を押します。



ブモンベツ トータル カウンタ? ▲  
OK=YES ▼

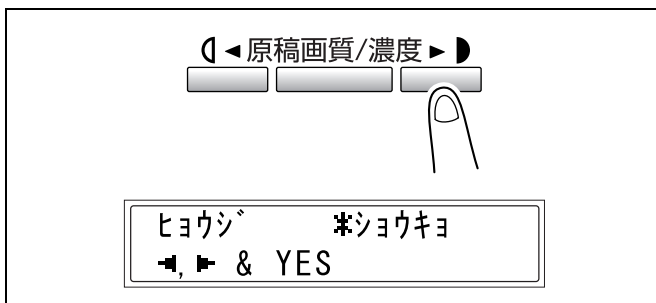


「管理者保守メニューを選択する」(p. 7-21)をご覧ください。



5

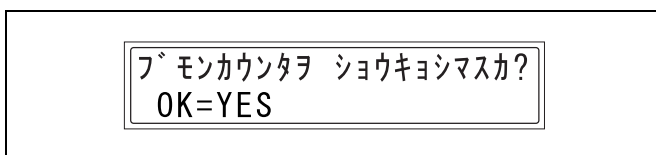
【◀▶】、【▶▶】で「ショウキヨ」を選択し、【Yes】を押します。



消去を確認するメッセージが表示されます。

6

【Yes】を押します。



「ブ モン カンタ ショウキヨ シマシタ」と表示された後、ID（部門）カウンタメニューに戻ります。

7

## 7.6 コピー設定

電源を入れたときまたは【リセット】を押したときの設定を初期モードと呼びます。コピー設定では、各種コピー機能の初期モードの設定を変更できます。

<コピー設定の項目（コピーセッティ1）>

No.	コピーセッティ 1	内容
1	オート倍率	オート倍率選択時、優先的に選択されるトレイを設定できます。 • 工場出荷時の設定は「1ST」です。
2	オート濃度 / シャシ	電源 ON 時やリセット時の濃度を「モ」、 「シャシ」、「モ / シャ」の中から設定できます。 • 工場出荷時の設定は「モ / シャ」です。
3	オート濃度レベル (オート)	オート濃度モード時の濃度レベル設定を 「ウス」～「コイ」の3段階から設定できます。 • 工場出荷時の設定は「コイ」です。
4	濃度レベル (マニュアル)	マニュアル濃度モード時の濃度レベル設定を 「ウス」～「コイ」の9段階から設定できます。 • 工場出荷時の設定は「コイ」です。
5	ブックジョー	ブック原稿を読み込む場合に、最初に読み込むページが左ページ（左とじ）か右ページ（右とじ）かを設定できます。 • 工場出荷時の設定は「右とじ」です。
6	ジョー	用紙にとじ代（余白）つくってコピーするときのとじ代の幅を 0 mm ～ 20 mm の範囲（1 mm 単位）で設定できます。 • 工場出荷時の設定は 10 mm です。
7	ワキ / オリメシ セッティ	枠／折目消しコピー時、左、上、枠のイレース幅をそれぞれ 5 mm ～ 20 mm の範囲（1 mm 単位）で設定できます。 • 工場出荷時の設定は、「ワキ」、「ウエ」、「ワキ」イレースともに 10 mm です。
8	ジョーサイズ	用紙サイズが自動検出されない小さな原稿をセットした場合にコピー禁止するか許可するかを設定できます。 • 工場出荷時の設定は「許可」です。

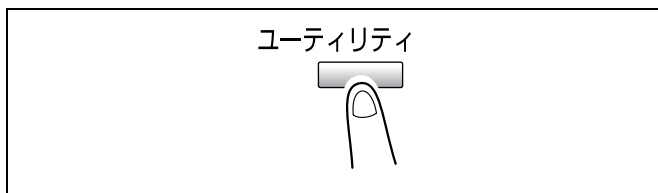
## &lt;コピー設定の項目（コピー設定2）&gt;

No.	コピー セット 2	内容								
1	エーセン コンサイグンコウ	電源 ON 時やりセット時に混載原稿モードを選択するかどうかを設定できます。 オプションの原稿送り装置を装着しているときに設定できます。 • 工場出荷時の設定は「OFF」です。								
2	エーセン APS/AMS	電源 ON 時やりセット時にオート用紙、オート倍率を選択するかどうかを設定できます。 • 工場出荷時の設定は「APS」（オート用紙）です。								
3	エーセン ソート	電源 ON 時やりセット時に優先される仕上げモードを「OFF」、「ソート」、「グループ」の中から設定できます。 オプションの原稿送り装置を装着しているときに設定できます。 • 工場出荷時の設定は「OFF」です。								
4	4IN1 ページ ジョ	4in1 モードでのコピー順序を以下の 2 つから設定できます。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"><div style="text-align: center;"><p>パターン 1</p><table border="1" style="border-collapse: collapse; width: 60px; height: 60px;"><tr><td style="padding: 5px;">1</td><td style="padding: 5px;">2</td></tr><tr><td style="padding: 5px;">3</td><td style="padding: 5px;">4</td></tr></table></div><div style="text-align: center;"><p>パターン 2</p><table border="1" style="border-collapse: collapse; width: 60px; height: 60px;"><tr><td style="padding: 5px;">1</td><td style="padding: 5px;">3</td></tr><tr><td style="padding: 5px;">2</td><td style="padding: 5px;">4</td></tr></table></div></div> • 工場出荷時の設定は「パターン 1」です。	1	2	3	4	1	3	2	4
1	2									
3	4									
1	3									
2	4									
5	カイテン ハイシ	交互排紙の条件が満たされている場合に、交互排紙するかしないかを設定できます。 • 工場出荷時の設定は「ON」です。								

## ■ コピー設定 1 メニューを選択する

1

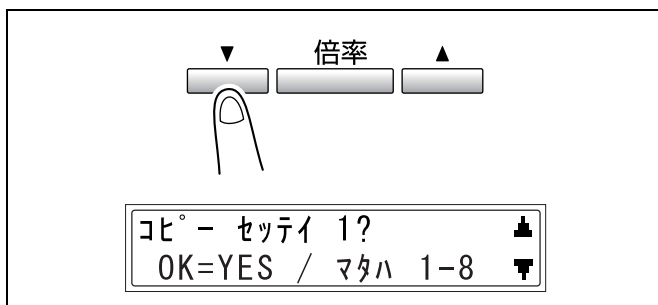
【ユーティリティ】を押します。



「ホタイ セッテイ?」が表示されます。

2

【▼】を4回押し、「コピー セッテイ 1?」を選択します。



3

テンキーの【1】～【8】を押し、設定メニューから選択します。

○ コピー設定 1 メニューは以下のとおりです。

- 1 ユーセン ヨウシ
- 2 ユーセン ノウト / シャシ
- 3 ノウト レベル (オート)
- 4 ノウト レベル (マニュアル)
- 5 ブック トジイ
- 6 トジシロ セッテイ
- 7 ワク / オリメケン セッテイ
- 8 ショウサイズ ゲンコウ

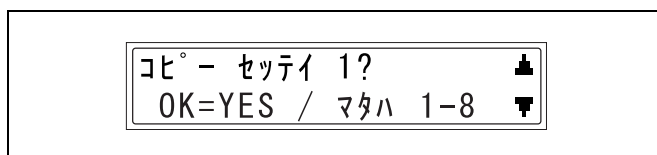
詳しく説明します

コピー設定 1 モードの操作を途中でやめるときは、【No】を押します。ディスプレイに「セッテイヲキャンセルしますか?」が表示されたら、【Yes】を押します。

## ■ 優先用紙の設定をする

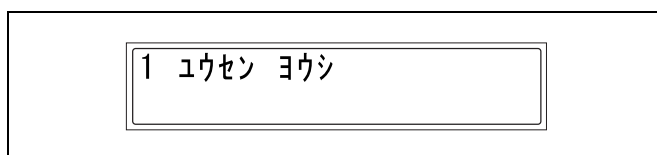
1

コピー設定 1 メニューを選択します。



2

テンキーの【1】を押し、「ユウセン ヨウシ」を選択します。

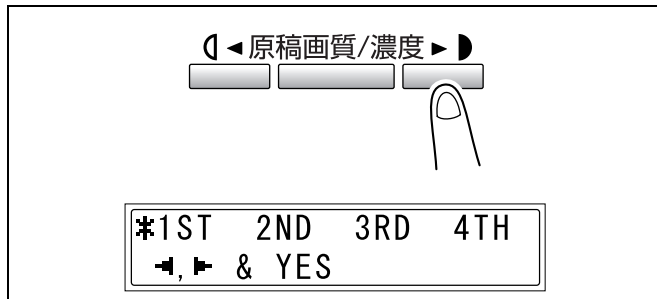


3

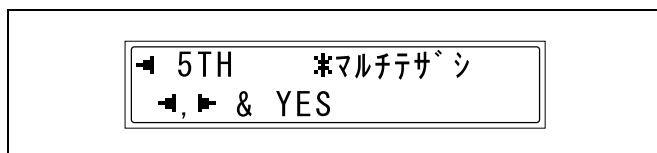
【◀▶】、【▶▶】で用紙サイズまたはトレイを選択し、【Yes】を押します。

○ 以下のトレイから選択します。

第 1 トレイ、第 2 トレイ、第 3 トレイ、第 4 トレイ、第 5 トレイ、マルチ手差しトレイ



○ マルチ手差しトレイを装着しているときは下の画面が表示されます。



コピー設定 1 メニューに戻ります。



「コピー設定 1 メニューを選択する」(p. 7-34)をご覧ください。

### ひとこと

優先用紙に設定したトレイと同じサイズ、種類の用紙をセットしたトレイが複数ある場合に、これらのトレイの用紙をすべて使いきると、優先用紙設定をしていないトレイに用紙を補給するようメッセージが表示されることがあります。そのときは画面の表示にしたがって用紙を補給してください。

7

## ■ 優先濃度の設定をする

1

コピー設定 1 メニューを選択します。

コピー セッテイ 1? ▲  
OK=YES / マタハ 1-8 ▼

2

テンキーの【2】を押し、「ユウセン ノウト / シャシン」を選択します。

2 ユウセン ノウト / シャシン

3

【◀▶】、【▶▶】で「モジ」、「シャシン」、「モ/シャ」のいずれかを選択し、【Yes】を押します。

◀▶ 原稿画質/濃度 ▶▶

モジ シャシン \*モ/シャ  
◀▶ & YES

- 「モジ」または「モ/シャ」を選択した場合は、「オート」、「マニュアル」選択画面が表示されます。【◀▶】、【▶▶】で「オート」または「マニュアル」を選択し、【Yes】を押します。

\*オート マニュアル  
◀▶ & YES

コピー設定 1 メニューに戻ります。

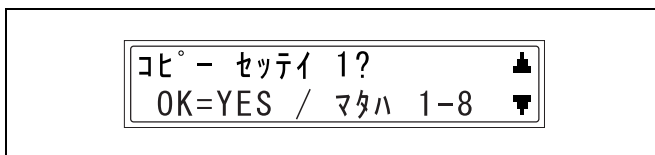


「コピー設定 1 メニューを選択する」(p. 7-34)をご覧ください。

## ■ 優先濃度レベル（オート）の設定をする

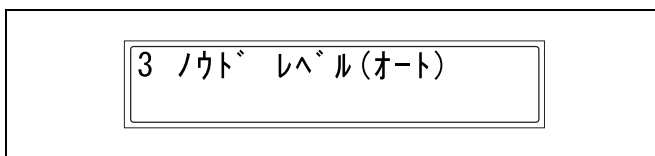
1

コピー設定 1 メニューを選択します。



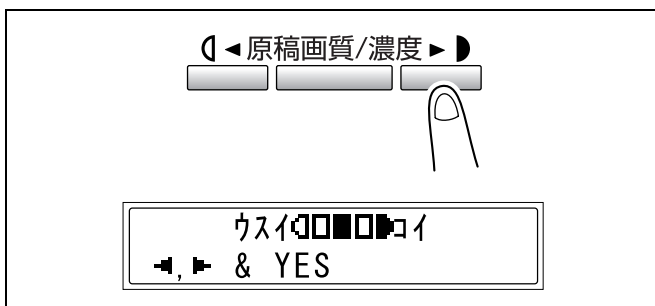
2

テンキーの【3】を押し、「ノット レベル（オート）」を選択します。



3

【◀▶】、【▶▶】で「ウス」～「コイ」の3段階から選択し、【Yes】を押します。



コピー設定 1 メニューに戻ります。



「コピー設定 1 メニューを選択する」(p. 7-34)をご覧ください。

7

## ■ 優先濃度レベル（マニュアル）の設定をする

1

コピー設定 1 メニューを選択します。

コピー セッテイ 1? ▲  
OK=YES / マタハ 1-8 ▼

2

テンキーの【4】を押し、「ノウト レベル（マニュアル）」を選択します。

4 ノウト レベル（マニュアル）

3

【◀▶】、【▶▶】で「ウスイ」～「コイ」の9段階から選択し、【Yes】を押します。

◀ 原稿画質/濃度 ▶

ウスイ ◻◻◻◻◻◻◻◻◻◻ ◻◻◻◻◻◻◻◻◻◻ コイ  
◀▶ & YES

コピー設定 1 メニューに戻ります。



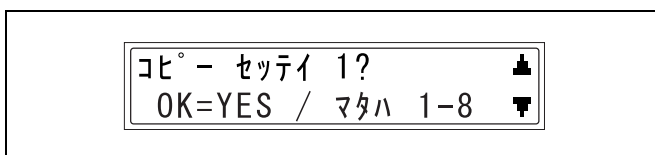
「コピー設定 1 メニューを選択する」（p. 7-34）をご覧ください。



## ■ ブックとじ位置を選択する

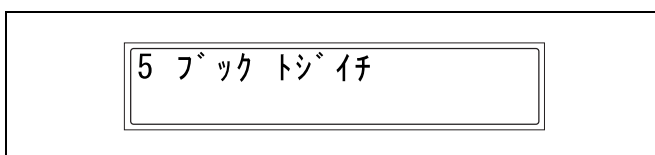
1

コピー設定 1 メニューを選択します。



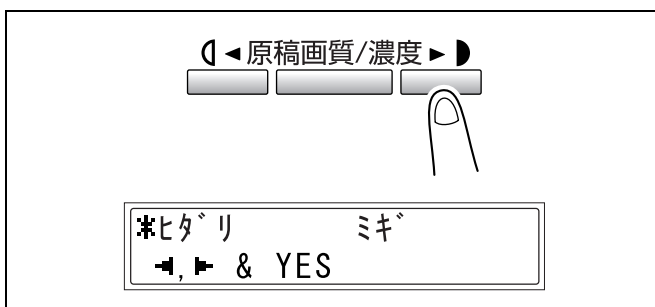
2

テンキーの【5】を押し、「ブック トジ イチ」を選択します。



3

【◀▶】、【▶▶】で「ヒタリ」か「ミギ」を選択し、【Yes】を押します。



コピー設定 1 メニューに戻ります。



「コピー設定 1 メニューを選択する」(p. 7-34)をご覧ください。

7

## ■ とじ代幅の調整をする

1

コピー設定 1 メニューを選択します。

コピー セッテイ 1? ▲  
OK=YES / マタハ 1-8 ▼

2

テンキーの【6】を押し、「トジシロ セッテイ」を選択します。

6 トジシロ セッテイ

3

テンキーでとじ代幅を入力し、【Yes】を押します。

ハハ = 10mm (0-20)  
OK=YES

コピー設定 1 メニューに戻ります。



「コピー設定 1 メニューを選択する」(p. 7-34)をご覧ください。



詳しく説明します

- とじ代幅は 0 mm ~ 20 mm の範囲で設定します。
- 数値を訂正したい場合は、【No】を押し、テンキーで入力しなおします。

## ■ イレース幅の調整をする

1

コピー設定 1 メニューを選択します。

コピー セッテイ 1?    ⬆  
 OK=YES / マタハ 1-8    ⬇

2

テンキーの【7】を押し、「ワク/オリメキシ セッテイ」を選択します。

7 ワク/オリメキシ セッテイ

3

【◀▶】、【▶▶】で「ヒタリ」、「ウエ」、「ワク」のいずれかを選択し、【Yes】を押します。

◀▶ 原稿画質/濃度 ▶▶  

\*ヒタリ    ウエ    ワク  
 ◀▶ & YES

4

テンキーでイレース幅を入力し、【Yes】を押します。

ハハ° = 10mm (5-20)  
 OK=YES

コピー設定 1 メニューに戻ります。



「コピー設定 1 メニューを選択する」(p. 7-34)をご覧ください。



詳しく説明します

- イレース幅は 5 mm ～ 20 mm の範囲で設定します。
- 数値を訂正したい場合は、【No】を押し、テンキーで入力しなおします。

7

## ■ 小サイズ原稿の設定をする

1

コピー設定 1 メニューを選択します。

コピー セッテイ 1?    ▲  
OK=YES / マタハ 1-8    ▼

2

テンキーの【8】を押し、「ショウサイズ ゲンコウ」を選択します。

8 ショウサイズ ゲンコウ

3

【◀】、【▶】で「キンシ」または「キョカ」を選択し、【Yes】を押します。

○「キョカ」を選択した場合は、検出不可能な原稿をセットしたときに、優先用紙を使用してコピーされます。

◀ 原稿画質/濃度 ▶

\*キンシ                      キョカ  
◀, ▶ & YES

コピー設定 1 メニューに戻ります。



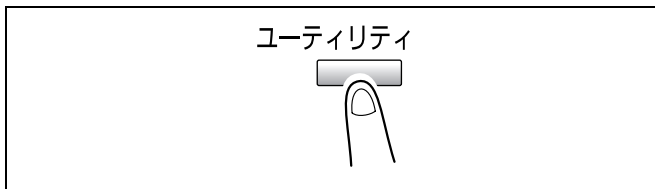
「コピー設定 1 メニューを選択する」(p. 7-34)をご覧ください。

## ■ コピー設定 2 メニューを選択する

1

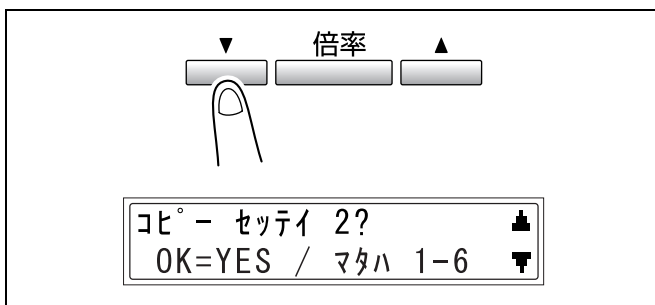
【ユーティリティ】を押します。

「ホノタイ セッテイ?」が表示されます。



2

【▼】を5回押し、「コピー セッテイ 2?」を選択します。



3

テンキーの【1】～【5】を押し、設定メニューから選択します。

○ コピー設定 2 メニューは以下のとおりです。

- 1 ユーセン コンサイゲンコウ
- 2 ユーセン APS/AMS
- 3 ユーセン ソート
- 4 4IN1 ページジューン
- 5 カイテン ハイシ

### 詳しく説明します

コピー設定 2 モードの操作を途中でやめるときは、【No】を押します。ディスプレイに「セッテイヲキャンセルマスカ?」が表示されたら、【Yes】を押します。

## ■ 優先混載原稿の設定をする

1

コピー設定2メニューを選択します。

コピー セッテイ 2? ▲  
OK=YES / マタハ 1-6 ▼

2

テンキーの【1】を押し、「ユウセン コンサイゲンコウ」を選択します。

1 ユウセン コンサイゲンコウ

3

【◀▶】で「ON」か「OFF」を選択し、【Yes】を押します。

◀ 原稿画質/濃度 ▶

ON \*OFF  
◀▶ & YES

コピー設定2メニューに戻ります。

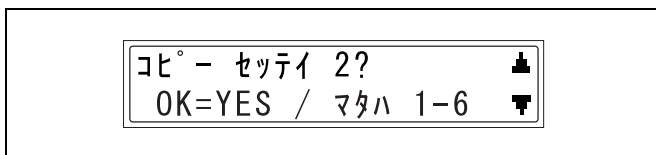


「コピー設定2メニューを選択する」(p. 7-43)をご覧ください。

## ■ 優先自動選択の設定をする

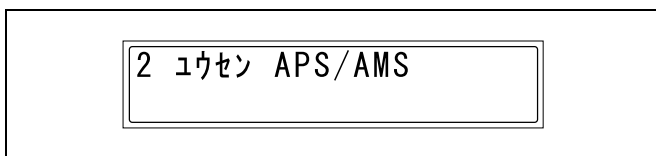
1

コピー設定 2 メニューを選択します。



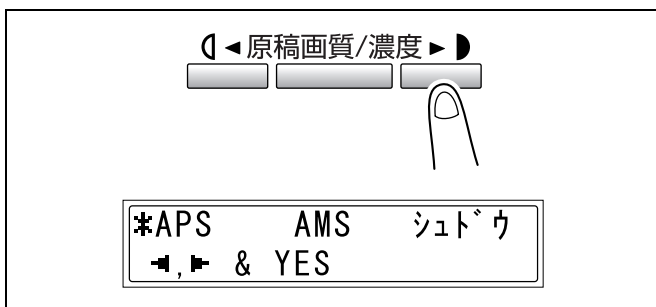
2

テンキーの【2】を押し、「ユウセン APS/AMS」を選択します。



3

【◀▶】、【▶▶】で「APS」（オート用紙）、「AMS」（オート倍率）、「シュドゥ」のいずれかを選択し、【Yes】を押します。



コピー設定 2 メニューに戻ります。



「コピー設定 2 メニューを選択する」(p. 7-43) をご覧ください。

7

## ■ 優先ソートの設定をする

1

コピー設定2メニューを選択します。

コピー セッテイ 2? ▲  
OK=YES / マタハ 1-6 ▼

2

テンキーの【3】を押し、「ユウセン ソート」を選択します。

3 ユウセン ソート

3

【◀▶】、【▶▶】で「OFF」、「ソート」、「グループ」のいずれかを選択し、【Yes】を押します。

◀ 原稿画質/濃度 ▶▶

\*OFF ソート グループ  
◀▶ & YES

コピー設定2メニューに戻ります。



「コピー設定2メニューを選択する」(p. 7-43)をご覧ください。



## ■ 4in1 ページ順の設定をする

1

コピー設定 2 メニューを選択します。

コピー セッテイ 2?    ⬆  
OK=YES / マタハ 1-6    ⬇

2

テンキーの【4】を押し、「4IN1 ページジューン」を選択します。

4 4IN1 ページジューン

3

【◀▶】、【▶▶】で「パターン1」か「パターン2」を選択し、【Yes】を押します。

◀▶ 原稿画質/濃度 ▶▶

\*パターン1    パターン2  
◀▶ & YES

パターン 1

1	2
3	4

パターン 2

1	3
2	4

コピー設定 2 メニューに戻ります。



「コピー設定 2 メニューを選択する」(p. 7-43)をご覧ください。

7

## ■ 交互排紙の設定をする

1

コピー設定2メニューを選択します。

コピー セットイ 2?    ▲  
OK=YES / マタハ 1-6    ▼

2

テンキーの【5】を押し、「カテン ハイシ」を選択します。

5 カテン ハイシ

3

【◀▶】、【▶▶】で「ON」か「OFF」を選択し、【Yes】を押します。

◀ 原稿画質/濃度 ▶▶

\*ON      OFF  
◀▶ & YES

コピー設定2メニューに戻ります。



「コピー設定2メニューを選択する」(p. 7-43)をご覧ください。

# 第 8 章

## こんなメッセージが表示されたら

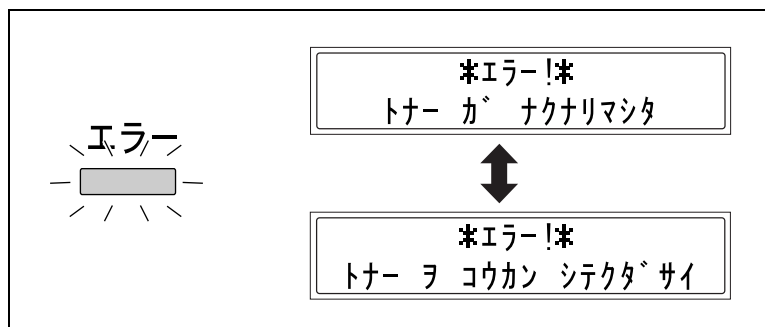
---

トナー交換などのメッセージが表示されたときの処置のしかたについて説明します。

8.1 「トナー ガ ナクナリマシタ」と表示されたら .....	8-2
8.2 「ヨウシ ガ ツマリマシタ」が表示されたら .....	8-5
8.3 「ゲンコウ ガ ツマリマシタ」が表示されたら .....	8-14
8.4 主なメッセージと処置のしかた .....	8-17

## 8.1 「トナー ガ ナクナリマシタ」と表示されたら

トナーが残り少なくなると以下のメッセージが表示されます。メッセージが表示されたら、新しいトナーボトルと交換してください。

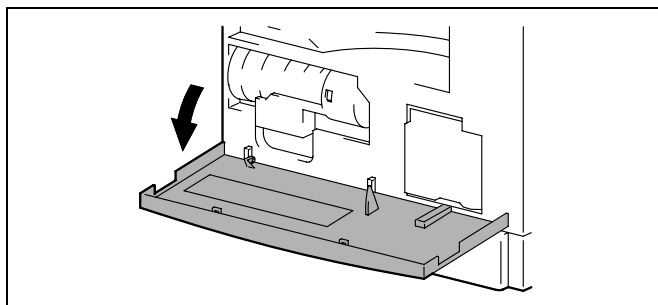


トナーボトルは、必ず本機専用のトナーボトルを使用してください。それ以外のトナーボトルを使用すると故障の原因となります。詳しくはサービス実施店にお尋ねください。

### ■ トナー補給のしかた

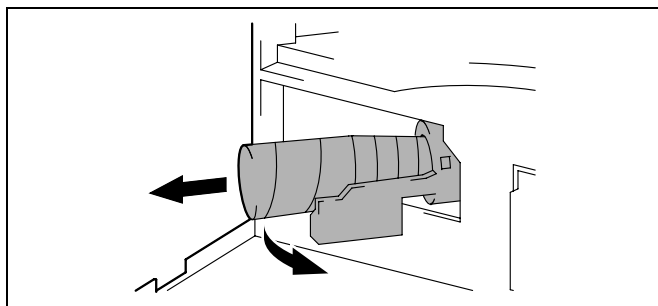
1

前カバーを開きます。



2

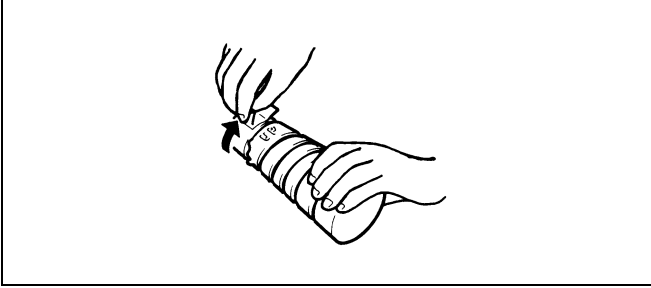
トナーボトルホルダーを手前に開き、トナーボトルを引き抜きます。



使用済みのトナーボトルはサービス実施店が回収します。捨てずに個装箱にいれて保管してください。

3

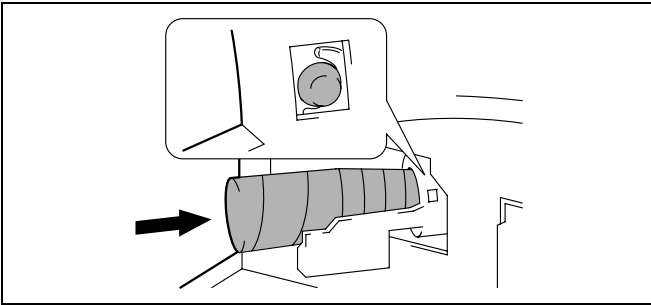
新しいトナーボトルのシール部を上に向けてから、手前方向にゆっくりシールをはがします。



4

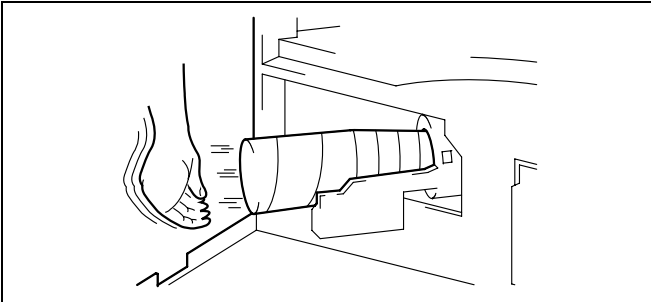
トナーボトルの UP 表示部を上に向けて、トナーボトルホルダーに差し込みます。

- 下図のように、トナーボトルの凸部をトナーボトルホルダーの凹部にしっかり差し込んでください。



5

トナーボトルの底を軽く 3 回～4 回たたきます。

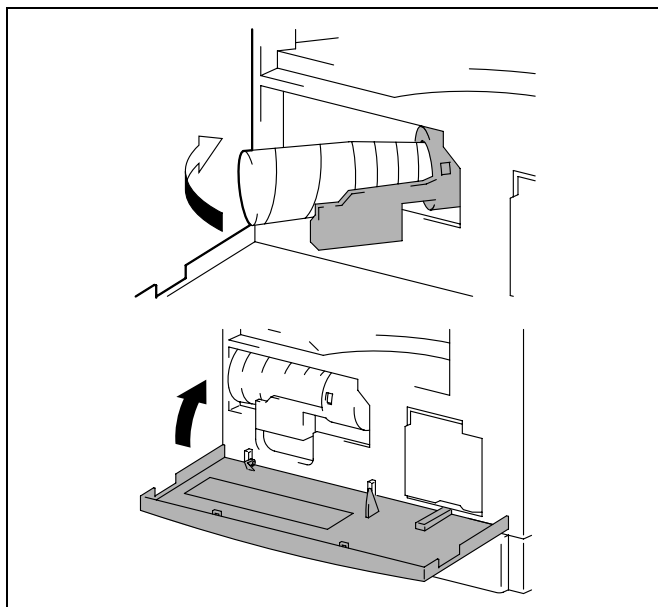


必ず守ってください

シールをはがすときは、トナーが吹き出るおそれがあるので、ゆっくりはがしてください。

6

トナーボトルホルダーを閉じ、前カバーを閉じます。



### ひとこと

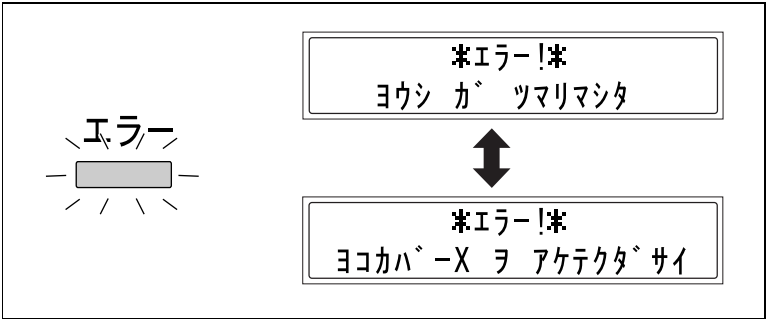
前カバーを閉じると、自動的にトナー補給を開始します。

### 詳しく説明します

トナーボトルの交換直後でコピーが薄い場合は、ユーティリティモードで“トナー補給”を行ってください。詳しくは p. 7-20 をご覧ください。

## 8.2 「ヨウシ ガ ツマリマシタ」が表示されたら

コピー／プリント中に紙づまりがおこった場合、以下のメッセージを表示し、コピー／プリントは停止されます。



紙づまりの場所を示すメッセージが、ディスプレイ下行に表示されます。

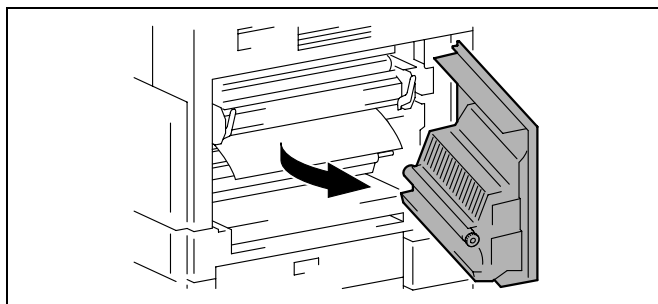
メッセージ	紙づまりの場所
ヨコハバ - ヲ アケテクダサイ	• マルチ手差しトレイ (p. 8-12) • 本機内部、第 1 トレイ (p. 8-6)
ヨコハバ - 2 ヲ アケテクダサイ	第 2 トレイ (p. 8-10)
ヨコハバ - 3 ヲ アケテクダサイ	第 3 トレイ (p. 8-10)
ヨコハバ - 4 ヲ アケテクダサイ	第 4 トレイ (p. 8-10)
ヨコハバ - 5 ヲ アケテクダサイ	第 5 トレイ (p. 8-10)

以下の手順にしたがって、紙づまりした用紙をすべて取り除いてください。

## ■ 本機内部／第1トレイでの紙づまり処理のしかた

1

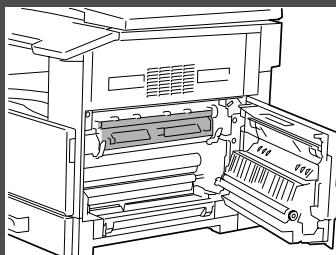
本機の横カバーを開きます。



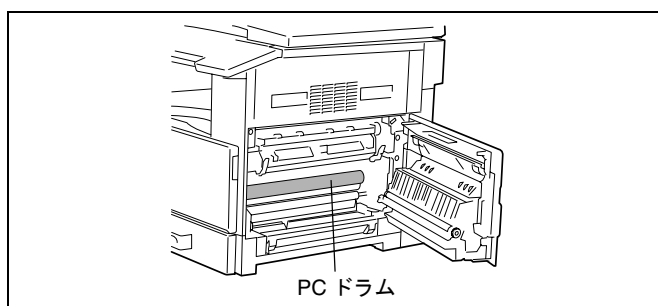
### ⚠ 注意



定着部周辺は高温になっています。  
やけどの原因となりますので、手順内で説明している部分以外には手を触れないでください。高温部分に手などが触れてしまった場合は、すぐに冷たい水で冷やし、医師にご相談ください。



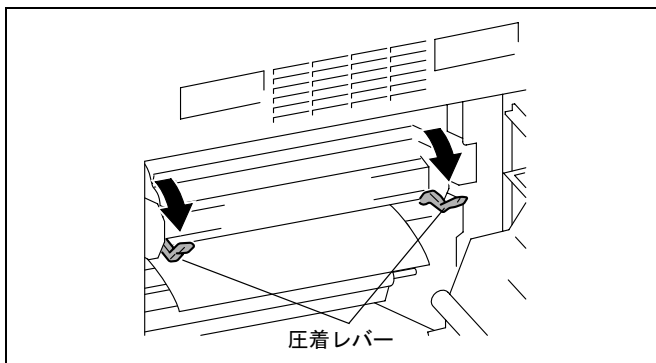
- PC ドラムの表面に触れると、コピー画質が低下する可能性があります。  
PC ドラムの表面に触れないように注意してください。





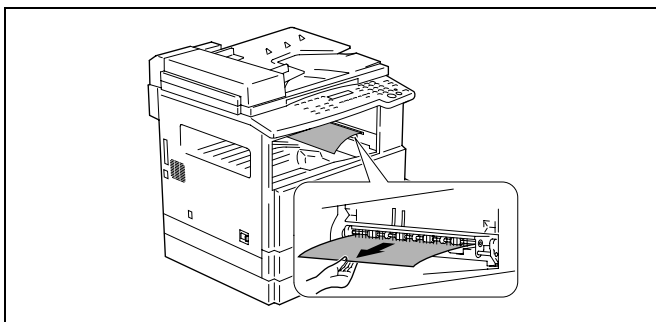
2

定着部の圧着レバーを解除します。



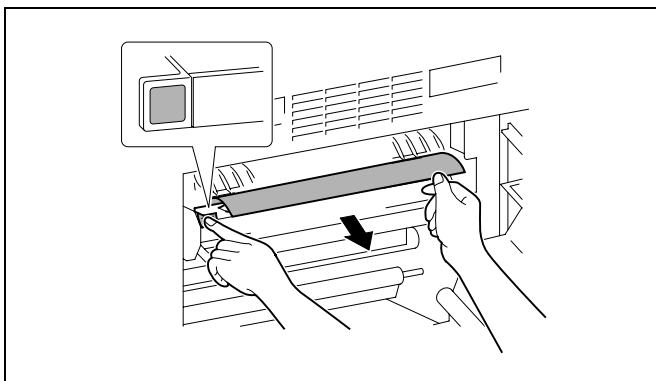
3

用紙をゆっくり引き抜きます。



4

ガイド板を押し下げながら、用紙をゆっくり引き抜きます。

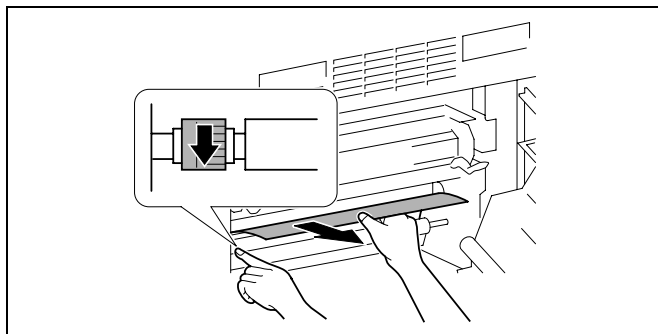


必ず守ってください

圧着レバーの解除は、レバーのグリーン部を持って行ってください。

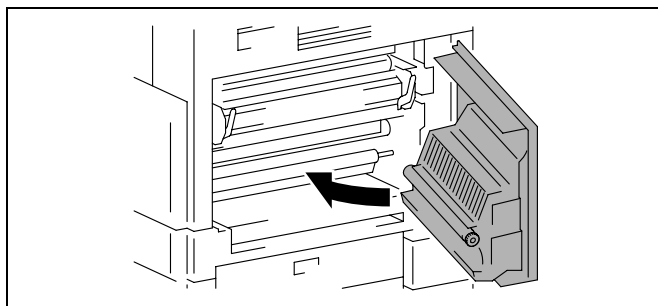
5

ローラー部のツマミを矢印方向に回しながら、用紙をゆっくり引き抜きます。



6

本機の横カバーを閉じます。

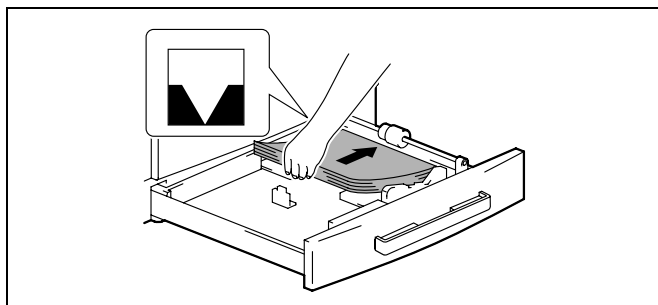


7

第1トレイを引き出します。

8

トレイ内に残っている用紙を取り出し、再度用紙をセットしなします。

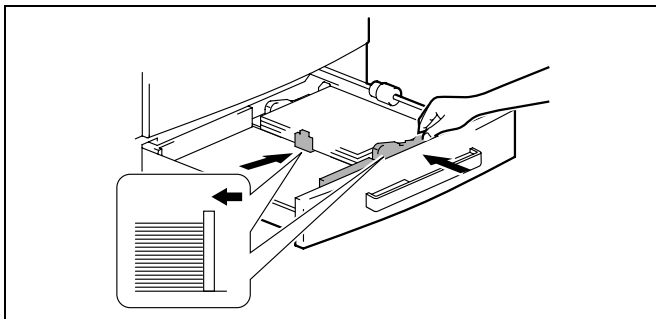


必ず守ってください

- ローラーを回すときは、必ずグリーンのツマミを回してください。
- PC ドラムの表面に触れないように注意してください。

9

用紙サイズにあわせ、ガイド板を調整します。

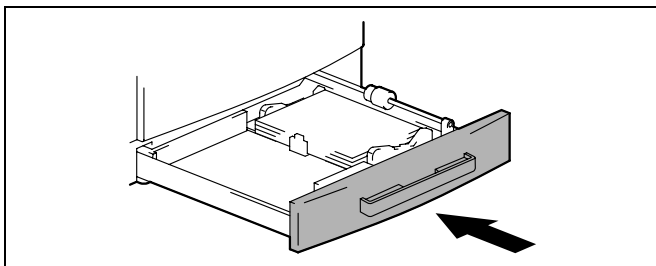


必ず守ってください

ガイド板は必ず用紙の端面にあわせてください。

10

第1トレイをもとに戻します。

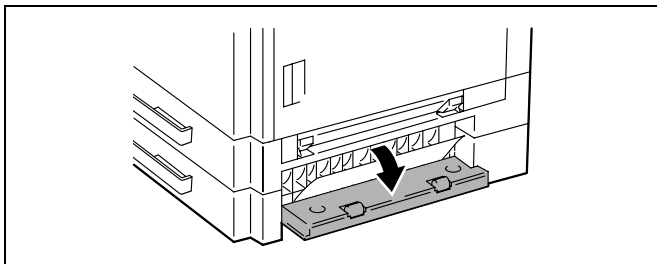


8

■ 第2/第3/第4/第5トレイ(オプション)での紙  
づまり処理のしかた

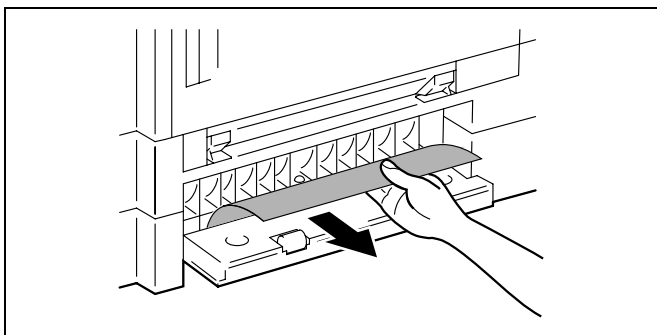
1

横カバーを開きます。



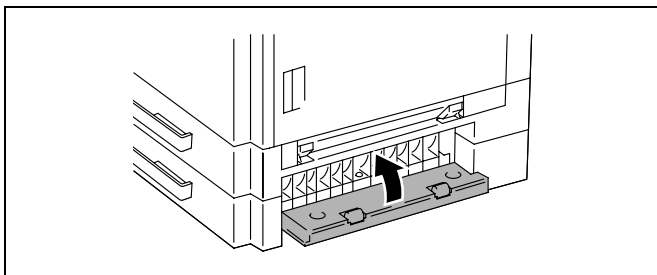
2

用紙をゆっくり引き抜きます。



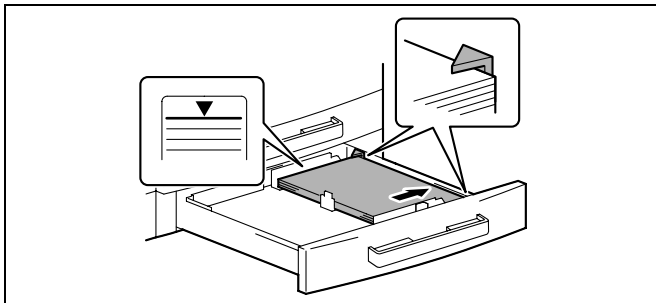
3

横カバーを閉じます。



4

トレイ内に残っている用紙を取り出し、再度用紙をセットしなおします。

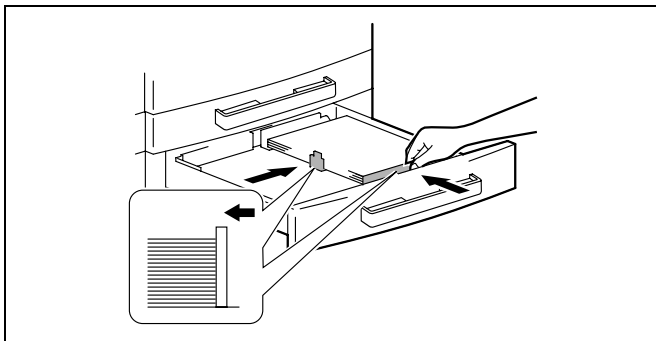


必ず守ってください

用紙は▼マークをこえないように、ツメの下にセットしてください。

5

用紙のサイズに合わせ、ガイド板を調整します。

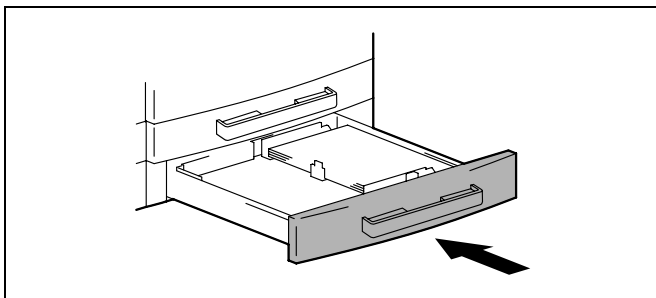


必ず守ってください

ガイド板は、必ず用紙の端面にあわせてください。

6

トレイをもとに戻します。

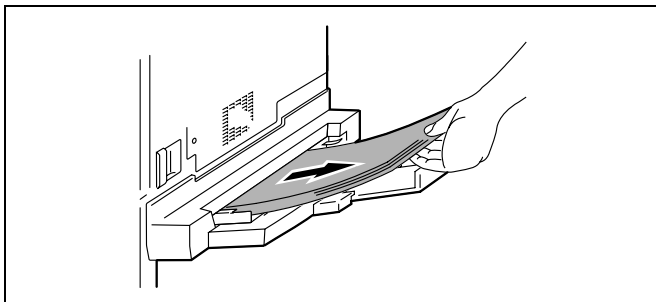


8

## ■ マルチ手差しトレイ（オプション）での紙づまり処理のしかた

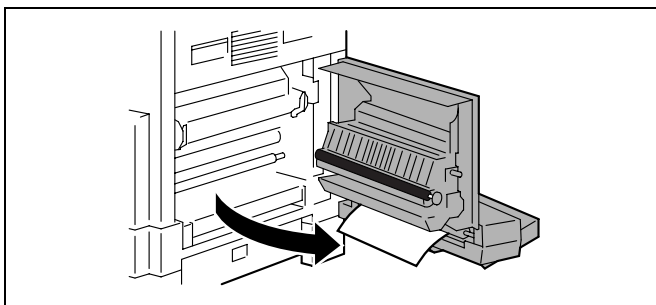
1

マルチ手差しトレイ上の用紙を取り除きます。

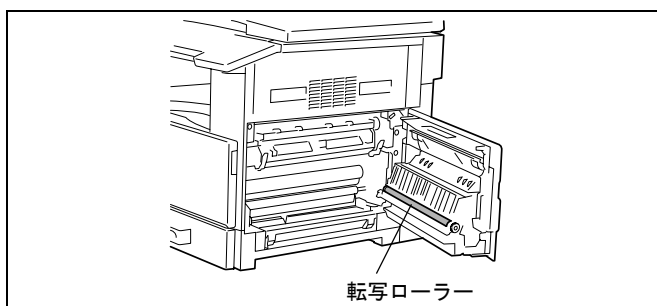


2

本機の横カバーを開きます。

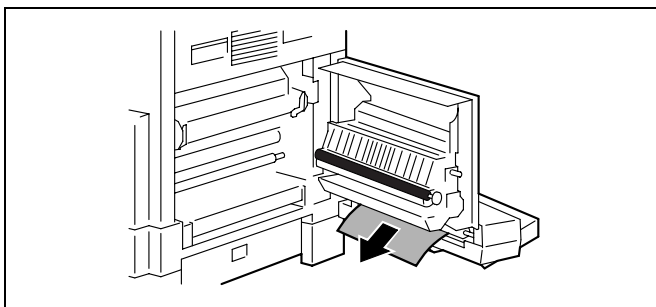


- 転写ローラーの表面に触れると、コピー画質が低下する可能性があります。  
転写ローラーの表面に触れないように注意してください。



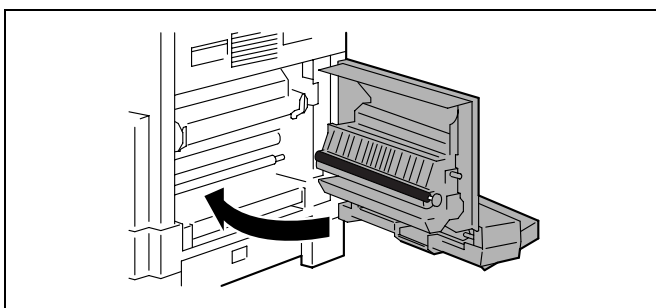
3

用紙をゆっくり引き抜きます。



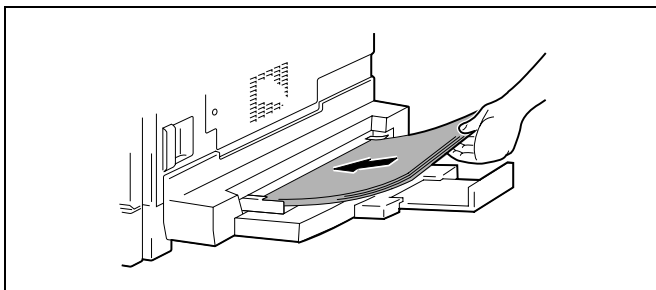
4

本機の横カバーを閉じます。



5

マルチ手差しトレイに用紙をセットしなおします。

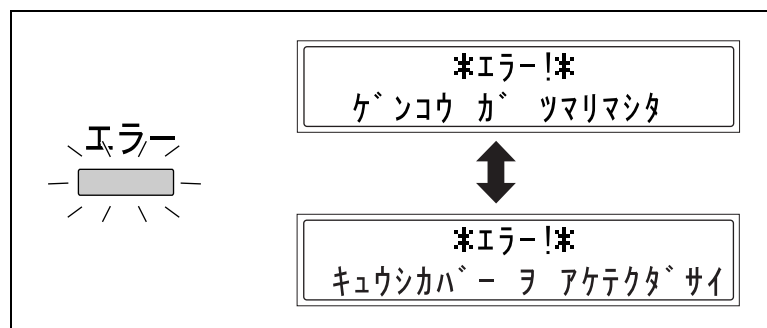


8

## 8.3 「ゲンコウ ガ ツマリマシタ」が表示されたら

原稿を給紙中に紙づまりがおこった場合、以下のメッセージを表示し、原稿の読み取りは停止されます。

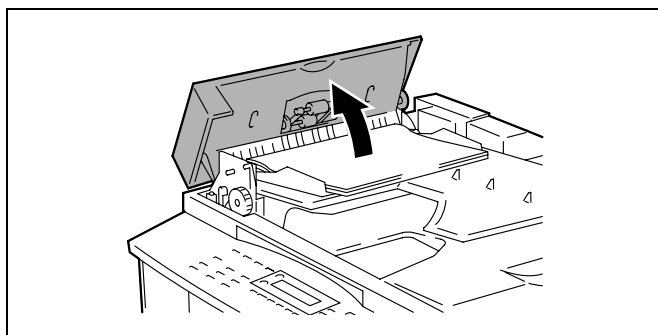
以下の手順にしたがって、紙づまりした用紙を取り除いてください。



### ■ 原稿送り装置での紙づまり処理のしかた

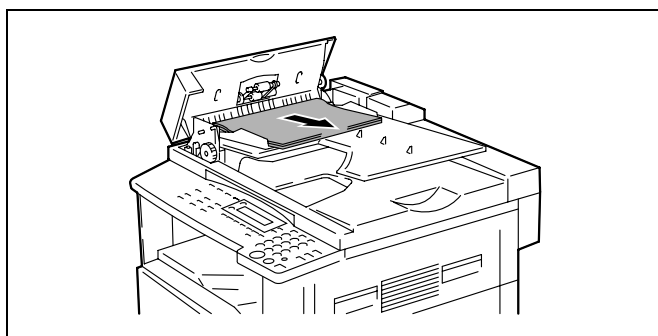
1

給紙カバーを開きます。



2

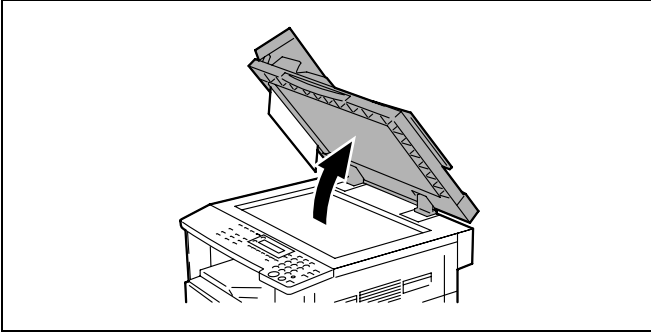
原稿給紙トレイの原稿を取り除きます。





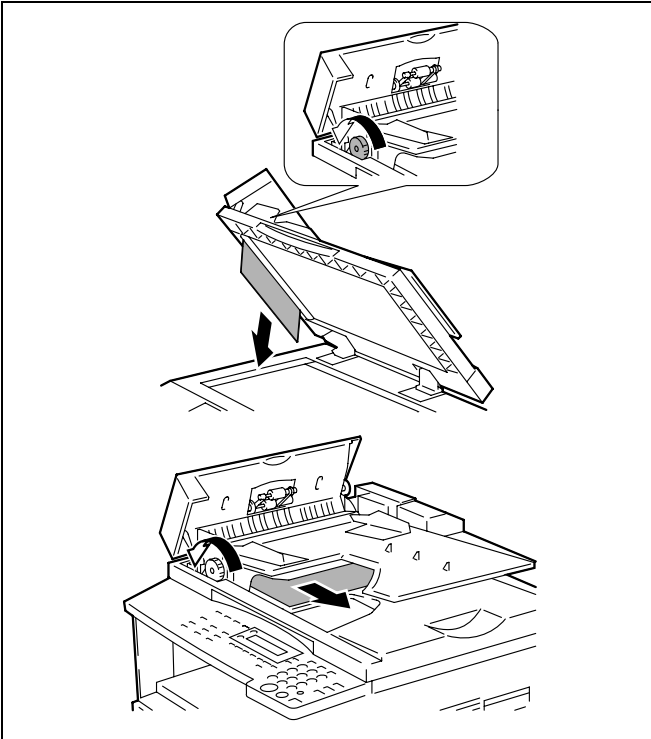
3

原稿送り装置を開きます。



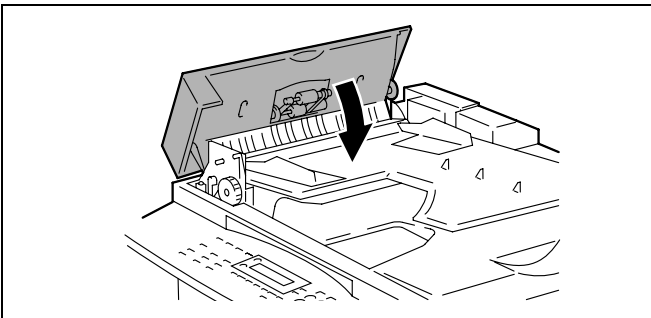
4

原稿送り装置のツマミを矢印方向に回しながら、原稿をゆっくり引き抜きます。



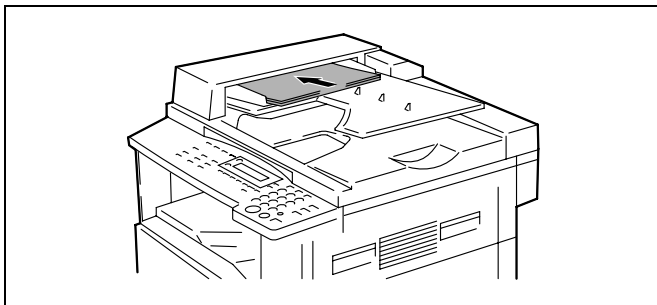
5

原稿送り装置、給紙カバーを閉じます。



6







手順 2 で取り除いた原稿をもとに戻します。





詳しく説明します

ディスプレイに「ゲンコウトレイ  
ニ x マイド`シテ スタートキーヲ  
オシテカ`サイ」と表示された場  
合は、紙づまりをおこした  
原稿をもとに戻してください。

## 8.4 主なメッセージと処置のしかた

メッセージ	原因	処置のしかた
ヨウシ ガ ツマリマシタ  (交互表示) ヨコハバ - X ヲ アケテタサイ	<p>本機内部で紙づまりをおこしています。</p> <p>本機内部で紙づまり用紙の取り忘れがあります。</p>	<p>表示されている箇所のカバーを開いて紙づまりした用紙を取り除いてください。「ヨウシ ガ ツマリマシタ」が表示されたら」(p. 8-5)</p> <p>表示されている箇所のカバーを開いて再度紙づまりした用紙を取り除いてください。「ヨウシ ガ ツマリマシタ」が表示されたら」(p. 8-5)</p>
ゲンコウ ガ ツマリマシタ  (交互表示) キュウシ カバ - ヲ アケテタサイ	<p>原稿送り装置内部で紙づまりをおこしています。</p> <p>原稿送り装置内部で紙づまり用紙の取り忘れがあります。</p>	<p>表示されている箇所のカバーを開いて紙づまりした用紙を取り除いてください。「ゲンコウ ガ ツマリマシタ」が表示されたら」(p. 8-14)</p>
* テザ シトレイ ノ ヨウシ ヲ トリノゾ イテ クダサイ *	<p>シングル手差しトレイに用紙が残っています。</p>	<p>シングル手差しトレイから用紙を取り除いてください。</p>
マエカバ - ガ アイテムス  (交互表示) マエカバ - ヲ シメテタサイ	<p>本機の前カバーが開いているか、確実にセットされていません。</p>	<p>本機の前カバーを確実に閉じてください。</p>
ゲンコウオサエ ガ アイテムス  (交互表示) ゲンコウオサエ ヲ シメテタサイ	<p>原稿送り装置に原稿がセットされていて原稿送り装置が開いていません。</p>	<p>原稿送り装置を確実に閉じてください。</p>
キュウシ カバ - ガ アイテムス  (交互表示) キュウシ カバ - ヲ シメテタサイ	<p>原稿送り装置の給紙カバーが開いています。</p>	<p>給紙カバーを確実に閉じてください。</p>
トナー ガ ナクナリマシタ  (交互表示) トナー ヲ コウカン シテタサイ	<p>トナーがなくなりました。</p> <p>コピー／プリントができません。</p>	<p>新しいトナーボトルをセットしてください。「トナー補給のしかた」(p. 8-2)</p>
ヨウシ ガ アリマセン  (交互表示) ヨウシ ヲ キョウ (#XXX)	<p>選択しているトレイの用紙がなくなりました。</p> <p>“#” はトレイを、“XXX” は用紙サイズを示します。</p>	<p>表示されているトレイに表示されているサイズの用紙をセットしてください。</p>
ゲンコウ ヲ セット シテタサイ	<p>原稿送り装置を使用して行うコピー機能（2in1 コピー、混載原稿コピーなど）の開始時、原稿送り装置に原稿がセットされていません。または、原稿送り装置が開いています。</p>	<p>原稿送り装置に原稿をセットしてください。</p> <p>原稿送り装置を確実に閉じてください。</p>
ゲンコウ ヲ トリノゾ イテタサイ	<p>割り込みコピーで、ブック分割コピー以外のコピーの開始時、割り込む前のコピー原稿が原稿送り装置に残っています。</p>	<p>原稿送り装置から原稿を取り除いてください。</p>

メッセージ	原因	処置のしかた
モ/シヤ x1.00 1 Q[A]D#XXX: ヨウシヤ	(コピー設定中) 選択しているトレイに用紙がありません。 “#” はトレイを、“XXX” は用紙サイズを示します。	表示されているトレイに表示されているサイズの用紙をセットするか、【サイズ】を押して別の用紙サイズを選択してください。
サイキ ヨウシ ガ アリマセン ↕ (交互表示) ヨウシ ヲ キョウ (#XXX)	<ul style="list-style-type: none"> <li>コピーの途中で、選択したトレイの用紙サイズが変更されました。</li> <li>オート用紙選択モードでの混載原稿コピー時、最適なサイズの用紙がありません。 “#” はトレイを、“XXX” は用紙サイズを示します。</li> </ul>	表示されているサイズの用紙をセットするか、【サイズ】を押して別の用紙サイズを選択してください。
ヨウシ ヲ センタク デキマセン	オート用紙選択モードでのコピー時、最適なサイズの用紙がありません。	適切なサイズの用紙をセットするか、【サイズ】を押して別の用紙サイズを選択してください。
バ イツ ヲ センタク デキマセン	オート倍率選択モードでのコピー時、原稿サイズと用紙サイズの組み合わせによる倍率が×0.5 ~ ×2.0 の範囲外です。	適切なサイズの用紙をセットするか、【▼】、【▲】で倍率を選択してください。
ヨウシ サイズ エラー ↕ (交互表示) ヨウシ ヲ カニン (#XXX)	トレイにセットした用紙がサイズエラーです。 “#” はトレイを、“XXX” は用紙サイズを示します。	ペーパーフィーダーユニットの場合、セットした用紙を取り除き「用紙のセットのしかた」(p. 3-4)の手順にしたがって用紙をセットしてください。不定形サイズの場合は「ラベル用紙にコピーする」(p. 4-8)をごらんください。 手差しトレイの場合、セットした用紙を取り除き「手差しトレイに普通紙をセットする」(p. 5-9)の手順にしたがって用紙をセットしてください。不定形サイズの場合は「手差しコピーのとりかた(シングル手差しトレイ)」(p. 5-15)をごらんください。
メモリ フル デス ↕ (交互表示) タカ キー ヲ オシカケサイ	スキャナで読み込んだ画像データがメモリーオーバーをおこしています。	操作パネル上のいずれかのキーを押してください。または、メインスイッチを一度 OFF にして、再度 ON にしてください。(読み込んだデータはすべて消去されます。)
*プリント* メモリ フル デス	PC から受信した画像データがメモリーオーバーをおこしています。	操作パネル上のいずれかのキーを押してください。または、メインスイッチを一度 OFF にして、再度 ON にしてください。(受信した画像データはすべて消去されます。)
ハイトレイ ヨウリョウ オーバー ↕ (交互表示) ヨウシ ヲ トリノゾイ ケサイ	オプションのセパレータを装着している場合、上段排出トレイの用紙が最大積載量に達したため、コピー／プリントができません。	セパレータの上段排出トレイから用紙を取り除いてください。

メッセージ	原因	処置のしかた
ハイトレイ イドゥ エラー  (交互表示) ナニカ キー ヲ オシテタサイ	オプションのセパレータを装着している場合、電源 ON 時・コピー／プリント開始時に、セパレータの上、下段排出トレイ上で用紙が容量オーバーをおこしています。	セパレータの上、下段排出トレイから用紙を取り除き、操作パネル上のいずれかのキーを押してください。
サービスマン ニ レンク (M1)	メンテナンス時期がきました。	担当のサービス実施店へ連絡してください。
サービスマン ニ レンク (M2)	感光体ユニットの交換時期がきました。	担当のサービス実施店へ連絡してください。
キーカウンタ ヲ セットシテタサイ	キーカウンタがセットされています。	キーカウンタをセットしてください。
マシン トラブル  (交互表示) (C####)	本機内部でトラブルが発生しました。	本機のメインスイッチを一度 OFF にして、再度 ON にしてください。それでもエラー表示される場合は、担当のサービス実施店へ連絡してください。





# 第 9 章

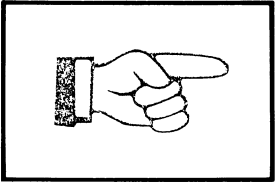
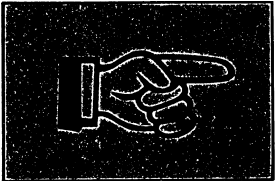
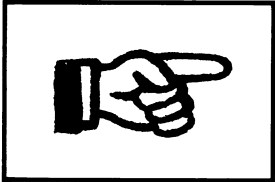
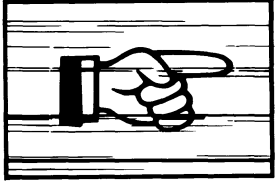
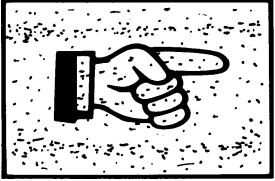
## 故障かな？と思ったら

---

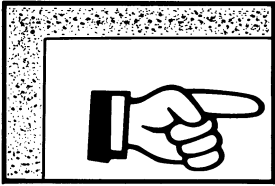
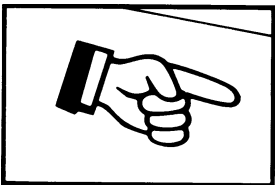
さまざまなトラブルの処置のしかたについて説明します。

- 9.1 こんなコピーが出てきたら ..... 9-2
- 9.2 コピー機が動作しない ..... 9-4



## 9.1 こんなコピーが出てきたら

コピーの状態	おもな原因	処置のしかた
コピーがうすい / 色がうすい 	コピー濃度の設定が、“ウスイ”になっていませんか？	コピー濃度調整キー（コイ▶▶）を使って、お好みのコピー濃度でコピーしてください。（p. 5-33）
	用紙が湿気をおびていませんか？	用紙を新しいものに交換してください。（p. 3-4）
コピーがこい / 色がこい 	コピー濃度の設定が、“コイ”になっていませんか？	コピー濃度調整キー（ウスイ◀◀）を使って、お好みのコピー濃度でコピーしてください。（p. 5-33）
	原稿が原稿ガラスから浮き上がっていませんか？	原稿が原稿ガラスに密着するようにセットしてください。（p. 3-8）
コピーがにじむまたはボケる 	用紙が湿気をおびていませんか？	用紙を新しいものに交換してください。（p. 3-4）
	原稿が原稿ガラスから浮き上がっていませんか？	原稿が原稿ガラスに密着するようにセットしてください。（p. 3-8）
コピーにスジが現れる 	原稿ガラスが汚れていませんか？	原稿ガラスを柔らかな布で空拭きしてください。（p. 10-5）
	原稿押さえパッドが汚れていませんか？	柔らかな布に中性洗剤をつけ、原稿押さえパッドを清掃してください。（p. 10-5）
	第2原図、OHP フィルムなどの透明度の高い原稿を使っていますか？	原稿の上に白紙を重ねてコピーしてください。（p. 3-10）
コピーの全体が汚れる 	両面原稿を使っていますか？	うすい紙の両面原稿だと、裏面の原稿内容が透けて、おもての原稿に写ってしまうことがあります。コピー濃度調整キー（ウスイ◀◀）を使ってコピーの下地レベルをうすくしてください。（p. 5-33）
	感光体ユニットの寿命です。	サービス実施店へご連絡ください。



コピーの状態	おもな原因	処置のしかた
コピーの周りが汚れる 	原稿押さえパッドが汚れていませんか？	柔らかな布に中性洗剤をつけ、原稿押さえパッドを清掃してください。(p. 10-5)
	原稿サイズより大きな用紙を選択していませんか？ (等倍×1.00 コピー時)	原稿と同じサイズの用紙を選択してください。(p. 5-21) もしくは、オート倍率モードを使い、用紙に合わせたコピー倍率で、拡大コピーをしてください。(p. 5-28)
	原稿サイズと用紙の向きが違っていませんか？ (等倍×1.00 コピー時)	原稿と同じサイズの用紙を選択してください。もしくは、原稿と同じ向きに用紙をセットしなおしてください。
	用紙サイズにあった縮小コピー倍率が選択されていますか？ (マニュアル縮小コピー時)	用紙サイズにあったコピー倍率を選択してください。(p. 5-29) もしくは、オート倍率選択モードを使い、用紙に合わせたコピー倍率で、縮小コピーをしてください。(p. 5-28)
コピーの画像が傾いている。 	原稿が正しくセットされていますか？	原稿を原稿スケールに、正しくセットしてください。(p. 3-9) 原稿を原稿送り装置にセットし、原稿セットガイドを原稿サイズに正しくあわせてください。(p. 3-8)
	原稿送り装置に適した原稿がセットされていますか？	原稿送り装置を開き、原稿を原稿スケールに正しくセットしてください。(p. 3-9)
	用紙ガイド板がきちんと用紙に合せてありますか？	用紙端面にきちんと用紙ガイド板を合せてください。
	カールの大きい用紙がトレイにセットされていませんか？	用紙のカールを手でなおしてトレイにセットしなおしてください。

## 9.2 コピー機が動作しない

コピー機の状態	おもな原因	処置のしかた
操作パネルに何も表示されない。	【スタート】だけがグリーン点灯していますか？	低電力（スリープ）モードが設定されています。 操作パネル上のいずれかのキーを押して低電力モードを解除してください。（p. 2-17）
	オートパワーオフモードがはたらいていませんか？	メインスイッチを ON にしておってください。（p. 2-16）
【スタート】がグリーン色に点灯しない。	ID（部門）番号を入力しましたか？ 	“ID（部門）番号の入力のしかた”の手順にしたがって番号を入力してください。（p. 6-18）
【スタート】を押してもコピーできない。	操作パネル上の【エラー】ランプが点灯していませんか？	ディスプレイを見て、表示ごとの処置のしかたにしたがって対処してください。
	メインスイッチを ON にした直後でコピー機が準備中です。	メインスイッチを ON にしてからコピーできるまでに約 30 秒かかります。 しばらくお待ちください。
コピーモードが設定できない。	【割り込み】が点灯していませんか？ <b>割り込み</b> 	割り込みコピーモードが設定されています。【割り込み】を押し、モードを解除してください。（p. 5-36）
本機の電源が入らない。	電源コードが、コンセントから抜けていませんか？	電源コードのプラグを差し込みなおしてください。
	本機を設置してある場所のブレーカーが OFF になっていませんか？	ブレーカーを ON にしてください。

# 第 10 章

## その他

---

本機の仕様や、日頃のお手入れについて説明します。

10.1 おもな仕様 .....	10-2
10.2 日常のお手入れ .....	10-5
10.3 おもな機能の組み合わせ一覧表 .....	10-7
10.4 コピー用紙サイズとコピー倍率一覧表 .....	10-8
10.5 消耗品について .....	10-11
10.6 保守サービスについて .....	10-12
10.7 索引 .....	10-13

## 10.1 おもな仕様

### ■ 本機 bizhub 162

仕様	
形式	デスクトップ
原稿台方式	固定式
感光体	OPC
複写方式	乾式レーザー電子写真方式
現像方式	HMT 方式
定着方式	ヒートローラ定着方式
解像度	600 dpi × 600 dpi
複写原稿	種類：シート、ブック、立体物 サイズ：最大 A3 □、Ledger □ (11 × 17 □) 重量：3 kg
複写紙種類	普通紙 (60 g/m <sup>2</sup> ~ 90 g/m <sup>2</sup> )、再生紙 (60 g/m <sup>2</sup> ~ 90 g/m <sup>2</sup> ) 特殊紙：厚紙 (91 g/m <sup>2</sup> ~ 157 g/m <sup>2</sup> )、OHP フィルム、官製はがき、ラベル用紙、封筒 ※特殊紙は第 1 トレイ、手差しトレイのみ使用可
複写紙サイズ	<第 1 トレイ> メトリック系： A3 □、B4 □、A4 □/□、B5 □/□、A5 □/□ インチ系： Ledger □ (11 × 17 □)、11 × 14 □、 Legal □ (8-1/2 × 14 □)、Letter □/□ (8-1/2 × 11 □/□)、 Invoice □/□ (5-1/2 × 8-1/2 □/□) <手差しトレイ> 幅：90 mm ~ 297 mm、長さ：140 mm ~ 432 mm
用紙積載量	<第 1 トレイ> 普通紙、再生紙：250 枚 特殊紙 (厚紙、OHP フィルム、官製はがき、ラベル用紙)：20 枚 封筒：10 枚 <手差しトレイ> 普通紙、再生紙、特殊紙：1 枚
ウォームアップタイム	30 秒以下 (室温 23 °C)
ファーストコピータイム	7 秒以下 (原稿ガラス、第 1 トレイ使用時) 11 秒以下 (DF-502、第 1 トレイ使用時)
複写速度 (毎分)	7 枚 (A3 □) 13 枚 (A4 □) 16 枚 (A4 □) 18 枚 (B5 □)
複写倍率	等倍：×1.00 拡大：×1.22、×1.41、×2.00、×4.00 縮小：×0.81、×0.70、×0.50、×0.25 ズーム：×0.25 ~ ×4.00 (0.01 ステップ)
連続複写枚数	1 ~ 99 枚
濃度調整	オート濃度、マニュアル濃度

仕様	
画像欠損	先端 4 mm、後端 4 mm、奥側 4 mm、手前側 4 mm
電源	100 V、10.0 A、50/60 Hz 共用
最大消費電力	1000 W 以下
大きさ	幅 599 mm × 奥行 620 mm × 高さ 520 mm（原稿カバー含む）
質量	38 kg
標準メモリ	コピー側：32 MB（最大 96 MB まで増設可能）

## ■ 自動原稿送り装置 DF-502

仕様	
原稿通紙モード	標準モード：片面原稿 混載原稿モード：片面原稿
原稿種類	標準モード：普通紙（50 g/m <sup>2</sup> ~ 110 g/m <sup>2</sup> ） 混載原稿モード：普通紙（60 g/m <sup>2</sup> ~ 90 g/m <sup>2</sup> ）
原稿サイズ	標準モード：A3 □、B4 □、A4 □/□、B5 □/□、A5 □/□ 混載原稿モード：A3 □ と A4 □、B4 □ と B5 □ の混載
原稿積載量	最大 50 枚（80 g/m <sup>2</sup> ）
最大消費電力	36 W 以下
大きさ	幅 598 mm × 奥行 483 mm × 高さ 102 mm
質量	6.3 kg









## ■ ペーパーフィーダーユニット PF-502

仕様	
用紙種類	普通紙（60 g/m <sup>2</sup> ~ 90 g/m <sup>2</sup> ）、再生紙（60 g/m <sup>2</sup> ~ 90 g/m <sup>2</sup> ）
用紙サイズ	メトリック系： A3 □、B4 □、A4 □/□、B5 □/□、A5 □ インチ系： Ledger □（11 × 17 □）、11 × 14 □、 Legal □（8-1/2 × 14 □）、Letter □/□（8-1/2 × 11 □/□）、 Invoice □（5-1/2 × 8-1/2 □）
収容枚数	250 枚
最大消費電力	9 W 以下
大きさ	幅 590 mm × 奥行 558 mm × 高さ 108 mm
質量	5.5 kg

## ■ セパレータ JS-503

仕様	
用紙種類	普通紙 (60 g/m <sup>2</sup> ~ 90 g/m <sup>2</sup> )、再生紙 特殊紙：厚紙 (91 g/m <sup>2</sup> ~ 157 g/m <sup>2</sup> )、OHP フィルム、官製はがき、ラベル用紙、封筒
用紙積載量	<上段トレイ> 普通紙、再生紙：A4 100 枚、A4 以外 50 枚 (高さ 22 mm まで) 特殊紙：10 枚 <下段トレイ> 普通紙、再生紙：A4 150 枚、A4 以外 75 枚 特殊紙：20 枚
最大消費電力	24 W 以下

## ■ マルチ手差し給紙ユニット MB-501

仕様	
用紙種類	普通紙 (60 g/m <sup>2</sup> ~ 90 g/m <sup>2</sup> )、再生紙 (60 g/m <sup>2</sup> ~ 90 g/m <sup>2</sup> ) 特殊紙：厚紙 (91 g/m <sup>2</sup> ~ 157 g/m <sup>2</sup> )、OHP フィルム、官製はがき、ラベル用紙、封筒
用紙サイズ	A3  、B4  、A4  /  、B5  /  、A5  /  (幅：90 mm ~ 297 mm、長さ：140 mm ~ 432 mm)
収容枚数	普通紙、再生紙：100 枚 特殊紙 (厚紙、OHP フィルム、官製はがき、ラベル用紙)：20 枚 封筒：10 枚
最大消費電力	9 W 以下
大きさ	幅 (最大) 439 mm × 奥行 435 mm × 高さ 137 mm
質量	3.1 kg

## 10.2 日常のお手入れ

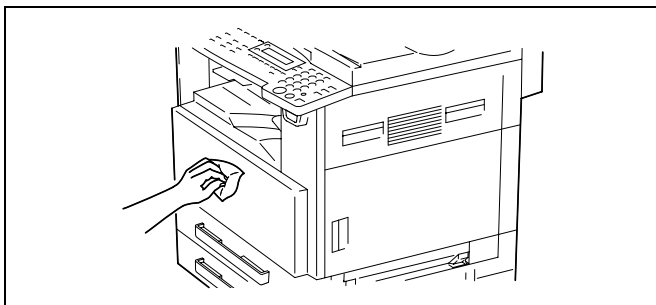
ここでは各部の清掃のしかたについて説明します。



清掃時は必ず本機のメインスイッチを OFF にしてください。

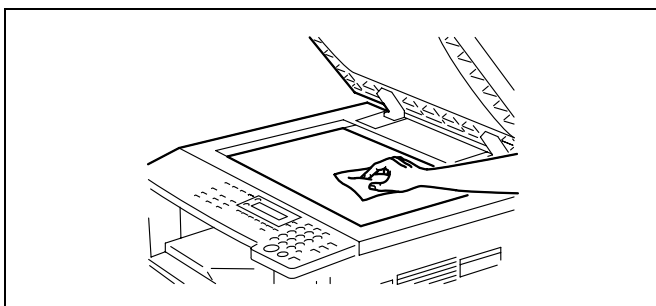
### ■ 外装カバー

柔らかな布に家庭用中性洗剤をつけ、外装カバーの表面の汚れを拭き取ります。



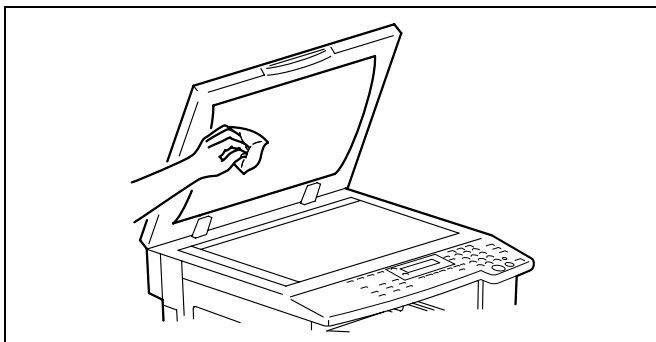
### ■ 原稿ガラス

柔らかな布で原稿ガラス表面をから拭きし、汚れを拭き取ります。



### ■ 原稿押さえパッド

柔らかな布にアルコールを付け、原稿押さえパッド表面の汚れを拭き取ります。

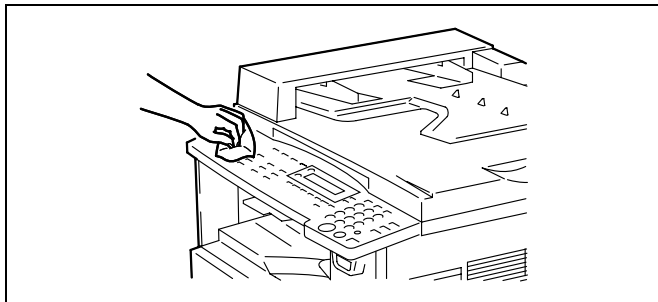


## ■ 操作パネル

柔らかな布で操作パネルの表面をから拭きし、汚れを拭き取ります。



操作キーを傷める恐れがあるため、家庭用中性洗剤、ガラスクリーナーなどは使用しないでください。





## 10.3 おもな機能の組み合わせ一覧表

### ■ おもな機能の組み合わせ一覧表

	後設定 先設定	給紙				濃度設定	倍率				画質				原稿		ブック分割	コピー			とじ代作成	イレース				仕上げ			ネガポジ反転
		オート用紙選択	マニュアル用紙選択	シングル手差し	マルチ手差し		オート倍率	固定倍率	ズーム倍率	データ・ヨコ独立変倍	モ/シ (オート)	モ/シ (オート)	モ/シ	片面原稿	混載原稿	片面コピー		2in1 コピー	4in1 コピー	左		上	枠	折目	枠+折目	ノンソート	グループ		
給紙	オート用紙選択	○	×	×	×	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	マニュアル用紙選択	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	シングル手差し	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	シングル手差し用紙切れ	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	マルチ手差し	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	マルチ手差し用紙切れ	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
倍率	濃度設定	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	オート倍率	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○			
	固定倍率	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○			
	ズーム倍率	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	データ・ヨコ独立変倍	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	画質	モ/シ (オート)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
モ/シ (オート)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
シャツ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
モ/シ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
モ/シ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
モ/シ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
原稿	片面原稿	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	混載原稿	○	○	×	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○			
ブック分割		×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
コピー	片面コピー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	2in1 コピー	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○			
	4in1 コピー	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
とじ代作成		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○			
イレース	左	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○			
	上	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○			
	枠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	折目	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	枠+折目	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
仕上げ	ノンソート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	ソート	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	グループ	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	ネガポジ反転	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
割込み		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			

#### 機能の組み合わせ条件

- ：機能を組み合わせることができます。
- ×
- 一：同時設定できません。後設定モードは受け付けません。
- ／：機能を組み合わせることはできません。
- (1)：自動用紙選択は機能しません。
- (2)：ブック分割とソート、グループは同時設定できます。  
仕上りの設定に関わらず出力結果は同じです。

## 10.4 コピー用紙サイズとコピー倍率一覧表

### ■ コピー用紙サイズ

名称（センチサイズ）	大きさ（センチ）	大きさ（インチ）
A3	297 mm × 420 mm	11-3/4 × 16-1/2
A4	210 mm × 297 mm	8-1/4 × 11-3/4
A5	148 mm × 210 mm	5-3/4 × 8-1/4
A6	105 mm × 148 mm	4-1/4 × 5-3/4
B4	257 mm × 364 mm	10 × 14-1/4
B5	182 mm × 257 mm	7-1/4 × 10
B6	128 mm × 182 mm	5 × 7-1/4
はがき POSTCARD	100 mm × 148 mm	4 × 5-3/4

名称（インチサイズ）		大きさ（インチ）	大きさ（センチ）
LEDGER		11 × 17	279 mm × 432 mm
11 × 14		11 × 14	279 mm × 356 mm
COMPUTER		10-1/8 × 14	257 mm × 356 mm
10 × 14		10 × 14	254 mm × 356 mm
9-1/4 × 14		9-1/4 × 14	236 mm × 356 mm
LEGAL		8-1/2 × 14	216 mm × 356 mm
FOOL SCAP	GOVERNMENT LEGAL	8-1/2 × 13	216 mm × 330 mm
FOOL SCAP		8 × 13	203 mm × 330 mm
FOOL SCAP		8-2/3 × 13	220 mm × 330 mm
FOOL SCAP	FOLIO	8-1/4 × 13	210 mm × 330 mm
8-1/4 × 11-3/4		8-1/4 × 11-3/4	210 mm × 301 mm
LETTER		8-1/2 × 11	216 mm × 279 mm
GOVERNMENT LETTER		8 × 10-1/2	203 mm × 267 mm
QUARTO		8 × 10	203 mm × 254 mm
STATEMENT	INVOICE	5-1/2 × 8-1/2	140 mm × 216 mm

# ■ コピー倍率

センチサイズ		
原稿サイズ	コピー用紙	コピー倍率
A3 297 mm × 420 mm 11-3/4 × 16-1/2	A4	× 0.70
	A5	× 0.50
	B4	× 0.86
	B5	× 0.61
A4 210 mm × 297 mm 8-1/4 × 11-3/4	A5	× 0.70
	A6	× 0.50
	B5	× 0.86
	B6	× 0.61
	A3	× 1.41
	B4	× 1.22
A5 148 mm × 210 mm 5-3/4 × 8-1/4	A6	× 0.70
	B6	× 0.86
	A4	× 1.41
	A3	× 2.00
	B4	× 1.73
	B5	× 1.22
A6 105 mm × 148 mm 4-1/4 × 5-3/4	A4	× 2.00
	A5	× 1.41
	B5	× 1.73
	B6	× 1.22
B4 257 mm × 364 mm 10 × 14-1/4	A4	× 0.81
	A5	× 0.57
	B5	× 0.70
	B6	× 0.50
	A3	× 1.15
	A4	× 1.15
B5 182 mm × 257 mm 7-1/4 × 10	A5	× 0.81
	A6	× 0.57
	B6	× 0.70
	A3	× 1.63
	A4	× 1.15
	B4	× 1.41
B6 128 mm × 182 mm 5 × 7-1/4	A6	× 0.81
	A4	× 1.64
	A5	× 1.15
	B4	× 2.00
	B5	× 1.41

## 10.4 コピー用紙サイズとコピー倍率一覧表

インチサイズ		
原稿サイズ	コピー用紙	コピー倍率
11 × 17 279.4 mm × 431.8 mm	11 × 14	× 0.82
	Legal	× 0.77
	Foolscap	× 0.75
	Letter	× 0.64
	Invoice	× 0.50
11 × 15 279.4 mm × 381 mm	11 × 14	× 0.93
	Legal	× 0.77
	Foolscap	× 0.75
	Letter	× 0.73
	Invoice	× 0.50
11 × 14 279.4 mm × 355.6 mm	Legal	× 0.77
	Foolscap	× 0.77
	Letter	× 0.77
	Invoice	× 0.50
Legal 8-1/2 × 14 215.9 mm × 355.6 mm	Foolscap	× 0.92
	Letter	× 0.78
	Invoice	× 0.60
	11 × 17	× 1.21
Foolscap 8-1/2 × 13 215.9 mm × 330.2 mm	Letter	× 0.84
	Invoice	× 0.65
	11 × 17	× 1.30
	11 × 14	× 1.07
Letter 8-1/2 × 11 215.9 mm × 279.4 mm	Invoice	× 0.64
	11 × 17	× 1.29
	11 × 14	× 1.27
Invoice 5-1/2 × 8-1/2 139.7 mm × 215.9 mm	11 × 17	× 2.00
	11 × 14	× 1.64
	Legal	× 1.54
	Foolscap	× 1.50
	Letter	× 1.29

コピー倍率 = コピー用紙サイズ ÷ 原稿サイズ

1 inch = 25.4 mm

1 mm = 0.0394 inch

## 10.5 消耗品について

本機を維持するには以下のような消耗品が必要です。

コピー品質を最良に保つため、指定の消耗品の使用をおすすめいたします。

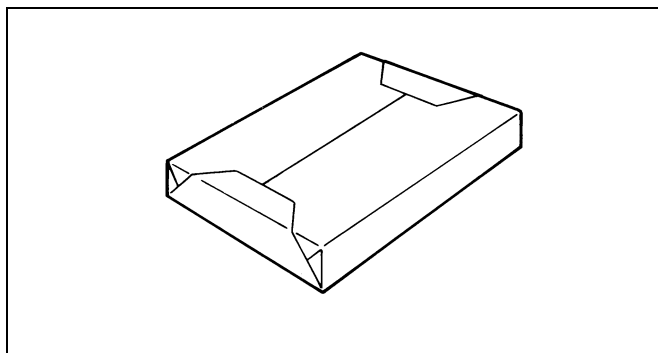
また、これらの消耗品の購入、問い合わせにつきましては、販売各社一覧表をご覧ください  
最寄りの販売店にご連絡ください。

### ■ コピー用紙

普通紙の他に、再生紙、OHP フィルムなどがあります。



包みから取り出したコピー用紙は湿気を避けるためポリ袋に入れ、冷暗所にて保管してください。

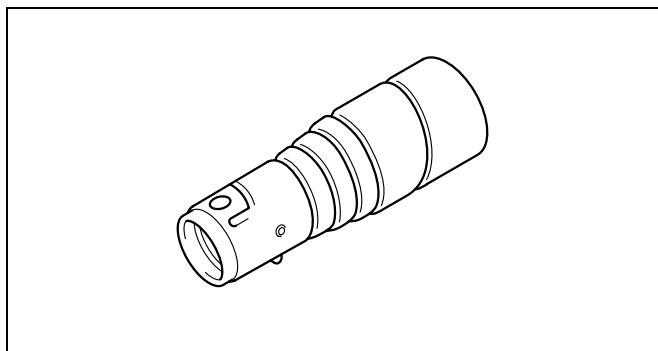


### ■ トナーボトル

トナーとは、文字や線を記録する黒い粉末です。



- 本機専用のトナー／トナーボトルを使用してください。
- 使用済みのトナーボトルはサービス実施店で回収しますので、捨てずに保管しておいてください。



## 10.6 保守サービスについて

---

本機には以下の保守サービスシステムがあります。

- コピーキットシステム

本機専用のコピーキットをご購入いただきますと、弊社が機械の性能を維持する為の保守サービスをご提供し、感光体、現像剤をお貸しするシステムです。専門のサービス技術者を派遣し、点検、整備および交換を行います。

- スポットシステム

機械の保守サービスと、感光体、現像剤、トナー、部品その他関連商品の供給をお客様のご要請の都度、有料でお引き受けするシステムです。

尚、保守サービスの為に必要な補修用性能部品（機械の性能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は複写機の製造中止後 7 年間です。

## 数字・記号

2in1 コピー	6-2
4in1 コピー	6-2

## アルファベット

LCD コントラスト	7-11
OHP フィルム	4-6, 5-11

## あ行

イレース	6-5, 6-12
印刷ジョブの消去	3-14
印刷の再開	3-14
印刷の停止	3-14
オートトレイチェンジ機能	5-23
オートパワーオフ	2-17, 7-7
オートパワーオフしない設定	7-22
オート用紙	5-21
オートリセット	2-17, 7-5
オプション	
自動原稿送り装置	2-7
セパレータ	2-9
ペーパーフィーダーユニット	2-8
マルチ手差しトレイ	2-7
おもな機能の組み合わせ一覧表	10-7

## か行

確認モード	3-15
画質 (ADF)	7-8
画質 (原稿ガラス)	7-9
画像コピー／プリント領域	5-6
画像トラブルの処理	9-2
紙づまりの処理	8-5
原稿送り装置	8-14
第 2/ 第 3/ 第 4/ 第 5 トレイ	8-10
本体	8-6
マルチ手差しトレイ	8-12
官製はがき	4-17, 5-10
管理者保守モード	7-21
給紙カバー	2-7
原稿	5-25
原稿画質／濃度	4-4
原稿カバー	2-5
原稿ガラス	2-5
原稿ガラス使用時読み込み画質	7-9
原稿スケール	2-5

原稿づまり	8-14
原稿のセット	3-8
OHP フィルム	3-10
原稿ガラス	3-9
混載原稿	3-12
透明度の高い原稿	3-10
ブック原稿	3-11
交互グループ	6-8
交互ソート	6-8
固定倍率	5-29
コピー禁止事項	15
コピーする	
基本的なコピーのとりかた	3-2
コピー設定	
4in1 ページ順	7-47
イレース幅の調整	7-41
交互排紙の設定	7-48
登録	6-16
とじ代幅の調整	7-40
ブックとじ位置	7-39
優先混載原稿	7-44
優先自動選択	7-45
優先ソート	7-46
優先濃度	7-36
優先濃度レベル (オート)	7-37
優先濃度レベル (マニュアル)	7-38
優先用紙	7-35
呼出し	6-17
コピートレイ	2-4
コピー濃度の設定	5-34
コピー濃度の変更	5-33
コピー用紙サイズとコピー倍率一覧表	10-8

## さ行

自動原稿送り装置	10-3
仕様	10-2
省エネルギー	3-17
使用環境	1-13
小サイズ原稿	7-42
使用上のご注意	1-13
消耗品	16, 1-14, 10-11
初期モード	2-16
白黒反転コピー	6-14
シングル手差しトレイ	2-4
設置環境	1-11
設置スペース	1-12
設置電源	1-11
セパレータ	10-4
操作パネル	2-5, 2-10

ID キー .....	2-12, 6-18
コピーキー .....	2-12
スタートキー .....	2-12
ストップキー .....	2-12
低電力モードキー .....	2-12
テンキー .....	2-12
ユーティリティキー .....	7-2
リセットキー .....	2-12
割込みキー .....	2-12, 5-36

## た行

第1トレイ用紙の設定 .....	7-15
第1トレイ .....	2-4
露とり .....	7-19
ディスプレイの角度 .....	2-13
ディスプレイ表示 .....	2-14
低電力モード .....	2-17, 7-6
手差しコピー .....	5-8
電源 .....	2-16
とじ代 .....	6-15
トナー交換 .....	8-2
トナー補給 .....	7-20
ドラムドライ .....	7-19
トレイ設定 .....	7-12

## な行

日常のお手入れ .....	10-5
ネガポジ反転 .....	6-14

## は行

排出面と通紙方向 .....	13
倍率 .....	4-2
倍率設定 .....	5-27
オート倍率 .....	5-28
タテ・ヨコ独立変倍 .....	5-31
パラレルインターフェースコネクタ .....	2-5
封筒 .....	4-14, 5-13
ブック分割コピー .....	6-5
部門管理の設定 .....	7-24
プリント濃度 .....	7-10
ペーパーフィーダーユニット .....	2-8, 10-3
保守サービスについて .....	10-12
本体設定 .....	7-3

## ま行

前カバー .....	2-4, 8-2
マニュアル用紙選択 .....	5-22
マルチ手差し給紙ユニット (マルチ手差し) .....	10-4
メインスイッチ .....	2-4
メッセージ .....	8-17

## や行

ユーザー保守モード .....	7-19
ユーティリティ コピー設定 1 .....	7-34
コピー設定 2 .....	7-43
ユーティリティキー .....	2-10, 7-2
用紙 .....	5-21
用紙サイズ自動検出 .....	7-14
用紙のセット .....	3-4
用紙の保管 .....	5-7
用紙補給のしかた 第1トレイ .....	3-5
第2トレイ .....	3-6
第3トレイ .....	3-6
第4トレイ .....	3-6
第5トレイ .....	3-6
手差しトレイ .....	5-9
用紙を仕分ける(ソート、グループ) .....	6-7
横カバー .....	2-4
予約コピー .....	2-17

## ら行

ラベル用紙 .....	4-8, 5-12
リサイクル/リユース .....	16
リセットキー .....	2-12
ロック解除レバー .....	2-4

## わ行

割り込みコピー .....	2-12, 5-36
---------------	------------



お問い合わせは

## ■ 販売店連絡先

《販売店 連絡先》

販売店名 \_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_

担当部門 \_\_\_\_\_

担当者 \_\_\_\_\_

■ 保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ

この商品の保守・操作方法・修理・サポートについてのお問い合わせは、お買い上げの販売店、サービス実施店にご連絡ください。

《保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ先》

## コニカミルタ ビジネスソリューションズ株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号

当社についての詳しい情報はインターネットでご覧いただけます。 <http://bj.konicaminolta.jp>

当社に関する要望、ご意見、ご相談、その他お困りの点などございましたら、お客様相談室にご連絡ください。  
 お客様相談室電話番号 フリーダイヤル：0120-510010（受付時間：土、日、祝日を除く9:00～12:00 / 13:00～17:00）

● 本文には古紙配合率100%の再生紙を使用しています。



● 本書は大豆油インキで印刷しています。



KONICA MINOLTA

国内総販売元  
コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

製造元  
コニカミノルタ ビジネステクノロジーズ株式会社  
〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目6番1号 丸の内センタービルディング

Copyright

4034-7101-02

2005 KONICA MINOLTA BUSINESS TECHNOLOGIES, INC.

Printed in China

2005. 4